

Ⅲ. 医療経営統計

1. 医療経営統計

項目名		月平均			
		2014年	2015年	2016年	
日数	日数 (入院)	30.4	30.4	30.5	
	日数 (外来)	23.8	23.4	23.4	
入院一般	実働病床数	315.0	325.0	327.0	
	入院数	681.3	679.2	693.4	
	法人内	15.9	20.3	11.5	
	法人外	37.6	61.3	72.9	
	退院数	674.3	662.7	681.7	
	入院在院患者	7,299	7,440	7,002	
	入院延患者数	7,973	8,103	8,684	
	病棟一日当たり患者数	245.5	244.6	229.5	
	平均在院日数 (公式)	11.1	11.2	11.9	
	占床率	85.9	82.0	77.0	
	入院件数	889	872	850	
	入院日数	7,967	7,924	7,448	
	入院点数(千点)	42,620	44,748	44,389	
	件当日	9.0	9.0	8.8	
	入院 日当点	5,349	5,651	5,980	
	入院 件当点	47,929	51,315	52,221	
	入院回リハ	実働病床数	50.0	50.0	50.0
		入院数	10.2	9.3	8.3
		退院数	20.5	22.8	18.6
入院在院患者		1405	1390	1404	
入院延患者数		1426	1413	1423	
病棟一日当たり患者数		46.4	45.7	46.0	
平均在院日数 (公式)		63.0	61.5	73.4	
占床率		93.8	92.9	93.3	
入院件数		66.0	64.8	58.0	
入院日数		1564	1527	1527	
入院点数(千点)		5865	5751	5379	
件当日		23.8	23.7	24.2	
入院 日当点		3750	3763	3523	
入院 件当点	89030	89074	85260		
入院緩和ケア	実働病床数	24.0	24.0	24.0	
	入院数	13.2	17.9	16.8	
	退院数	19.7	24.6	22.4	
	入院在院患者	327	369	339	
	入院延患者数	347	394	362	
	病棟一日当たり患者数	10.9	12.1	11.9	
	平均在院日数 (公式)	22.7	18.3	18.5	
	占床率	47.5	53.8	49.4	
	入院件数	29.2	36.7	31.8	
	入院日数	432	457	399	
	入院点数(千点)	2033	2256	1940	
	件当日	15.1	12.5	12.5	
	入院 日当点	41712	49412	4858	
入院 件当点	70815	61913	60931		
外来	外来延患者数	24459	23952	23901	
	外来一日当たり患者数	1032	1025	1034	
	初診回数	2491	2354	2321	
	外来件数	15097	15060	15058	
	外来日数	21397	21453	21219	
	外来点数(千点)	21045	21184	21945	
	件当日	1.4	1.4	1.4	
	外来 日当点	984	988	1034	
	外来 件当点	1394	1406	1457	
	外来組合員利用率	90.4%	90.3%	89.5%	
紹介新患	紹介受入患者数	668	665	678	
	紹介先数	375	465	454	
	救急搬入患者数	273	256	316	
	新患数	814	792	792	
	初診数	2,491	2,354	2,321	
	紹介率%	31.5	33.9	39.0	
	逆紹介率%	15.1	15.5	19.8	
紹介率計%	46.7	49.4	58.8		

項目名		月平均			
		2014年	2015年	2016年	
在宅	往診件数	65.8	57.5	55.7	
	往診 延べ回数	99.5	92.3	87.3	
健診	健康づくり健診	38.1	35.4	32.0	
	特定健診	288.5	306.6	300.1	
	国保 人間ドック	195.2	206.8	198.9	
	その他 人間ドック	63.3	66.0	74.6	
	事業所 健診	1212.3	1,246.1	1,296.5	
	被爆者 健診	9.1	9.1	9.0	
	職員 健診	142.3	144.6	151.5	
	オプション健診のみ	344.3	346.8	429.1	
	実施件数合計	2412.3	2,361.3	2,491.7	
	胃ガン 検診	803.3	835.8	852.1	
	大腸ガン 検診	1285.8	1,296.8	1,368.8	
	子宮ガン 検診	336.9	355.0	413.3	
	乳ガン 検診	365.3	364.5	403.4	
	エコー 検診	318.3	353.7	361.5	
	骨粗鬆症 検診	53.9	50.2	52.3	
	前立腺 検診	74.4	79.5	79.6	
	乳幼児 検診	164.3	145.3	162.3	
	健診・胸部X P	1,944	2,015	2,123	
	健診・上部消化管	670	694	697	
	健診・腹エコー	306	339	355	
	相談	M S W相談延べ件数	1,023	1,023	1,317
		M S W相談実件数	602	609	642
	職員	職員数 (常勤)	606.3	607.7	603.2
職員数 (非常勤)		211.1	203.0	256.6	
医師数 (常勤)		73.8	68.5	71.9	
医師数 (非常勤)		29.1	26.2	28.0	
一人当たり月収(千円)		1035.3	1049.1	927.5	
医師一人当たり月収		8234.2	8970.6	7987.9	
検査	尿一般件数	4129	4,164	4,341	
	総検体数	11317	11,820	12,224	
	心電図(ECG)	1021	1,006	1,016	
	ホルター心電計	69	73	75	
	エコー (腹部)	369	379	365	
	エコー (乳房)	155	198	185	
	エコー (甲状腺)	22	14	9	
	心エコー(UCG)	236	262	269	
	頸動脈エコー	129	131	135	
	眼底カメラ	48	40	37	
	トレッドミル	26	27	22	
	細菌・培養件数	1340	1410	1488	
	細菌・総件数	2659	2701	2707	
	病理・細胞診件数	576	602	625	
	病理・組織件数	428	389	387	
	単純撮影 (胸部)	1,540	1,529	1,479	
	放射線	造影 (上部消化管)	15.2	15.1	11.8
造影 (下部消化管)		17.8	15.7	15.1	
マンモグラフィー		98	138	122	
C T 件数		1,217	1,242	1,287	
C T (頭部)		253	271	264	
C T (胸腹部) 造影なし		595	560	541	
C T (胸腹部) 造影あり		247	289	333	
M R I		479	464	500	
内視鏡	ファイバー (胃) (GIF)	536	520	522	
	ファイバー (大腸) (CF)	195	199	195	
	ファイバー (肺) (BF)	10.8	8.6	7.3	
	血管造影 (腹部・他)	15.5	14.3	16.1	
血管造影 (心臓)	25.4	22.2	21.0		

項目名	月平均			
	2014年	2015年	2016年	
薬劑	処方箋枚数 (入)	4362	5542	5491
	調剤剤数 (入)	10625	11971	11411
	処方箋枚数 (外)	477	440	345
	調剤剤数 (外)	799	756	588
	院外処方箋枚数	14740	14653	14509
	院外発行率%	96.9	97.1	97.7
食養	薬剤管理指導(350×)	1470.6	1860.3	1796.1
	患者給食数	22,839	23,605	22,504
	特別食	10,339	9,640	9,336
	食生活相談 (入院)	382	285	261
リハビリ	食生活相談 (外来)	357	336	315
	P T (入院)	4,116	4,512	4,465
	O T (入院)	1,602	1,666	1,899
	S T (入院)	515	473	498
	P T (外来)	239	246	214
	O T (外来)	59.7	80.5	69.6
	S T (外来)	20.2	11.3	12.6
	透析	透析 実数	73.7	76.6
透析 延べ数		851.8	892.9	861.8
手術	手術室 手術件数	185.8	198.7	201.0
	全身麻酔 管理	120.2	124.1	133.8
	外科	56.4	57.6	55.7
	整形外科	66.3	76.7	91.8
	産婦人科	23.4	25.4	25.0
	眼科	19.5	20.1	15.8
	泌尿器科	17.6	18.3	12.8
	皮膚科 (外来)	21.1	20.8	27.9
	皮膚科 (ケミカルピーリング)	14.5	14.2	10.9
	分娩	分娩数	41.4	43.8
治療	外来治療 実人数	22.3	33.5	53.7
	延べ回数	30.0	49.4	86.6
死亡	死亡患者数 (院内)	29.5	31.9	30.4
	死亡患者数 (外来)	4.1	3.8	5.6
	死亡患者数 (在宅)	3.9	2.9	2.5
	剖検数(外来死亡含む)	0.8	1.0	1.7

項目名	月平均			
	2014年	2015年	2016年	
患者1000人当各種検査実施件数	尿一般件数	127.4	130.0	137.4
	総検体数	348.5	368.9	387.0
	心電図(ECG)	31.5	31.4	32.2
	ホルター心電計	2.1	2.3	2.4
	エコー (腹部)	11.4	11.8	11.5
	エコー (乳房)	4.8	6.2	5.9
	エコー (甲状腺)	0.7	0.4	0.3
	心エコー (UCG)	7.3	8.2	8.5
	トレッドミル	0.8	0.8	0.7
	細菌・培養件数	41.4	43.9	47.1
	細菌・総件数	82.0	84.1	85.7
	病理・細胞診件数	17.8	18.8	19.8
	病理・組織件数	11.3	10.2	10.3
	単純撮影 (胸部)	48.0	47.7	46.8
	造影 (上部消化管)	21.1	22.6	22.5
	造影 (下部消化管)	0.5	0.5	0.5
	C T 件数	37.7	38.7	34.0
	C T (頭部)	7.9	8.4	7.0
	C T (胸部)	18.4	17.5	14.3
	C T (腹部)	7.7	9.0	8.8
	M R I	12.6	14.5	13.2
	ファイバー (胃) (GIF)	13.9	16.2	13.8
	ファイバー (大腸) (CF)	5.2	6.2	5.2
	ファイバー (肺) (BF)	0.3	0.3	0.2
	血管造影 (腹部・他)	0.4	0.4	0.4
	血管造影 (心臓)	0.7	0.7	0.6

2. 医療の質の改善

(1) 医療の質改善の指標 領域一覧 (2016年度)

領域番号	領域名称	S	P	O
0	基礎情報 (共通分母)			
1-1	医療機能・教育研修・パートナーシップと患者満足	0	6	5
1-2	安全管理・感染制御	0	6	6
2-1	入院医療の状況・標準的・効率的医療、治療の成功	1	5	6
2-2	入院患者の看護ケア・栄養管理	0	2	3
2-3	HCUの状況	1	0	1
2-4	回復期リハビリテーション病棟の状況	0	1	2
2-5	総合内科病棟の状況	1	2	0
3-1	外来医療の状況	2	1	0
3-2	救急医療の状況	4	7	2
3-3	在宅医療の状況	2	0	2
4-1	地域連携の状況	1	3	0
4-2	療養支援・相談機能	0	5	2
5	医療記録の適切性	0	3	0
6	保健予防・ヘルスプロモーション	2	8	8
7-1	呼吸器内科	1	2	0
7-2	呼吸器外科・乳腺外科・消化器外科	0	6	3
7-3	消化器内科	1	9	0
7-4	整形外科	1	1	2
7-5	産婦人科	1	5	3
7-6	小児科	3	2	2
7-7	循環器内科	0	5	1
7-8	泌尿器科・透析	0	3	2
7-9	糖尿病内科	0	0	2
7-10	皮膚科	0	2	0
7-12	眼科	0	2	0
7-13	精神科	1	2	0
7-14	緩和ケア	0	1	2
7-15	がん医療	4	5	0
7-16	被爆者医療	1	1	0
8-1	臨床検査の機能	0	1	1
8-2	画像診断の機能	0	2	1
8-3	薬剤管理の機能	0	4	4
8-4	リハビリテーションの機能	0	5	1
8-5	栄養管理の機能	0	1	1
8-6	医療機器管理	0	0	1
9-1	診療報酬管理・医療整備	0	2	0
9-2	医療情報と情報システムの管理	0	1	0
9-3	経営管理・労務管理・環境管理	5	8	3
10	専門・認定資格・体制	41	0	0
	計	32	119	66

2016年1～12月測定値 (2017/5/12)

(2) 基礎情報

共通分母	2014年	2015年	2016年
病床数	401	401	401
一般病床数	351	327	327
回復期リハビリ病床数	50	50	50
緩和ケア病棟	24	24	24
HCU (再掲)	4	4	4
小児科病床 (再掲)	12	12	12
外来実患者数	52,627	52,679	52,855
外来延べ患者数	299,937	292,050	290,770
初診患者数	29,891	28,247	27,851
新規登録患者数	9,767	9,502	9,508
期始在院患者数	3,443	231	209
新入院患者数	8,353	8,476	8,821
一般病床新入院患者数	8,074	8,150	8,511
回リハ病床新入院患者数	121	111	109
緩和ケア病床入院患者数	158	215	201
退院患者数	8,349	8,497	8,791
一般病床退院患者数	7,868	7,951	8,299
回リハ病床退院数	245	251	216
緩和ケア病床退院数	236	295	276
65歳以上退院患者数	4,764	4,973	5,025
外来診療日数	284	281	281
入院診療日数	365	365	366
在院患者延べ数 (全病棟)	116,746	118,917	113,744
在院患者延べ数 (一般病棟)	95,470	97,236	92,328
在院患者延べ数 (回リハ病棟)	17,110	16,959	17,067
在院患者延べ数 (緩和ケア病棟)	4,166	4,722	4,349
退院患者の総在院日数	118,648	119,960	113,264
一般病床退院患者の総在院日数	92,438	92,886	88,594
回リハ病床退院患者の総在院日数	20,432	20,985	19,223
緩和ケア病床退院患者の総在院日数	5,778	6,089	5,447
産科小児科除く退院患者数	6,693	6,886	7,080
産科小児科除く退院患者在院日数	104,638	107,100	100,276
分娩数	452	522	547
新生児数	452	528	552
常勤職員数	600	608	603
非常勤職員数 (常勤換算)	219	203	458
常勤医師数	73	70	73
非常勤医師数 (常勤換算)	29	26	36
常勤看護師数	279	279	270
非常勤看護師数 (常勤換算)	57	61	65
医療技術系職員数	185	181	188
全職員数	821	839	860

(3) 医療指標 2016年 測定値

■1-1■ 医療機能・教育研修・パートナーシップと患者満足

No.	指標項目名	項目詳細	分子	分母	2014	2015	2016
1-1-P2	採用薬品数、新規採用検討数	採用薬品数	採用薬品の数(剤型、規格別)	--	1407品目	1408品目	1414品目
		新規採用数	ジェネリックへの変更含む	--	69品目	51品目	34品目
1-1-P4	剖検とCPC	死亡退院に対する剖検実施率	剖検数	死亡退院数	2.0%	3.1%	5.4%
		CPC実施率	CPC実施数	剖検数	38%	25%	25%
1-1-P8	学会への参加と発表	発表数	学会への発表数(筆頭のみ)	--	32	41	40
1-1-P9	カンファレンス記録数	病棟、外来、診療科	カンファレンス記録(テンプレート)で記録された数	--	2727	7922	12575
		医療チーム	チームカンファレンス・ラウンドの記録(ICT、NST、RST、褥瘡、カンサーボード、緩和ケア)	--		440	2016
	問題解決が記載されたもの	SDH・倫理	カンファレンス記録のうち方針が記載されたもの	--		1187	5002
1-1-P12	カルテ開示数	実施数	カルテ開示実施数	--	26	29	61
1-1-P13	マイかるて	新規登録数	マイかるて新規登録者の数	--	233人	428人	451人
1-1-O1	患者満足度(外来患者)	回収率	回収数	配布数	71.1%	41.3%	39.8%
		まあ満足以上の割合	5段階評価で「満足」+「やや満足」の数	回収数(未回答含む)	86.6%	88.6%	92.0%
1-1-O2	患者満足度(退院患者)	回収率	回収数	配布数	37.2%	59.1%	55.7%
		まあ満足以上の割合	5段階評価で「満足」+「やや満足」の数	回収数(未回答含む)	96.0%	93.5%	93.1%
1-1-O3	虹の箱投書	記名投書率	記名のある投書の数	虹の箱投書数		57.4%	51.8%
		記名投書数	虹の箱投書数	--		206	145
1-1-O4	医療安全相談機能	対応数	医療安全相談記録の数		56	16	14
1-1-O5	医療の達成度に関する職員の満足度	回答率	回収数	配布数(常勤職員数)	71.9%	76.3%	83.3%
		③目標達成率	6段階の③「どちらかというと思う」以上の数	回収数	81.0%	80.9%	78.9%
		④勤める率	6段階の④「どちらかというと思う」以上の数	回収数	71.9%	66.7%	67.1%
		⑤働いてよかった率	6段階の⑤「どちらかというと思う」以上の数	回収数	82.3%	81.8%	80.7%

■1-2■ 安全管理・感染制御

No.	指標項目名	項目詳細	分子	分母	2014	2015	2016
1-2-P1	ひやり・事故報告数 〔件〕	職員一人当たり報告数	ひやりはっと報告数	常勤職員数	1.64	1.31	1.80
		医師提出率	ひやりはっと報告医師提出数	全ひやりはっと報告数	2.9%	1.4%	1.5%
1-2-P4	抑制率（抑制人日／延べ入院患者数）	抑制割合	抑制を実施した患者の延べ日数	期間中入院患者延べ人数	16.9%	15.4%	15.1%
		抑制患者一人当たり抑制日数	抑制を実施した患者の延べ日数	期間中抑制を実施した患者の数	9.9日	9.6日	8.8日
		解除・軽減のための検討頻度（日／回）	抑制を実施した患者の延べ日数	解除検討のためのカンファレンス記録数		0.92	1.12
1-2-P7	C V挿入部位割合	鎖骨下刺入割合	CV鎖骨下刺入数	総CV刺入数	3.6%	3.5%	9.0%
		内頸刺入割合	CV内頸静脈刺入数	総CV刺入数	42.1%	58.7%	53.5%
		鼠径刺入割合	CV大腿静脈刺入数	総CV刺入数	52.1%	37.8%	37.5%
1-2-P8	中心静脈使用率	中心静脈使用患者の割合	中心静脈カテーテル留置人数	期始在院患者＋新入院患者数	4.0%	3.4%	2.3%
		中心静脈使用率	中心静脈カテーテル留置日数	期間内延べ入院患者数	4.6%	4.0%	2.3%
		患者1人当たり使用日数	中心静脈カテーテル留置日数	中心静脈カテーテル留置人数	11.5日	11.6日	9.5日
1-2-P9	尿道カテーテル留置率	尿道カテーテル留置割合（人）	尿道留置カテーテル留置患者数	期始在院患者＋新入院患者数	23.5%	23.1%	27.4%
		尿道カテーテル留置率	尿道留置カテーテル留置延べ日数	期間内延べ入院患者数入院患者数	11.5%	11.7%	13.2%
		患者1人当たり使用日数	尿道留置カテーテル留置延べ日数	尿道留置カテーテル留置患者数	6.9日	7.1日	6.2日
1-2-P10	人工呼吸器使用率	人工呼吸器使用患者割合	人工呼吸器装着患者数	期始在院患者＋新入院患者数	1.9%	2.6%	1.8%
		人工呼吸器使用率	人工呼吸器装着患者延べ日数	期間内のべ入院患者数	1.9%	1.2%	0.9%
		患者1人当たり使用日数	人工呼吸器装着患者延べ日数	人工呼吸器装着患者数	14.2日	6.6日	6.4日
1-2-O1	ひやり・医療事故報告	患者1000人当たり報告数	ひやりはっと報告数	(外来患者実人数＋新規入院患者数)÷1000	33.8	31.4	31.6
1-2-O2	重篤な医療事故	発生率（入院外来1000人対）	レベル4以上の事故発生数	(外来患者実人数＋新規入院患者数)÷1000	0.03%	0.00%	0.05%
1-2-O5	転倒・転落	「治療を必要とする」以上の割合	レベル3以上の転倒転落事故発生数	(外来患者実人数＋新規入院患者数)÷1000	0.20%	0.62%	0.44%
		骨折またはレベル4以上の転倒転落発生割合	骨折またはレベル4以上の転倒転落発生数	(外来患者実人数＋新規入院患者数)÷1000	0.05%	0.07%	0.08%
1-2-O6	中心静脈確保時の合併症	動脈誤穿刺率	動脈誤穿刺数	対象期間のC V穿刺数	0.3%	0.0%	0.3%
		鎖骨下穿刺時の気胸発生率	気胸発生数	対象期間のC V鎖骨下穿刺数	0.0%	13.3%	0.0%
1-2-O8	ブドウ球菌耐性率	MRSA	うちMRSA検出数（患者重複調整）	期間中黄色ブドウ球菌検出患者数	48.9%	52.5%	45.2%
1-2-O9	医療器具関連感染	膀胱留置カテーテル関連感染発生率	膀胱留置カテーテル関連尿路感染新規発生数	膀胱留置カテーテル留置延べ日数	3.26%	1.24%	1.72%
		中心静脈カテーテル関連感染発生割合	中心静脈カテーテル関連血流感染新規発生数	中心静脈カテーテル留置延べ日数	1.48%	2.98%	6.14%
		人工呼吸器関連肺炎発生率(人)	人工呼吸器関連肺炎発生数	人工呼吸器装着患者数	16.8%	0.0%	0.0%

■2-1■ 入院医療の状況・標準的・効率的医療、治療の成功

No.	指標項目名	項目詳細	分子	分母	2014	2015	2016
2-1-S1	DPC適用率・出現分類率 ※月1例以上	DPC出現分類数 1例/月以上率	月1例以上件数のあるDPC分類数	全DPC分類数 (包括対象外含む)	4.7%	5.2%	3.8%
2-1-P1	クリティカルパスの導入数・適用率 (地域連携パス含まず)	適応率	入院時または入院中にクリパスを適応した患者数(入院中変更は1件と計数)	退院患者数	40.9%	41.7%	46.0%
		クリパス数	運用されているクリパスの数(適応実績の有無を問わない)	--	119	73	65
2-1-P2	DPCⅡ期間内割合	DPC対象病床、診療科、病棟別	DPCⅡ期間以内での退院患者数	退院患者数	62.3%	60.5%	68.5%
2-1-P3	麻酔管理	麻酔管理率	麻酔管理料算定数	全身麻酔、硬膜外麻酔、脊椎麻酔による手術件数	78.6%	81.1%	83.3%
2-1-P4	術後感染予防抗生剤の使用	第1・2世代抗生剤使用率	第1・2世代ペニシリンまたはセフェム剤を使用した数	同上	98.4%	97.5%	98.4%
2-1-P5	術日または翌日の輸血実施	MAP6単位以上の輸血を要した患者の割合	術日または術翌日までに6単位以上のMAP輸血を実施した患者数	緊急手術を除く全身麻酔・硬膜外麻酔・脊椎麻酔による手術数	1.4%	0.8%	0.8%
2-1-O1	入院精死亡率※	入院精死亡率	死亡退院数－入院から24時間以内の死亡退院数	退院患者数(みなし入院を除く)	3.9%	4.1%	3.8%
		入院24時間以内死亡数※	入院後24時間以内死亡数	--	31	36	30
2-1-O2	再入院	再入院率(計画入院・他疾患除く)	前回退院から7日以内に前回と同一傷病・併存症・合併症で予定外の再入院した患者の数	退院患者数		0.31%	1.40%
2-1-O3	緊急再手術率	術後30日以内	手術から30日以内に再手術となった患者数	手術室で行った予定手術数(カテーテル手術、内視鏡手術を除く)	1.9%	2.2%	1.0%
2-1-O6	開腹手術における異物残存	異物残存率	閉創後にガーゼ等異物残存が発覚し再開創した数	開腹手術数	1.80%	0.84%	1.66%
2-1-O7	術後感染症(結腸、胃)	胃切術後感染率	術後1ヵ月以内の手術部位感染発生数	胃切除手術数	16.0%	10.3%	7.4%
		結腸術後感染率	術後1ヵ月以内の手術部位感染発生数	結腸切除術数	5.1%	6.5%	5.3%
		直腸術後感染率	術後1ヵ月以内の手術部位感染発生数	直腸切除切断術	5.9%	12.0%	14.3%
2-1-O8	整形外科手術後の局所感染率	股関節手術後感染	術後1年以内の手術部位感染発生数	人工股関節置換術・再置換術・骨頭挿入術数(抜去のみ例、術時感染例を除く)	0.53%	0.00%	1.03%
		膝関節手術後感染	術後1年以内の手術部位感染発生数	人工膝関節置換術・再置換術(全/部分)数(抜去のみ例、術時感染例を除く)	0.00%	1.22%	0.00%

■2-2■ 入院患者の看護ケア・栄養管理

No.	指標項目名	項目詳細	分子	分母	2014	2015	2016
2-2-P1	栄養管理	入院3日以内の血清Alb値が3.0g/dL未満率	入院前日から入院3日目までの血清Alb値が3.0g/dLである患者の数	退院患者数	13%	22%	28%
		15日以上在院患者における入院中最低Alb値2.8未満率	入院中に測定した血清Albの最低値が2.8g/dLである患者数	在院日数が15日以上 の退院患者数	28.5%	37.3%	44.8%
2-2-O1	入院中の低栄養の改善の結果	入院時血清Alb値3.0g/dL未満から退院時3.0g/dL以上に改善した患者の割合(15日以上在院)	退院時(入院中最終)の血清Alb値が、3g/dL以上に改善した患者の数	入院前日から入院3日目までの血清Alb値が3.0g/dLで在院日数15日以上 の退院患者	34.8%	31.2%	28.9%
2-2-P2	褥瘡予防	有リスク者割合	褥瘡発生のリスクがあると判断し予防計画を立案した数	産科・小児科を除く退院患者	1.4%	1.2%	5.3%
		褥瘡計画作成率	ハイリスクと判断し褥瘡診療計画を作成した患者数	産科・小児科を除く退院患者	61.2%	36.2%	37.5%
2-2-O2	新規褥創発生	褥創発生患者の割合	新規褥瘡発生数(入院時にすでにあった褥瘡を除く)	産科・小児科を除く退院患者	1.4%	1.4%	1.3%
		褥瘡発生率(対千人日)	新規褥瘡発生数(入院時にすでにあった褥瘡を除く)	産科・小児科を除く退院患者の入院延べ日数	0.91‰	0.92‰	0.89‰
2-2-O3	褥創治癒率	褥創回診終了率	治癒または軽快し回診終了した数	対象期間の褥瘡患者(新規発生・保有)数	41%	29%	26%

■2-3■ HCUの状況

No.	指標項目名	項目詳細	分子	分母	2014	2015	2016
2-3-S1	入室経路(救急車、外来、病棟)	救急車	救急搬入による入室者数	HCUへの新規入院または転入患者数	66.0%	65.8%	61.1%
		転室	他病棟、一般病室からの入室者数	HCUへの新規入院または転入患者数	12.3%	0.0%	18.7%
		外来	外来経由の患者数(紹介患者含む)	HCUへの新規入院または転入患者数	21.6%	34.2%	20.2%
2-3-O1	HCU転帰	死亡退院率	死亡退院数	HCU退室者数	4.9%	19.1%	17.9%
		転院率	転院数	HCU退室者数	0.0%	3.5%	1.1%

■2-4■ 回復期リハビリテーション病棟の状況

No.	指標項目名	項目詳細	分子	分母	2014	2015	2016
2-4-P1	回復期リハビリテーション病棟のリハビリ実施の状況	脳リハ患者1人当たり実施日数	リハビリテーション延べ実施日数	脳血管障害でリハビリテーション評価/訓練を実施した退院患者数	71.8日	56.9日	81.4日
		脳リハ患者1人当たり実施単位	リハビリテーション総単位数	脳血管リハビリテーションのべ実施日数	5.4単位	6.7単位	6.9単位
		運リハ患者1人当たり実施日数	リハビリテーション延べ実施日数	運動器リハビリテーション評価/訓練を実施した退院患者数	52.0日	48.8日	61.4日
		運リハ患者1人当たり実施単位	リハビリテーション総単位数	運動器リハビリテーションのべ実施日数	6.5単位	6.1単位	5.9単位
2-4-O2	回復期リハビリテーション病棟退院患者の在院日数	病棟滞在日数の平均	回復期リハビリテーション病棟に入院または転棟から退院までの総日数	回復期リハビリテーション病棟退院患者数	66.5日	63.8日	71.9日
2-4-O3	回復期リハビリテーション病棟の機能改善 (FIM効率)	FIM効率	回復期リハビリテーション病棟退院患者のFIM効率 [(退院時FIM-入院時FIM) / 訓練日数] が0.25以上の割合	回復期リハビリテーション病棟退院患者数		53%	51%

■2-5■ 総合内科病棟の状況

No.	指標項目名	項目詳細	分子	分母	2014	2015	2016
2-5-S1	多様な疾患	総合内科診療DPC分類数6桁)	DPC分類 (6桁) 出現数	総合内科診療医担当退院患者	152	146	155
2-5-P1	アセスメント	説明教育プランの立案率、マネジメントプランの立案割合	入院時イニシャルプランに説明・教育・マネジメントプランのいずれかがある患者数	総合内科診療医担当退院患者		63%	30%
2-5-P2	患者への診療情報提供	退院時の情報提供割合	退院時に退院時サマリまたは退院療養計画書・病状説明・計画書が渡されたことが記録されている患者	総合内科診療医担当退院患者			50%

■3-1■ 外来医療の状況

No.	指標項目名	項目詳細	分子	分母	2014	2015	2016
3-1-S1	外来実患者数	外来実患者数	期間内に1回以上受診した患者の実数	--	52627人	52679人	52855人
3-1-S2	外来患者受診状況	年間平均受診回数	外来患者のべ人数	期間内に1回以上受診した患者の実数	5.7回	5.5回	5.5回
3-1-P4	職業歴記載割合 (15歳以上)	新規患者記載率→医師初診時記録	医師記録に職業歴が記載された患者	15歳以上の新規患者	21.9%	44.5%	15.9%

■3-2■ 救急医療の状況

No.	指標項目名	項目詳細	分子	分母	2014	2015	2016
3-2-S1	救急患者数	時間外患者数 (救急車、小児救急を除く)	時間外・休日患者数 (救急車、小児救急を除く)	--	10526人	11539人	6086人
3-2-S2	救急受け入れ要請数	救急受け入れ要請数	救急受け入れ要請数	--	6078人	5304人	5393人
3-2-S3	救急搬入入院	救急搬入入院数	救急搬入され入院となった患者数	--	1173人	1141人	1416人
		救急搬入入院割合	救急搬入され入院となった患者数	救急搬入患者数	35.8%	37.1%	37.4%
3-2-S4	来院時心肺停止患者数	来院時心肺停止患者数	来院時心肺停止患者数 (搬送中C P R、P E A含む)	--	52人	56人	71人
3-2-P1	受付時間外急患のトリアージ	トリアージ率	トリアージ記録のある患者	時間外・休日患者数	91.8%	59.5%	88.7%
		アンダートリアージ率	転帰が入院、転院、外来死亡の患者	トリアージ結果が非緊急の患者	3.2%	2.0%	2.3%
3-2-P2	救急車受け入れ	救急搬入患者数	救急搬入患者	--	3276人	3073人	3786人
		救急患者受入率	救急搬入患者	救急受け入れ要請患者(人)数	53.9%	57.9%	70.2%
3-2-P3	救急搬入患者の入院にかかった時間	6時間以内に入院した患者の割合	搬入から入院まで6時間以内の患者数	救急搬入後入院となった患者数	34.0%	53.7%	54.2%
3-2-P4	脳血管障害患者の頭部C T撮影までの時間	来院から撮影まで(分)	来院時から撮影までの時間の合計(2時間以上を除く)	救急搬入され脳血管障害の疑いで緊急C T撮影した患者数	48.0分	48.0分	64.1分
3-2-P5	緊急手術までに要した時間の平均	緊急手術までに要した時間の平均	手術開始までの時間の合計	救急搬入後緊急手術となった患者数	-	4.8	2.8
3-2-P6	緊急内視鏡処置までに要した時間の平均	緊急内視鏡処置までに要した時間の平均	内視鏡の処置開始までの時間の合計	救急搬入後緊急内視鏡的処置を行った患者数	49.0分	49.0分	52.0分
3-2-P7	救急搬入患者のC T撮影したうち有所見の割合	救急搬入患者のC T撮影したうち有所見の割合	有(新)所見数	救急搬入され緊急C T撮影を行った患者数	46.1%	25.6%	3.0%
3-2-O2	心拍再開した患者の割合、生存退院割合	心拍再開した患者の割合	心拍再開し入院となった患者	来院時心肺停止患者数(搬送中C P R、P E A含む)	23%	23%	17%
		生存退院割合	30日後までに生存退院した患者	心拍再開し入院となった患者	17%	8%	17%
3-2-O3	救急搬入後帰宅した患者の転帰	2週間以内に再搬入または受診し入院した患者割合	2週間以内に再搬入または外来受診し入院した患者	救急搬入後外来帰宅した患者	3.5%	2.6%	3.2%

■3-3■ 在宅医療の状況

No.	指標項目名	項目詳細	分子	分母	2014	2015	2016
3-3-S1	在宅管理患者数	年間管理患者実人数の平均	対象月数	ひと月の管理患者人数の合計	88人	69人	65人
3-3-S2	新規在宅患者数	新規在宅管理患者数	新規に在宅管理となった患者数	--	82人	71人	79人
3-3-O1	在宅患者死亡数	在宅死亡割合	在宅死亡の数	在宅管理患者の死亡総数	60%	54%	36%
		入院死亡割合	入院死亡の数	在宅管理患者の死亡総数	40%	40%	61%
		他施設死亡割合	他院死亡の数	在宅管理患者の死亡総数	0%	6%	3%
3-3-O2	在宅看とりを希望した患者の看とり	在宅看とり率	在宅死亡の数	在宅看とりを希望した数	53%	100%	89%

■4-1■ 地域連携の状況

No.	指標項目名	項目詳細	分子	分母	2014	2015	2016
4-1-S3	連携医療機関の状況	医療機関数	紹介受け入れ、逆紹介した医療機関の数	--	469	1073	1113
		登録医数	連携登録している医療機関数	--	82	82	88
4-1-P1	地域連携クリティカルパスの運用	受入数	脳卒中連携パス・大腿骨頸部骨折連携パスによる受け入れ数	--	44例	44例	44例
		発行数	連携パスを用いて紹介した患者数	--	0例	0例	0例
4-1-P2	患者紹介率	紹介割合	法人外からの紹介受け入れ数	初診患者数の合計	47.0%	14.3%	22.2%
		逆紹介割合	法人外への紹介数	初診患者数の合計	--	13.9%	17.4%
		内科専門外来紹介者の割合→数	内科専門外来で直接受け入れた紹介患者数	--	2.9%	2115	2180
		小児科紹介割合→数	小児科受け入れ紹介患者数	--	2.0%	361	369
		外科紹介割合→数	外科受け入れ紹介患者数	--	1.9%	375	421
		産婦人科紹介割合→数	産婦人科受け入れ紹介患者数	--	1.4%	413	487
		泌尿器科紹介割合→数	泌尿器科受け入れ紹介患者数	--	2.0%	394	401
		整形外科紹介割合→数	整形外科受け入れ紹介患者数	--	2.2%	773	925
		皮膚科紹介割合→数	皮膚科受け入れ紹介患者数	--	1.5%	378	392
		眼科紹介割合→数	眼科受け入れ紹介患者数	--	1.3%	104	40
		精神科紹介割合→数	精神科受け入れ紹介患者数	--	1.0%	83	55
4-1-P3	開放型病床	共同診療数	登録医と共同診療を行った数	--	2	0	1

■4-2■ 療養支援・相談機能

No.	指標項目名	項目詳細	分子	分母	2014	2015	2016
4-2-P1	療養支援会議	実施記録のある患者数	療養支援会議記録のある患者	--	277人	255人	363人
4-2-P2	相談件数 ワーカー1人当たり 相談件数	1人当たり相談件数	期間中相談延べ件数	ワーカー数	1269	1188	1703
4-2-P3	相談実人数 相談者当たり回数	相談者当たり回数	相談(延べ)件数	相談実人数	1.7	1.7	2.1
		相談実人数	相談者の数	--	7224人	7305人	7700人
4-2-P4	受療支援	無保険相談数	無保険に関する相談数	--	28	15	--
		資格証明書相談数	資格証明書に関する相談数	--	0	1	--
		短期保険証相談数	短期保険証に関する相談数	--	4	4	--
4-2-P5	がん相談	がん相談数	がん関係受け入れ紹介患者相談数	--	645	980	870
4-2-O1	退院支援による療養 継続	目標期間内に再入院しなかった患者の割合→90日	退院後90日以内に再入院しなかった患者数	療養支援会議を実施して退院した患者数	100%	75%	100%
4-2-O2	無料低額診療制度利用	相談数	無料低額診療制度の相談者数	--		7	7

■5■ 医療記録の適切性

No.	指標項目名	項目詳細	分子	分母	2014	2015	2016
5-1-P1	「退院時要約」記載率	退院後7日以内記載率	退院時要約7日以内の完成数（研修医は指導医の確認後）	退院患者数	88.0%	90.7%	85.8%
		退院後14日以内記載率	退院時要約14日以内の完成数（研修医は指導医の確認後）	退院患者数	99.2%	99.0%	94.8%
5-1-P3	総合アセスメントの実施	48時間以内実施率	入院翌日までにCGAを含むアセスメントが実施された患者	入院患者	-	32.8%	40.6%
		65歳以上への実施割合	入院翌日までにCGAを含むアセスメントが実施された患者	65歳以上入院患者	44.4%	57.0%	70.9%
5-1-P6	カウンターサインの実施	3日以内実施割合	翌日までに指導医確認がされた記録	研修医の記録	-	34.3%	34.4%

■6■ 保健予防・ヘルスプロモーション

No.	指標項目名	項目詳細	分子	分母	2014	2015	2016
6-1-S1	健康診断	受診総数	健康診断受診者数	--	27958	27336	29900
6-1-S2	禁煙外来受診数	禁煙外来受診者数	禁煙外来新規受診者数	--		59	63
6-1-P1	健診要精査率	総合DE率	総合判定がDまたはEの受診者数	健康診断受診者数	46.8%	52.2%	49.3%
6-1-P2	大腸がん健診	便潜血陽性（D判定）率	便潜血判定Dの数	大腸がん検診実施者数	4.9%	4.4%	4.6%
		精査率	MDLまたは内視鏡検査を実施した数	便潜血判定Dの数	23.3%	47.4%	39.5%
6-1-P3	胃がん検診	要精査（D判定）率	D判定の数	胃がん検診受診者数	26.3%	24.1%	26.4%
		精査数	胃カメラ実施数	D判定の数	20.4%	39.2%	37.7%
6-1-P4	肺がん検診（CT含む）	要精査（D判定）率	D判定の数	胸部X P 撮影数	1.1%	0.9%	1.4%
		精査数	二次精査者数	D判定の数	23.4%	50.8%	50.5%
6-1-P5	早期乳がん発見率	要精査（D判定）率	有所見数	乳がん検診（MMG、エコー）数	7.7%	7.1%	6.2%
6-1-P6	子宮がん検診	子宮頸がん要精査率	要精査率	子宮頸がん検診数	2.1%	2.5%	1.6%
		子宮体がん要精査率	要精査率	子宮体がん検診数	0.4%	0.8%	0.4%
6-1-P7	禁煙外来	終了率	4回以上の割合	禁煙外来新規受診者数	19.7%	54.2%	66.7%
		再喫煙率	終了後1年以内に再喫煙した数	禁煙外来新規受診者数	13.1%	25.4%	11.1%
		中断率	3回以下で中断した数	禁煙外来新規受診者数	11.5%	33.9%	36.5%
6-1-P8	全般的な危険因子の評価と介入	運動量記載割合	患者プロフィールに運動量の記載がある数	断面（連続50名）記録	0.3%	4%	35%
		食事摂取回数・量記載割合	患者プロフィールに食事回数・量の記載がある数	断面（連続50名）記録	1%	0%	55%
		身長+体重（BMI）記載割合	患者プロフィールに身長・体重の記載がある数	断面（連続50名）記録	86%	92%	95%
		喫煙量・歴記載割合	患者プロフィール喫煙情報の記載がある数	断面（連続50名）記録	68%	84%	100%
		飲酒・量歴記載割合	患者プロフィールに飲酒量の記載がある数	断面（連続50名）記録	43%	74%	100%

		介入の記録	患者プロフィールに いずれかの介入を 実施した記載がある数	断面 (連続50名) 記録	0.5%	10%	100%
6-1-O1	要精査者フォロー	DE受診率	二次精査実施数	総合判定DEの数	7.41%	22.30%	0.68%
6-1-O2	早期大腸がん発見率	0期、I期大腸がん 発見率	0-I期のがん診断 数	受診者数	0.09%	0.12%	0.04%
		II期以上大腸がん 発見率	II期以上のがん診断 数	受診者数	0.01%	0.04%	0.00%
6-1-O3	早期胃がん発見率	I期胃がん発見率	I期のがん診断 数	受診者数	0.02%	0.20%	0.12%
		II期以上胃がん発 見率	II期以上のがん診断 数	受診者数	0.04%	0.02%	0.01%
6-1-O4	肺がん発見率 (早 期、進行)	肺がん発見率	がん診断数	受診者数	0.02%	0.02%	0.03%
6-1-O5	早期乳がん発見率	乳がん発見率	がん診断数	受診者数	0.14%	0.26%	0.16%
6-1-O6	子宮がん発見率	子宮頸がん発見率	がん診断数	受診者数	0.00%	0.02%	0.02%
		子宮体がん発見率	がん診断数	受診者数	0.12%	0.10%	0.03%
6-1-O7	禁煙成功率	1年後の禁煙継続 者率	終了から1年後の禁 煙継続者	前年12月までに禁 煙成功した数	10.8%	60.0%	56.3%
6-1-O8	HPの結果	外来治療が可能な 疾患の5日以内の 再入院率 (%)	前回退院から5日以 内に前回と同一傷 病・併存症・合併症 で予定外の再入院し た患者の数	軽快・治癒で退院 した患者数	0.1%	0.24%	0.97%

■7-1■ 呼吸器内科

No.	指標項目名	項目詳細	分子	分母	2014	2015	2016
7-1-S1	アスベスト・じん肺 相談件数	塵肺相談者数	じん肺・アスベスト 相談者の数	-	14人	19人	24人
7-1-P1	気管支内視鏡生検に よる悪性診断率	悪性腫瘍診断率	悪性腫瘍が診断され た数	悪性を疑って気管 支内視鏡検査を 実施した数	7人	18人	5人
7-1-P2	HOT実施者数	HOT年間実人数	HOTを1ヵ月以上 実施している患者の 数	-	171	161	142

■7-2■ 消化器外科・呼吸器外科・乳腺外科

No.	指標項目名	項目詳細	分子	分母	2014	2015	2016
7-2-P1	腹部外科手術難度別 割合	(学会) 高難度手 術率	消化器外科学会の修 練施設の基準による 高難度手術の数	消化器外科学会の 修練施設の要件と なる手術の総数	7.7%	7.5%	7.9%
		(学会) 中難度手 術率	消化器外科学会の修 練施設の基準による 中難度手術の数	消化器外科学会の 修練施設の要件と なる手術の総数	36.8%	32.4%	32.4%
		(学会) 低難度手 術率	消化器外科学会の修 練施設の基準による 低難度手術の数	消化器外科学会の 修練施設の要件と なる手術の総数	55.5%	60.1%	59.7%
7-2-P2	腹部外科領域の内視 鏡下手術	全腹腔鏡下手術数	腹部外科領域の腹腔 鏡下手術数	--	270	261	275
		うち腹腔鏡下胆の う摘出術数	腹腔鏡下胆嚢摘出術 数	--	129	116	128
		うち開腹移行率	開腹に移行した数	腹腔鏡下胆嚢摘出 術数	1.6%	0.9%	1.6%
7-2-P3	急性胆嚢炎の72時間 以内手術実施割合	発症72時間以内手 術実施割合	入院から3日目まで に胆のう摘出術を 実施した数	退院患者のうち処 置が必要な急性胆 石性胆嚢炎で入院 した数	6%	4.5%	9.1%
7-2-P4	胸部外科手術実施	胸部外科領域手術 件数	胸部外科領域手術 実施数 (食道を除く)	--	28	27	31

7-2-P5	乳がん手術	乳房温存手術割合	部分切除術数	2 cm以下の早期乳がん手術数	45%	62%	70%
7-2-P6	手術目的での他院からの紹介患者数	手術目的紹介患者数	手術目的（手術に至らなかったもの含む）の紹介受け入れ数	--	124	158	152
2-1-O7 (再掲)	術後感染症 (結腸、胃)	胃切術後感染率	1ヵ月以内の手術部位感染	胃切除手術数	16.0%	10.3%	7.4%
		結腸術後感染率	2ヵ月以内の手術部位感染	結腸切除手術数	5.1%	6.5%	5.3%
		直腸術後感染率	3ヵ月以内の手術部位感染	直腸切除切断手術数	5.9%	12.0%	14.3%
7-2-O7	外科手術後の死亡退院患者の割合	外科手術後30日以内死亡退院率	外科手術後30日以内死亡退院数	外科手術数	0.4%	0.2%	0.2%
7-2-O8	胃がん手術在院日数	胃がん手術後在院日数	術後在院日数の平均	胃がん手術をして退院した患者	20.3	24.1	24.2

■7-3■ 消化器内科

No.	指標項目名	項目詳細	分子	分母	2014	2015	2016
7-3-S2	炎症性大腸疾患診断数	潰瘍性大腸炎、クローン病	潰瘍性大腸炎・クローン病患者数	--	41人	26人	14人
7-3-P1	消化管内視鏡検査件数〔件〕	上部消化管内視鏡検査数	上部消化管内視鏡検査数	--	6431	6241	6269
		下部消化管内視鏡検査数	下部消化管内視鏡検査数	--	2342	2382	2357
7-3-P2	緊急消化管内視鏡検査	緊急消化管内視鏡検査	緊急消化管内視鏡検査数	--	422	115	104
7-3-P3	内視鏡的粘膜切除件数	食道 (悪性・良性)	食道粘膜切除術実施数 (EMR・ESD)	--	5	3	2
		胃 (悪性・良性)	胃粘膜切除術実施数 (EMR・ESD)	--	39	19	44
		大腸 (悪性・良性)	大腸粘膜切除術 (EMR・ESD)	--	500	414	513
7-3-P4	EST (内視鏡的括約筋切開術)	EST実施件数	EST実施数	--	83	97	96
7-3-P5	膵胆管への造影検査および処置 (EST以外)	実施件数 (ENBD、ERBD、ERCP)	造影検査およびステント留置のみ	--	12	39	34
7-3-P6	肝臓がんに対する肝動脈塞栓術件数	TACE実施件数	TACE実施数	--	33	44	37
7-3-P7	緊急腹部血管造影	実施件数	緊急腹部血管造影実施数	--	6	14	16
7-3-P8	C型肝炎に対するIFN療法	新規IFN開始		--	19	3	1
7-3-P9	PEG造設件数	PEG造設		--	46	18	20

■7-4■ 整形外科

No.	指標項目名	項目詳細	分子	分母	2014	2015	2016
7-4-S1	整形外科手術における後期高齢者の割合	75歳以上の手術率	75歳以上の手術実施者	整形外科における手術患者	31.0%	28.4%	28.8%
7-4-P1	難度の高い手術	D3・E難度 (旧分類) 手術数	旧分類によるD3・E難度手術数	--	363	529	597
		関節手術数	うち関節手術数	--	311	477	580
		脊椎手術数	うち脊椎手術数	--	50	49	14
7-4-O1	高齢者大腿骨頸部骨折手術後の再歩行獲得率	75歳以上で病前歩行患者の再歩行獲得率	退院時杖歩行以上となった患者の数	75歳以上の大腿骨頸部骨折患者のうち病前歩行患者の数	71%	69%	60%
7-4-O2	整形外科手術後の局所感染率	股関節手術後感染 (再掲)	術後1年以内の手術部位感染発生数	人工股関節置換術・再置換術・骨頭挿入術数 (抜去のみ例、術時感染例を除く)	0.53%	0.00%	1.03%
2-1-O8 (再掲)		膝関節手術後感染 (再掲)	術後1年以内の手術部位感染発生数	人工膝関節置換術・再置換術 (全部分) 数 (抜去のみ例、術時感染例を除く)	0.00%	1.22%	0.00%

■7-5■ 産婦人科

No.	指標項目名	項目詳細	分子	分母	2014	2015	2016
7-5-S2	妊婦の年齢構成	35歳以上初産の割合	分娩時年齢35歳以上の産婦数	期間中全産婦数	10%	8.3%	7.7%
		19歳以下の割合	分娩時年齢19歳以下の産婦数	期間中全産婦数	1.8%	1.1%	3.8%
7-5-P1	合併症妊娠への対応	合併妊娠症例	非妊時合併症を有し妊娠・分娩に至った産婦の数	--	60	60	102
		肥満 (BMI30以上)	非妊時のBMIが30以上	--	10	18	13
		精神疾患	精神疾患併存 (F\$)	--	7	13	38
		甲状腺	甲状腺機能低下または亢進性疾患 (E03、E05)	--	8	7	9
		筋腫合併妊娠	子宮筋腫併存	--	18	10	23
		糖尿病合併妊娠	既存の糖尿病1型・2型	--	6	3	5
		LEEP後フォロー	円錐切除術の既往	--		9	14
7-5-P2	妊娠合併症への対応	妊娠高血圧症	妊娠高血圧発症	--	25	36	36
		妊娠糖尿病	妊娠糖尿病発症	--	14	15	44
7-5-P3	母体体重管理	管理基準内割合 (分娩前理想体重+8kg以内)	分娩時体重が分娩前理想体重+8kg以内	期間中に分娩に至った産婦の数	59%	67%	69%
7-5-P4	家族立会いによる分娩	立会い (経膣) 率	家族立ち合い数	経膣分娩の数	99%	99%	85%
		立会い (帝王切開) 率	家族立ち合い数	帝王切開分娩数	84%	97%	90%
7-5-P5	婦人科領域における腹腔鏡下手術	腹腔鏡下手術数	腹腔鏡下手術数	--	3	10	17
		婦人科領域手術件数	婦人科手術数	--	313	162	169
7-5-O1	早期早産	35週未満出生児の割合	35週未満出生時数	新生児数	0.0%	0.4%	0.9%
7-5-O2	低体重出生児	2500g未満低体重児率	出生時体重2500g未満の数	新生児数	4.9%	6.8%	5.4%
7-5-O3	帝王切開術率	帝王切開率	帝王切開数	全分娩数	20.6%	20.1%	19.4%

■7-6■ 小児科

No.	指標項目名	項目詳細	分子	分母	2014	2015	2016
7-6-S1	小児科患者数	小児受診実患者数	小児科外来または小児専門外来に1回以上受診した患者	-	5862	5004	5939
7-6-S2	外来患者のアレルギー性疾患患者	喘息患者数	気管支喘息の病名があり3回以上受診した患者(J45、J46、喘息用気管支炎は除く)	-	2761	1228	1237
		アレルギー性疾患患者数	食物アレルギー、アトピー性皮膚炎の診断で3回以上受診した患者	-		1706	1771
7-6-S3	小児救急患者数	小児夜間救急患者数	20時-8時輪番による小児夜間救急受診患者数	-	1072	1112	1267
7-6-P1	小児外来年間平均受診回数	小児年間受診回数	小児科外来および小児専門外来のべ患者数	小児科外来または小児専門外来に1回以上受診した患者	3.0回	3.3回	3.2回
7-6-P3	小児夜間救急からの入院数	入院数	小児夜間救急に受診し入院となった患者	-	32	33	51
		入院割合	小児夜間救急に受診し入院となった患者	20時-8時輪番による小児夜間救急受診患者数	3%	3%	4%
7-6-O3	食物アレルギー初診乳児の治療状況	食物アレルギー初診乳児の数	食物アレルギー患者のうち初診時1歳未満	-	23	13	12
		3歳までの食事制限解除率	3歳までに食事制限が解除できた患者	食物アレルギー患者のうち初診時1歳未満	35%	56%	58%
7-6-O4	喘息患者のコントロール	1年のうち2回以上入院患者割合	そのうち年2回以上入院した患者の数	気管支喘息で通院中の患者(受診)	0.0%	0%	0.1%

■7-7■ 循環器内科

No.	指標項目名	項目詳細	分子	分母	2014	2015	2016
7-7-P1	心エコー検査	実施件数	心エコー検査実施数	-	2834	3141	2166
7-7-P2	心臓カテーテル検査	実施件数	CAG実施数	-	230	205	137
7-7-P3	緊急心臓カテーテル	実施件数(再掲)	緊急でCAGを実施した数	-	0	5	5
7-7-P4	心臓カテーテルインターベンション	実施件数	PCI後実施数	-	43	22	24
7-7-P5	下肢に対する経皮的血管形成術	実施件数	PTA実施数	-	7	4	9
7-7-O1	PCI 1年後の再狭窄率	同部位へのPCI実施または心筋梗塞発症者の割合	PCI後1年以内の同部位(ステント周囲含む)再狭窄または心筋梗塞発症数	前年12月までにPCI実施した患者	3.3%	4.4%	0%

■7-8■ 泌尿器科・透析

No.	指標項目名	項目詳細	分子	分母	2014	2015	2016
7-8-P2	腎、尿路、膀胱の体外衝撃波砕石	E S W L (例数)	E S W L を受けた患者の数	--	120例	108例	126例
7-8-P4	維持透析患者のHbコントロール	Hb10-12.9mg/dLの患者割合	Hb値が10-12.9mg/dLの患者数	維持透析中の患者数	81%	79%	70%
7-8-P5	維持透析中患者の電解質コントロール	Ca・P積<55患者割合	Ca・P積	維持透析中の患者	76%	74%	65%
		P≤6.5mg/dLの患者割合	血清P値が6.5mg以下の患者	維持透析中の患者	84%	81%	76%
7-8-O1	泌尿器領域の内視鏡下手術後の合併症発生率	合併症発生率	合併症発生数	泌尿器科における内視鏡下手術数	3%	0%	0%
7-8-O2	透析患者の自己コントロール	透析患者のうち心不全で入院または緊急E C U M実施	体重オーバー・急性心不全をきたし緊急入院またはE C U Mを実施した数	維持透析患者	0.064	10%	6%

■7-9■ 糖尿病内科

No.	指標項目名	項目詳細	分子	分母	2014	2015	2016
7-9-O2	外来2型糖尿病患者の血糖コントロール	7.4%(NG S P)未満⇒2013より7.0%未満	H b A 1 c が7%未満の患者数	糖尿病外来通院2型糖尿病患者	56.1%	35.6%	44.0%
7-9-O3	合併症の発生	糖尿病性壊疽による下肢切断	糖尿病性壊疽による下肢切断患者	糖尿病外来通院2型糖尿病患者	4	3	3
		糖尿病腎症による透析導入	糖尿病性腎症を発症し維持透析を導入した患者	糖尿病外来通院2型糖尿病患者	10	19	17

■7-10・12■ 皮膚科・眼科

No.	指標項目名	項目詳細	分子	分母	2014	2015	2016
7-10-P2	皮膚がん診断数	皮膚がん診断数	皮膚生検でがんが診断された患者	--	41	19	27
7-10-P3	皮下腫瘍切除数	皮下皮膚腫瘍切除数	皮膚皮下腫瘍切除数	--	220	291	256
7-12-P1	眼科レーザー治療数	眼科レーザー治療数	レーザー治療実施数(延べ)	--	29	44	35
7-12-P2	白内障手術 白内障以外の手術	件数	白内障手術数	--	233	224	176
		手術件数	白内障以外の手術数	--	0	4	3

■7-13・14・15・16■ 精神科・緩和ケア・がん医療・被爆者医療

No.	指標項目名	項目詳細	分子	分母	2014	2015	2016
7-13-S2	精神科インテーク数	精神科インテーク数	ワーカーの精神科インテーク記録数	--	305人	154人	69人
7-13-P1	精神科デイケア実施数	精神科デイケア実施回数	デイケア実施回数	--	150	143	145
		参加人数	実患者数	--	1646	34	35
7-13-P2	入院精神科療法	入院精神療法実施数	入院精神療法算定数	--	156	40	87
7-14-P3	緩和ケア回診数	緩和ケア回診数	緩和ケア回診数	--	123	99	80
		緩和ケアカンファレンス数	問題解決が記録された数	緩和ケアカンファレンス記録数	0	394	480
7-14-O1	緩和ケア病棟の機能	緩和ケア病棟生存退院割合	緩和ケア病棟生存退院数	緩和ケア病棟退院患者数	29	33%	28%
7-14-O2	緩和ケア病棟の適時受け入れ	緩和ケア病棟死亡退院患者の平均在院日数	在院日数の合計	緩和ケア病棟死亡退院患者数	20.4		15.2
7-15-S1	がん登録数	院内がん登録症例数	対象期間に当院初診となったがん症例数	--	952		972
7-15-S2	がん紹介受け入れ数	がん診断または疑いで他施設から紹介となった患者数	来院経路が他施設経由	--	276		358
7-15-S3	がん自ら受診数	自覚症状があつて受診した患者数	発見経緯が自ら受診	--	661		627
7-15-S4	がん健診での発見数	健診で指摘された患者数	発見経緯が健診で指摘	--	157		208
7-15-P1	がん当院治療数	当院で治療できた件数	診断後初回治療が当院での手術、化学療法など（緩和を除く）	--	489		676
7-15-P2	初診から治療まで日数（外科手術）	初診から診断まで日数	初診から診断までの日数の合計	治療方針が外科手術の患者	8.5	34.2	
		診断から治療まで日数	診断・治療開始までの日数の合計	治療方針が外科手術の患者	30.3		
7-15-P3	がん他院紹介数	当院で対応できず他院へ紹介	治療方針が他院紹介（患者の選択含む）	--	199		189
7-15-P4	登録されているプロトコール数	プロトコール数	当院で治療可能な化学療法のプロトコール数	--	82	120	127
7-15-P5	がん化学療法（注）実施者	実人数	化学療法を期始前に開始し継続中の患者＋新規に開始した患者	--	95	178	142
7-16-S1	被爆者登録総数	全登録数	被爆手帳による受診患者	--	386	358	73
7-16-P1	健康管理数	被爆者健診受診数	被爆者健診受診者	--	109	109	108

■8-1■ 臨床検査の機能

No.	指標項目名	項目詳細	分子	分母	2014	2015	2016
8-1-P4	血液培養検査の適正化	2セット提出率	2セット提出された件数	血液培養（6歳未満小児を除く）オーダー数	96.1%	94.6%	94.4%
		表皮ブドウ球菌コタミネーション率	複数検体のうち1セットのみにCNS等が検出されたもの	複数検体が提出された件数	1.9%	2.0%	1.8%
8-1-O1	異常値発見・報告数（プレアポイド）	異常値発見	緊急に報告が必要なパニック値・異常値の発見数	--	3289	3339	3488
		メール配信	うち担当医（者）に報告した数	--	212	266	226

■8-2■ 画像診断の機能

No.	指標項目名	項目詳細	分子	分母	2014	2015	2016
8-2-P1	有所見者フォロー数	フォロー数	連絡し結果返しにつながった数	読影結果の見落とし等の発見数	--	--	99
8-2-P2	造影剤による副作用発現率	副作用発現率	造影剤副作用発現数	造影検査数	1.0%	0.5%	0.5%
		漏出件率	造影剤漏出発生件数	造影検査数	0.8%	0.5%	0.5%
8-2-O1	異常影発見・報告数（プレアポイド）	CT・MRIメール配信率	緊急に報告が必要な異常影発見数	--	--	--	0.6%
		CT・MRIメール配信数	うち担当医（者）に報告した数	--	41	--	17793

■8-3■ 薬剤管理の機能

No.	指標項目名	項目詳細	分子	分母	2014	2015	2016
8-3-P1	65歳以上入院患者の定期処方適正化	7剤以上の割合	1日の内服薬が7種以上の患者	65歳以上入院患者で定期内服薬のある患者		34.5%	35.3%
8-3-P2	注射薬個人渡し	セット率（処方）	セット組の締切までにオーダーされたRp数	注射オーダーRp数	70.8%	70.5%	73.4%
8-3-P5	抗菌薬適正使用介入症例数	抗MRSA薬TDM実施割合	分母のうち特定薬剤治療管理量を算定した患者	VCM、ABM、TEICを4日以上使用した患者	235	56	21
8-3-P7	薬物中毒対応	薬物中毒対応割合	薬剤鑑別・情報提供対応患者数	薬物中毒診断数	92.5%	100.0%	100.0%
8-3-O1	プレアポイド報告数	報告件数	病院薬剤師会にプレアポイド報告した数	--	71	140	328
8-3-O2	医薬品等安全性情報報告数	厚労省／全日本	医薬品等安全性情報報告した数	--	39	40	22
8-3-O3	医薬品副作用被害救済制度利用	申請	医薬品被害救済制度に申請した数	--	4	3	3
8-3-O4	薬の誤投与→（病棟）	処方薬誤投与率	処方薬誤投与、渡し忘れ、量、回数、の誤り事故	外来患者延べ日数＋入院患者延べ日数	0.11%	0.10%	0.10%
		薬の誤注入率	注射薬取り違え、速度違い事故件数	入院患者延べ日数	0.22%	0.20%	0.17%

■8-4■ リハビリテーションの機能

No.	指標項目名	項目詳細	分子	分母	2014	2015	2016
8-4-P1	一般病棟 (D5以外) リハ介入率	リハビリテーション実施割合	リハビリテーションを1日以上実施した患者	一般病棟を退院した入院期間7日以上の患者(C2・C5・D2・D3・D4)	52.3%	66.3%	44.7%
8-4-P2	患者1人当たり単位数	病棟別(産小・D5・6日以下入院患者を除くリハ実施者)1人当たりの総単位数	リハビリテーションを実施した患者の訓練単位数の合計	リハビリテーションを実施した日数	32.0	35.1	31.1
8-4-P3	上記入院患者の入院から開始までの日数	3日以内開始割合	入院から3日以内にリハビリを開始した患者	一般病棟退院患者	52.9%	56.4%	77.4%
		7日以内開始割合	入院から7日以内にリハビリを開始した患者	一般病棟退院患者	81.3%	84.5%	92.5%
8-4-P4	上記患者の訓練日数(入院期間にしめる割合)	1人当たり日数	訓練日数の合計	在院日数の合計	14.0日	14.3日	12.8日
8-4-P5	上記患者の1日当たりの単位数	1人1日当たり単位数	訓練単位数の合計	訓練日数の合計	2.3単位	2.5単位	2.4単位
8-4-O1	上記患者の在院日数	在院日数の平均	在院日数の合計	リハビリテーションを1日以上実施した患者	25.7日	25.5日	27.1日

■8-5■ 栄養管理の機能

No.	指標項目名	項目詳細	分子	分母	2014	2015	2016
8-5-P2	栄養摂取方法の状況	経口摂取患者割合	断面調査、入院患者のうち経口摂取患者数	-	73.3%	77.2%	79.5%
		経腸栄養患者割合	断面調査、入院患者のうち経腸栄養患者数	-	2.9%	2.2%	1.6%
		静脈栄養患者割合	断面調査、入院患者のうち静脈栄養患者数	-	23.8%	20.7%	20.7%
8-5-O1	喫食率	5割以下率	喫食率が5割以下の患者数	喫食調査対象者数	7.1%	9.0%	10.0%
		絶食率→7日以上	7日以上絶食患者数	喫食調査対象者数	16.7%	14.4%	12.9%

■8-6■ 医療機器管理の機能

No.	指標項目名	項目詳細	分子	分母	2014	2015	2016
8-6-O1	輸液ポンプによる事故防止	輸液ポンプによる輸液量まちがい報	輸液ポンプ事故総数	-	10	9	28
		ポンプ不具合による事故(機器管理)	輸液ポンプの不具合による事故件数	-	0	0	1
		設定間違いによる事故(教育)	輸液ポンプの設定間違いによる事故件数	-	10	9	27

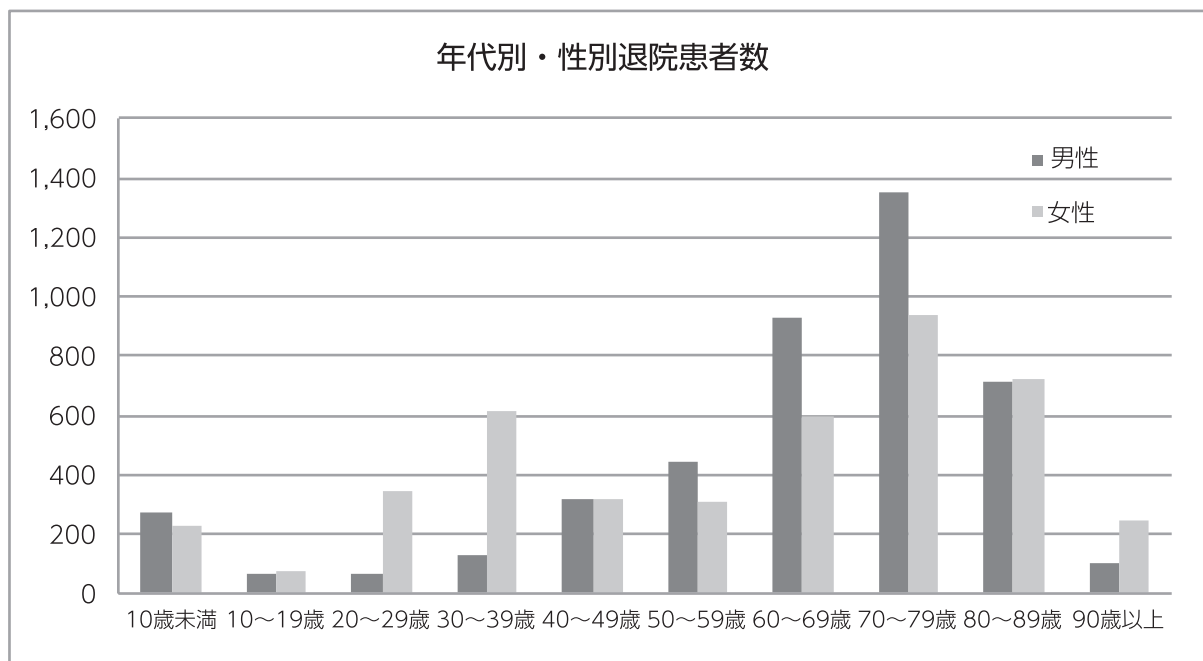
■9-1・2・3■ 診療報酬管理・医療整備、医療情報と情報システムの管理、経営管理・労務管理・環境管理

No.	指標項目名	項目詳細	分子	分母	2014	2015	2016
9-1-P1	診療報酬返戻・減点率 (件、点)	外来査定率 (件)	外来減点件数	外来レセプト件数	2.4%	3.0%	2.7%
		入院査定率 (件)	入院減点件数	入院レセプト件数	5.3%	5.3%	3.7%
9-1-P2	傷病名10以上レセプト割合	継続病名の数が10以上	期間中受診者の継続病名の数が10以上の患者数	期間中受診者数	28.6%	28.6%	27.0%
9-2-P3	ICD10詳細不明コード率	詳細不明コード使用率	資源病名の詳細不明コード数	退院患者	5.2%	5.8%	4.8%
9-3-S1	病床利用の機能	病床利用率	在院患者述べ数	病床数×診療日数	79.8%	81.2%	77.5%
9-3-S2	病床回転率	一般病床回転率	診療日数	一般病棟の平均在院日数	2.54	2.52	2.78
		回り八病床回転率	診療日数	回り八病棟の平均在院日数	0.27	0.26	0.26
		緩和ケア病棟回転率	診療日数	緩和ケア病棟の平均在院日数	1.04	1.27	1.34
9-3-S4	外来医療の患者1人1日当たり収益	外来日当円	外来請求総点数×10円	外来診療延べ日数の合計	9836円	9876円	10344円
9-3-S5	入院医療の患者1人1日当たり収益	一般病床日当円	一般病棟入院請求総点数×10円	一般病棟入院診療総日数	54408円	56549円	61555円
		回復期リハビリ病棟日当円	回り八病棟入院請求総点数×10円	回り八病棟入院診療総日数	36687円	37629円	35754円
9-3-S7	医療機能構造	外来／入院比	外来患者数	入院患者数	3.30	3.19	3.33
9-3-P1	付加価値労働分配率	付加価値労働分配率	給与費合計	医業収益－(材料費+物件費+委託費)	106.5%	85.4%	96.4%
9-3-P2	付加価値労働生産性	労働生産性(千円)	医業収益－(材料費+委託費+物件費)	職員数	578千円	687千円	582千円
9-3-P3	職員1人当たり給与費	職員1人当たり年間給与費(千円)	給与費合計	職員数	616千円	587千円	561千円
9-3-O1	職員1人当たり収益／月	医師(千円)	収益	医師数	8045千円	8750千円	8081千円
		全職員(千円)	収益	職員数	1014千円	1049千円	926千円
9-3-O2	医業収益率	医業収益対医業利益率	収益－事業外収入－事業費用	収益	－4.8%	3.1%	2.4%
9-3-P4	有休取得の状況	単年度取得率			33.3%	33.2%	49.9%
9-3-P5	時間外労働の状況	月超勤180単位以上職員数			266.0人	233	368
9-3-P6	在庫管理	薬品在庫率	棚卸し在庫金額	月薬品使用金額	53.3%	56.9%	60.1%
		医療材料在庫率	棚卸し在庫金額	月医療材料使用金額	19.6%	16.5%	16.0%
9-3-P7	期限切れ薬品の管理	廃棄率	廃棄した金額	薬品使用金額	0.14%	0.2%	0.2%
9-3-P8	エネルギー削減の状況	床面積1㎡当たりCO2排出量			124t/㎡	139t/㎡	138t/㎡
9-3-O3	職員健診の状況	総合判定DE率	総合判定DE者数	職員健診受診者数	30.7%	32.8%	34.7%
		二次精査受診率DE	二次精査受診者数	総合判定DE者数	78.5%	95.4%	96.6%
9-3-O4	労災事故の状況	事故報告数	事故報告数	--	12	8	22
9-3-O5	離職率	医師	3月までに退職した数	前年4月在籍医師	7%	8%	14%
		看護師	3月までに退職した数	前年4月在籍看護師職員	13%	13%	12%
		医療技術系職員	3月までに退職した数	前年4月在籍医療技術職員	8%	14%	5%
		事務職員	3月までに退職した数	前年4月在籍事務職員	4%	19%	8%
		新入職員	3月までに退職した数	前年4月入職者	2%	2%	5%

3. 退院患者統計

(1) 年代別・性別患者数

年代 \ 性別	2014年		2015年		2016年	
	男性	女性	男性	女性	男性	女性
10歳未満	250	186	268	206	275	226
10～19歳	73	61	54	66	69	75
20～29歳	64	305	61	331	65	348
30～39歳	108	577	113	587	125	618
40～49歳	262	313	286	325	321	320
50～59歳	413	323	418	333	443	310
60～69歳	961	602	863	589	928	598
70～79歳	1,366	940	1,338	951	1,352	938
80～89歳	623	635	714	689	712	723
90歳以上	90	199	97	209	100	245
合計	4,210	4,141	4,212	4,286	4,390	4,401



(2) 診療科別患者数および構成比率、平均年齢、在院日数の平均

診療科	2014年		2015年		2016年	
	退院患者数	構成比率	退院患者数	構成比率	退院患者数	構成比率
内科	4055	48.5%	3924	46.2%	4121	46.9%
小児科	462	5.5%	493	5.8%	519	5.9%
外科	1193	14.3%	1125	13.2%	1083	12.3%
産科*	836	10.0%	1011	11.9%	1064	12.1%
婦人科*	138	1.7%				
泌尿器科	387	4.6%	359	4.2%	358	4.1%
整形外科	780	9.3%	800	9.4%	963	11.0%
皮膚科	15	0.2%	14	0.2%	15	0.2%
眼科	214	2.6%	229	2.7%	179	2.0%
緩和ケア	168	2.0%	293	3.4%	273	3.1%
回復期リハ	106	1.3%	250	2.9%	216	2.5%
合計	8,354	100%	8,498	100.0%	8,791	100.0%

*2015年より産婦人科で集計

診療科	平均年齢 (歳)			在院日数の平均 (日)		
	2014年	2015年	2016年	2014年	2015年	2016年
内科	70.5	69.8	71.0	13.7	12.4	10.9
小児科	3.0	2.4	2.2	5.1	5.2	5.2
外科	64.0	65.1	65.1	12.6	12.3	11.5
産科*	34.9	34.6	34.1	9.5	9.8	9.2
婦人科*	36.0			7.9		
泌尿器科	66.0	66.4	66.5	4.5	4.9	3.3
整形外科	64.8	64.5	64.0	27.3	19.5	17.7
皮膚科	59.2	59.8	63.3	5.9	9.6	4.1
眼科	74.7	75.9	74.0	2.8	2.5	2.5
緩和ケア	71.5	73.2	72.3	18.3	20.8	19.9
回復期リハ	72.8	73.1	73.6	73.8	83.4	87.6
合計	61.1	60.8	60.4	14.0	14.1	12.8

*2015年より産婦人科で集計

(3) 疾病分類 (中間分類) 別患者数

大分類名	中間分類ICD	中間分類名称	2014年	2015年	2016年
感染・寄生虫	A00-A09	腸管感染症	103	100	95
	A15-A19	結核	10	9	5
	A20-A28	人畜共通細菌性疾患	1		1
	A30-A49	その他の細菌性疾患	47	49	43
	A50-A64	主として性的伝播様式をとる感染症	2	1	1
	A80-A89	中枢神経系のウイルス感染症	1	2	4
	B00-B09	皮膚および粘膜病変を特徴とするウイルス感染症	12	2	8
	B15-B19	ウイルス肝炎	22	5	3
	B20-B24	ヒト免疫不全ウイルス (HIV) 病	1	1	
	B25-B34	その他のウイルス疾患	12	20	22
	B35-B49	真菌症	11	19	19
	B50-B64	原虫疾患	7		2
	B65-B83	ぜん (蠕) 虫症	1		
B90-B94	感染症および寄生虫症の続発・後遺症	1			
小計			231	208	203
新生物	C00-C14	口唇、口腔および咽頭	6	6	2
	C15-C26	消化器	694	659	650
	C30-C39	呼吸器および胸腔内臓器	210	186	177
	C43-C44	皮膚	3	1	2
	C45-C49	中皮および軟部組織	7	7	10
	C50	乳房	69	91	85
	C51-C58	女性生殖器	14	10	18
	C60-C63	男性生殖器	185	177	177
	C64-C68	尿路	23	49	39
	C69-C72	眼、脳および中枢神経系のその他の部位	1	1	2
	C73-C75	甲状腺およびその他の内分泌腺	1	2	
	C76-C80	部位不明確、続発部位および部位不明の悪性新生物	58	51	48
	C81-C96	原発と記載された、または推定されたリンパ組織、造血組織および関連組織の悪性新生物	36	31	33
	D00-D09	上皮内がん	50	47	67
	D10-D36	良性新生物	201	168	140
D37-D48	性状不詳または不明の新生物	48	52	62	
小計			1606	1538	1512
血液・免疫	D50-D53	栄養性貧血	20	16	23
	D55-D59	溶血性貧血		4	2
	D60-D64	無形成性貧血およびその他の貧血		8	9
	D63*	他に分類される慢性疾患における貧血		2	
	D65-D69	凝固障害、紫斑病およびその他の出血性病変	11	18	15
	D70-D77	血液および造血器のその他の疾患	5	5	2
	D80-D89	免疫機構の障害	1		
小計			37	53	51
内分泌・代謝	E00-E07	甲状腺障害	7	5	5
	E10-E14	糖尿病	105	153	118
	E15-E16	その他のグルコース調節および隣内分泌障害	5	9	18
	E20-E35	その他の内分泌腺障害	10	15	8
	E40-E46	栄養失調 (症)	2	1	1
	E50-E64	その他の栄養欠乏症	3	1	10
	E65-E68	肥満 (症) およびその他の過栄養 (過剰摂食)	1	1	1
	E70-E90	代謝障害	46	60	71
小計			179	245	232
精神	F00-F09	症状性を含む器質性精神障害	4	4	2
	F10-F19	精神作用物質使用による精神および行動の障害	2	3	6
	F20-F29	統合失調症、統合失調症型障害および妄想性障害			2
	F30-F39	気分 (感情) 障害	5	2	4
	F40-F48	神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害	3	3	6
	F50-F59	生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群	5	2	2
	小計			19	14

大分類名	中間分類ICD	中間分類名称	2014年	2015年	2016年
神経	G00-G09	中枢神経系の炎症性疾患	13	10	6
	G01*	他に分類される細菌性疾患における髄膜炎			1
	G02*	他に分類されるその他の感染症および寄生虫症における髄膜炎	1		
	G10-G13	主に中枢神経系を障害する系統萎縮症	5	4	4
	G20-G26	錐体外路障害および異常運動	26	15	18
	G30-G32	神経系のその他の変性疾患	7	4	4
	G32*	他に分類される疾患における神経系のその他の変性障害		1	
	G35-G37	中枢神経系の脱髄疾患	2	2	
	G40-G47	挿間性および発作性障害	130	117	114
	G46*	脳血管疾患における脳の血管（性）症候群		1	
	G50-G59	神経、神経根および神経そう（叢）の障害	13	12	19
	G60-G64	多発（性）ニューロパチ（シ）ーおよびその他の末梢神経系の障害	2	1	5
	G70-G73	神経筋接合部および筋の障害	2	2	2
	G73*	他の分類される疾患における神経筋接合部および筋の障害		1	
	G80-G83	脳性麻痺およびその他の麻痺性症候群	13	9	12
G90-G99	神経系のその他の障害	14	17	15	
G94*	他に分類される疾患における脳のその他の障害	1	1		
小計			229	197	200
眼	H00-H06	眼瞼、涙器および眼窩の障害		1	
	H15-H22	強膜、角膜、虹彩および毛様体の障害		1	
	H25-H28	水晶体の障害	213	226	175
	H30-H36	脈絡膜および網膜の障害		1	
	H40-H42	緑内障	2		4
小計			215	229	179
耳	H60*	他に分類される疾患における外耳障害			1
	H65-H75	中耳および乳様突起の疾患	5	1	
	H80-H83	内耳疾患	45	55	68
	H80-H95	耳のその他の障害	1	3	5
小計			51	59	74
循環器	I05-I09	慢性リウマチ性心疾患	2	4	
	I10-I15	高血圧性疾患	11	9	8
	I20-I25	虚血性心疾患	217	190	165
	I26-I28	肺性心疾患および肺循環疾患	5	3	7
	I30-I52	その他の型の心疾患	198	184	213
	I60-I69	脳血管疾患	274	287	280
	I70-I79	動脈、細動脈および毛細血管の疾患	34	45	53
	I80-I89	静脈、リンパ管およびリンパ節の疾患、他に分類されないもの	31	36	21
	I95-I99	循環器系のその他および詳細不明の障害	2	3	4
I98*	他に分類される疾患における循環器系のその他の障害		5	2	
小計			774	766	753
呼吸器	J00-J06	急性上気道感染症	54	31	38
	J10-J18	インフルエンザおよび肺炎	302	353	355
	J17*	他に分類される疾患における肺炎	1	2	2
	J20-J22	その他の急性下気道感染症	56	53	57
	J30-J39	上気道のその他の疾患	7	11	11
	J40-J47	慢性下気道疾患	139	155	120
	J60-J70	外的因子による肺疾患	224	164	160
	J80-J84	主として間質を障害するその他の呼吸器疾患	48	47	22
	J85-J86	下気道の化膿性およびえ（壊）死性病態	13	18	21
	J90-J94	胸膜のその他の疾患	48	25	38
	J95-J99	呼吸器系のその他の疾患	10	5	4
	J99*	他に分類される疾患における呼吸器障害	1	7	12
小計			903	871	840
消化器	K00-K14	口腔、唾液腺および顎の疾患	2	3	2
	K20-K31	食道、胃および十二指腸の疾患	99	92	96
	K35-K38	虫垂の疾患	88	74	75
	K40-K46	ヘルニア	134	164	130
	K50-K52	非感染性腸炎および非感染性大腸炎	22	17	16
	K55-K63	腸のその他の疾患	581	559	609
	K65-K67	腹膜の疾患	9	12	21
	K67*	その他に分類される感染症における腹膜の障害		1	
	K70-K77	肝疾患	82	97	107
	K80-K87	胆のう（嚢）、胆管および膵の障害	469	531	553
	K90-K93	消化器系のその他の疾患	117	77	85
K93*	他に分類される疾患におけるその他の消化器の障害		1	3	
小計			1603	1628	1697

大分類名	中間分類ICD	中間分類名称	2014年	2015年	2016年
皮膚	L00-L08	皮膚および皮下組織の感染症	36	33	51
	L10-L14	水疱症	1		
	L20-L30	皮膚炎および湿疹	6	6	4
	L40-L45	丘疹落せつ〈屑〉〈りんせつ〈鱗屑〉〉性障害	1		1
	L50-L54	じんま〈蕁麻疹〉疹および紅斑	13	8	6
	L60-L75	皮膚付属器の障害	2	3	2
	L80-L99	皮膚および皮下組織のその他の障害	10	13	15
小計			69	63	79
筋・骨格	M00-M03	感染性関節障害	5	10	9
	M05-M14	炎症性多発性関節障害	17	13	18
	M15-M19	関節症	275	401	425
	M20-M25	その他の関節障害		2	
	M30-M36	全身性結合組織障害	25	34	29
	M40-M43	変形性脊柱障害	7	10	17
	M45-M49	脊椎障害	75	95	108
	M49*	他に分類される疾患における脊椎障害		1	
	M50-M54	その他の脊柱障害	22	19	17
	M60-M63	筋障害	19	23	28
	M65-M68	滑膜および腱の障害	5	4	5
	M70-M79	その他の軟部組織障害	11	4	4
	M80-M85	骨の密度および構造の障害	11	11	13
	M86-M90	その他の骨障害	13	17	20
	M91-M94	軟骨障害	1	1	3
M95-M99	筋骨格系および結合組織のその他の障害		4	8	
小計			486	649	704
尿路生殖器	N00-N08	糸球体疾患	9	3	10
	N08*	他に分類される疾患における糸球体障害		1	4
	N10-N16	腎尿管間質性疾患	119	76	87
	N17-N19	腎不全	78	85	69
	N20-N23	尿路結石症	83	77	96
	N25-N29	腎および尿管のその他の障害	2	3	2
	N30-N39	尿路系のその他の疾患	90	110	150
	N40-N51	男性生殖器の疾患	47	36	25
	N60-N64	乳房の障害	2	2	2
	N70-N77	女性骨盤臓器の炎症疾患	19	18	13
	N74*	他に分類される疾患における女性骨盤炎症性障害		1	1
	N77*	他に分類される疾患における外陰瘻の潰瘍形成および炎症			1
	N80-N98	女性生殖器の非炎症性障害	82	77	85
N99	腎尿路生殖器系のその他の障害	1			
小計			532	489	545
妊娠・分娩	O00-O08	流産に終わった妊娠	129	127	156
	O10-O16	妊娠、分娩および産じょく〈褥〉における浮腫、たんぱく〈蛋白〉尿および高血圧性障害	24	18	25
	O20-O29	主として妊娠に関するその他の母体障害	56	51	64
	O30-O48	胎児および羊膜腔に関連する母体ケアならびに予想される分娩の諸問題	270	320	315
	O60-O75	分娩の合併症	154	201	204
	O80-O84	分娩	123	87	89
	O85-O92	主として産じょく〈褥〉に関連する合併症	5	4	4
	O94-O99	その他の産科的病態、ほかに分類されないもの		1	2
小計			761	809	859
周産期	P00-P04	母体側要因ならびに妊娠および分娩の合併症により影響を受けた胎児および新生児			1
	P05-P08	妊娠期間および胎児養育に関連する障害	14	14	20
	P20-P29	周産期に特異的な呼吸障害および心血管障害	22	27	48
	P35-P39	周産期に特異的な感染症	7	9	11
	P50-P61	胎児および新生児の出血性障害および血液障害	45	75	93
	P70-P74	胎児および新生児に特異的な一過性の内分泌障害および代謝障害	11	11	18
	P75-P78	胎児および新生児の消化器系障害	1	1	
	P80-P83	胎児および新生児の外皮および体温調節に関連する病態		2	1
	P90-P96	周産期に発生したその他の障害	2		1
小計			102	139	193

大分類名	中間分類ICD	中間分類名称	2014年	2015年	2016年
先天奇形染色体	Q20-Q28	循環器系の先天奇形	1	2	
	Q35-Q37	唇裂および口蓋裂		1	
	Q38-Q45	消化器系のその他の先天奇形	6	4	6
	Q50-Q56	性器の先天奇形		1	2
	Q60-Q64	尿路系の先天奇形	1	2	
	Q65-Q79	筋骨格系の先天奇形および変形		1	2
		小計	8	11	10
症状・異常検査	R00-R09	循環器系および呼吸器系に関する症状および徴候	2	5	5
	R10-R19	消化器系および腹部に関する症状および徴候	2		
	R50-R69	全身症状および徴候	9	6	14
		小計	13	11	19
損傷・中毒	S00-S09	頭部損傷	9	13	17
	S10-S19	頸部損傷	3	6	4
	S20-S29	胸部〈郭〉損傷	12	13	10
	S30-S39	腹部、下背部、腰椎および骨盤部の損傷	30	26	21
	S40-S49	肩および上腕の損傷	49	54	55
	S50-S59	肘および前腕の損傷	63	53	80
	S60-S69	手首および手の損傷	8	5	14
	S70-S79	股関節部および大腿の損傷	123	124	137
	S80-S89	膝および下腿の損傷	73	52	69
	S90-S99	足首および足の損傷	12	16	10
	T00-T07	多部位の損傷	4		5
	T08-T14	部位不明の体幹もしくは（四）肢の損傷または部位不明の損傷		1	5
	T15-T19	自然開口部からの異物侵入の作用	5	4	6
	T20-T32	熱傷および腐食	1		
	T36-T50	薬物、薬剤および生物学的製剤による中毒	17	26	34
	T51-T65	薬用を主としない物質の毒作用	4	1	
	T66-T78	外因のその他および詳細不明の作用	54	39	51
	T79	外傷の早期合併症	1		
	T80-T88	外科的および内科的ケアの合併症、他に分類されないもの	60	80	94
T90-T98	損傷、中毒およびその他の外因による影響の続発・後遺症	5	5	7	
		小計	533	518	619
保健サービス	Z70-Z76	その他の環境下での保健サービスの利用者		1	
		小計		1	

(4) DPC 6 桁別件数上位50傷病名

傷病6桁	傷病名	患者数	構成比%	累積%
060100	小腸大腸の良性疾患(良性腫瘍を含む)	425	4.8%	4.8%
040080	肺炎等	349	4.0%	8.8%
07040x	股関節骨頭壊死、股関節症(変形性を含む)	277	3.1%	11.9%
120180	胎児及び胎児付属物の異常	221	2.5%	14.4%
120260	分娩の異常	196	2.2%	16.6%
040040	肺の悪性腫瘍	194	2.2%	18.8%
140010	妊娠期間短縮、低出産体重に関連する障害	193	2.2%	21.0%
110310	腎臓または尿路の感染症	187	2.1%	23.1%
110080	前立腺の悪性腫瘍	175	2.0%	25.1%
020110	白内障、水晶体の疾患	169	1.9%	27.0%
060035	結腸(虫垂を含む)の悪性腫瘍	168	1.9%	28.9%
060340	胆管(肝内外)結石、胆管炎	158	1.8%	30.7%
070230	膝関節症(変形性を含む)	157	1.8%	32.5%
060020	胃の悪性腫瘍	156	1.8%	34.3%
060335	胆嚢水腫、胆嚢炎等	153	1.7%	36.0%
040081	誤嚥性肺炎	149	1.7%	37.7%
050050	狭心症、慢性虚血性心疾患	149	1.7%	39.4%
010060	脳梗塞	148	1.7%	41.1%
060360	慢性膵炎(膵嚢胞を含む)	143	1.6%	42.7%
120140	流産	139	1.6%	44.2%
160800	股関節大腿近位骨折	135	1.5%	45.8%
050130	心不全	131	1.5%	47.3%
11012x	上部尿路疾患	127	1.4%	48.7%
010069	脳卒中の続発症	113	1.3%	50.0%
060040	直腸肛門(直腸S状部から肛門)の悪性腫瘍	110	1.2%	51.2%
060160	鼠径ヘルニア	103	1.2%	52.4%
060050	肝・肝内胆管の悪性腫瘍(続発性を含む)	100	1.1%	53.5%
120170	早産、切迫早産	97	1.1%	54.6%
06007x	膵臓、脾臓の腫瘍	95	1.1%	55.7%
070343	脊柱管狭窄(脊椎症を含む)、腰部骨盤、不安定椎	94	1.1%	56.8%
060210	ヘルニアの記載のない腸閉塞	91	1.0%	57.8%
090010	乳房の悪性腫瘍	85	1.0%	58.8%
060130	食道、胃、十二指腸、他腸の炎症(その他良性疾患)	84	1.0%	59.7%
180040	手術・処置等の合併症	80	0.9%	60.6%
150010	ウイルス性腸炎	79	0.9%	61.5%
060150	虫垂炎	75	0.8%	62.4%
040100	喘息	70	0.8%	63.2%
100070	2型糖尿病(糖尿病性ケトアシドーシスを除く)末梢循環不全なし	70	0.8%	63.9%
030400	前庭機能障害	68	0.8%	64.7%
060350	急性膵炎	67	0.8%	65.5%
060102	穿孔または膿瘍を伴わない憩室性疾患	61	0.7%	66.2%
110280	慢性腎炎症候群・慢性間質性腎炎・慢性腎不全	60	0.7%	66.8%
030250	睡眠時無呼吸	57	0.6%	67.5%
12002x	子宮頸・体部の悪性腫瘍	50	0.6%	68.1%
160760	前腕の骨折	49	0.6%	68.6%
110070	膀胱腫瘍	49	0.6%	69.2%
120060	子宮の良性腫瘍	49	0.6%	69.7%
040090	急性気管支炎、急性細気管支炎、下気道感染症(その他)	48	0.5%	70.3%
060060	胆嚢、肝外胆管の悪性腫瘍	45	0.5%	70.8%
080270	食物アレルギー	44	0.5%	71.3%
	その他の傷病	2536	28.7%	100.0%
	計	8828	100.0%	

(5) 退院患者の主な手術（診療科別、手術室で実施した区分番号K〇〇に該当する行為）

※2016年1月～12月退院患者が入院期間中に施行された輸血を除く手術、産婦人科は分娩室での手技を含む
皮膚科は外来で施行した手術を含む

《外科》

診療報酬 区分番号	行為名称	2014年	2015年	2016年
K005\$	皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部）		1	
K006\$	皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部以外）		2	5
K009\$	皮膚剥削術（25cm ² 以上100cm ² 未満）			1
K4611	甲状腺部分切除術、甲状腺腫摘出術 片葉のみの場合	1		
K4741	乳腺腫瘍摘出術 長径5cm未満	3	3	1
K4742	乳腺腫瘍摘出術 長径5cm以上		5	3
K4762	乳腺悪性腫瘍手術 乳房部分切除術（腋窩部郭清を伴わないもの）	12	24	19
K4763	乳腺悪性腫瘍手術 乳房切除術（腋窩部郭清を伴わないもの）	8	10	8
K4764	乳腺悪性腫瘍手術 乳房部分切除術（腋窩部郭清を伴うもの（内視鏡下によるものを含む））	2	3	7
K4765	乳腺悪性腫瘍手術 乳房切除術（腋窩鎖骨下部郭清を伴うもの）・胸筋切除を併施しないもの	6	5	3
K4766	乳腺悪性腫瘍手術 乳房切除術（腋窩鎖骨下部郭清を伴うもの）・胸筋切除を併施するもの	2	1	1
K488-4	胸腔鏡下試験切除術	1	2	1
K496-2	胸腔鏡下膿胸膜または胸膜肺切除術	4	2	
K496-4	胸腔鏡下膿胸掻爬術	1		
K502	縦隔腫瘍、胸腺摘出術			1
K5131	胸腔鏡下肺切除術 肺嚢胞手術（楔状部分切除によるもの）	11	7	8
K5132	胸腔鏡下肺切除術 その他のもの	2	3	
K5141	肺悪性腫瘍手術（部分切除）			2
K5142	肺悪性腫瘍手術（区域切除）	1	1	2
K514-21	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術 部分切除	5	3	3
K514-23	胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術 肺葉切除または1肺葉を超えるもの		2	2
K5143	肺悪性腫瘍手術 肺葉切除または1肺葉を超えるもの	9	7	10
K5146	肺悪性腫瘍手術（気管支形成を伴う肺切除）			1
K5201	食道縫合術（穿孔、損傷）頸部手術		2	
K5213	食道周囲膿瘍切開誘導術 その他のもの（頸部手術を含む）	2		
K5252	食道切除再建術 胸部、腹部の操作によるもの	1		
K5291	食道悪性腫瘍手術（消化管再建手術併施）（頸部、胸部、腹部の操作）	3	1	4
K5292	食道悪性腫瘍手術（消化管再建手術を併施するもの）胸部、腹部の操作によるもの		1	1
K530	食道アカラシア形成手術			1
K5371	食道裂孔ヘルニア手術 経胸または経腹			1
K6071	血管結紮術 開胸または開腹を伴うもの	1		1
K620-2	下大静脈フィルター除去術	1		
K6261	リンパ節摘出術 長径3cm未満	3	1	1
K6262	リンパ節摘出術 長径3cm以上	2	1	1
K6273	リンパ節群郭清術 鎖骨上窩及び下窩	1		
K6274	リンパ節群郭清術 腋窩	2		
K6321	腹壁腫瘍摘出術（形成手術を必要としない場合）	1		
K6331	ヘルニア手術 腹壁癒痕ヘルニア	13	10	8
K6332	ヘルニア手術 半月状線ヘルニア手術		1	
K6333	ヘルニア手術 臍ヘルニア	2	5	4
K6335	ヘルニア手術 鼠径ヘルニア	115	129	110
K6336	ヘルニア手術 大腿ヘルニア	9	11	8
K6338	ヘルニア手術 骨盤部ヘルニア（閉鎖孔ヘルニア、坐骨ヘルニア、会陰ヘルニア）		1	1
K6339	ヘルニア手術 内ヘルニア	1		
K634	腹腔鏡下鼠径ヘルニア手術（両側）		1	
K635-2	腹腔・静脈シャントバルブ設置術		1	
K636	試験開腹術	11	3	6
K636-3	腹腔鏡下試験開腹術	2	1	1
K636-4	腹腔鏡下試験切除術	1	1	1
K6371	限局性腹腔膿瘍手術 横隔膜下膿瘍	2		
K6373	限局性腹腔膿瘍手術 虫垂周囲膿瘍	1		
K639	急性汎発性腹膜炎手術	11	10	7
K639-3	腹腔鏡下汎発性腹膜炎手術	3	3	2
K641	大網切除術	1		
K6421	大網、腸間膜、後腹膜腫瘍摘出術 腸管切除を伴わないもの	1		2

診療報酬 区分番号	行為名称	2014年	2015年	2016年
K6422	大網、腸間膜、後腹膜腫瘍摘出術 腸管切除を伴うもの	1		
K643	後腹膜悪性腫瘍手術		1	
K647	胃縫合術 (大網充填術または被覆術を含む)	5	2	
K647-2	腹腔鏡下胃、十二指腸潰瘍穿孔縫合術	2	2	2
K652	胃、十二指腸憩室切除術・ポリープ切除術 (開腹によるもの)	2		
K654-2	胃局所切除術			2
K654-3	腹腔鏡下胃局所切除術	1		
K654-31	腹腔鏡下胃局所切除術 内視鏡処置を併施するもの	1	1	1
K654-32	腹腔鏡下胃局所切除術 その他のもの	1		
K6551	胃切除術 単純切除術	6		1
K6552	胃切除術 悪性腫瘍手術	10	18	10
K655-22	腹腔鏡下胃切除術 悪性腫瘍手術	5	5	9
K655-42	噴門側胃切除術 悪性腫瘍切除術			1
K655-52	腹腔鏡下噴門側胃切除術(悪性腫瘍切除術)		1	
K6572	胃全摘術 悪性腫瘍手術	13	12	7
K657-22	腹腔鏡下胃全摘術 悪性腫瘍手術	3	2	
K662	胃腸吻合術 (ブラウン吻合を含む)	7	2	8
K663	十二指腸空腸吻合術			2
K664	胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む)		1	1
K6711	胆管切開結石摘出術 (チューブ挿入を含む) 胆嚢摘出を含むもの	2	3	
K6712	胆管切開結石摘出術 (チューブ挿入を含む) 胆嚢摘出を含まないもの		2	
K671-21	腹腔鏡下胆管切開結石摘出術 胆嚢摘出を含むもの	5	5	2
K671-22	腹腔鏡下胆管切開結石摘出術 胆嚢摘出を含まないもの			2
K672	胆嚢摘出術	30	39	27
K672-2	腹腔鏡下胆嚢摘出術	154	114	130
K674	総胆管拡張症手術		1	1
K6751	胆嚢悪性腫瘍手術 胆嚢に局限するもの (リンパ節郭清を含む)	1		
K6752	胆嚢悪性腫瘍手術 肝切除 (亜区域切除以上) を伴うもの	1		
K6755	胆嚢悪性腫瘍手術(脾頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴う)		1	
K677-22	肝門部胆管悪性腫瘍手術 血行再建なし	2		2
K679	胆嚢胃 (腸) 吻合術	1		
K680	総胆管胃 (腸) 吻合術	2	2	
K681	胆嚢外瘻造設術	1		
K6951	肝切除術 部分切除	7	3	4
K6952	肝切除術 亜区域切除	1	1	1
K695-21	腹腔鏡下肝切除術 部分切除	4	2	9
K695-22	腹腔鏡下肝切除術 外側区域切除			3
K6953	肝切除術 外側区域切除		1	1
K6954	肝切除術 1区域切除 (外側区域切除を除く)	1	3	1
K6955	肝切除術 2区域切除		4	5
K70214	脾体尾部腫瘍切除術 脾尾部切除術 (腫瘍摘出術を含む) の場合 脾同時切除の場合	1	1	1
K7022	脾体尾部腫瘍切除術 リンパ節・神経叢郭清等を伴う腫瘍切除術の場合		1	3
K702-21	腹腔鏡下脾体尾部腫瘍切除術 (脾同時切除)		2	1
K7023	脾体尾部腫瘍切除術 周辺臓器 (胃、結腸、腎、副腎等) の合併切除を伴う腫瘍切除術の場合		1	
K7031	脾頭部腫瘍切除術 脾頭十二指腸切除術の場合	2		1
K7032	脾頭部腫瘍切除術 リンパ節・神経叢郭清等を伴う腫瘍切除術の場合または十二指腸温存脾頭切除術の場合	2	5	5
K7033	脾頭部腫瘍切除術 周辺臓器 (胃、結腸、腎、副腎等) の合併切除を伴う腫瘍切除術の場合	1		
K7034	脾頭部腫瘍切除術(血行再建を伴う腫瘍切除術)		1	1
K706	脾管空腸吻合術	1		
K711	脾摘出術	11	3	1
K711-2	腹腔鏡下脾摘出術	1	1	1
K714	腸管癒着症手術	6	5	8
K714-2	腹腔鏡下腸管癒着剥離術	6	5	1
K7161	小腸切除術 悪性腫瘍手術以外の切除術	6	14	6
K7162	小腸切除術 悪性腫瘍手術	1	3	1
K716-21	腹腔鏡下小腸切除術 悪性腫瘍手術以外の切除術	1	3	
K717	小腸腫瘍、小腸憩室摘出術 (メッケル憩室炎手術を含む)		1	
K7181	虫垂切除術 虫垂周囲膿瘍を伴わないもの	2		1
K7182	虫垂切除術 虫垂周囲膿瘍を伴うもの	1		3

診療報酬 区分番号	行為名称	2014年	2015年	2016年
K718-21	腹腔鏡下虫垂切除術 虫垂周囲膿瘍を伴わないもの	36	42	38
K718-22	腹腔鏡下虫垂切除術 虫垂周囲膿瘍を伴うもの	27	16	15
K7191	結腸切除術 小範囲切除	3	3	6
K7192	結腸切除術 結腸半側切除	1	1	1
K719-21	腹腔鏡下結腸切除術 小範囲切除、結腸半側切除	3	2	3
K719-22	腹腔鏡下結腸切除術(全切除、亜全切除)		1	
K7193	結腸切除術 全切除、亜全切除または悪性腫瘍手術	34	32	32
K719-3	腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術	27	25	37
K724	腸吻合術	4	7	4
K725	腸瘻、虫垂瘻造設術	5	2	
K725-2	腹腔鏡下腸瘻、虫垂瘻造設術	1		
K726	人工肛門造設術	28	32	33
K7312	結腸瘻閉鎖術 腸管切除を伴うもの		1	
K7321	人工肛門閉鎖術 腸管切除を伴わないもの		1	1
K7322	人工肛門閉鎖術 腸管切除を伴うもの	11	2	11
K734	腸回転異常症手術			
K735-2	小腸・結腸狭窄部拡張術 (内視鏡によるもの)		1	
K735-4	下部消化管ステント留置術	3		
K7381	直腸異物除去術(経肛門)(内視鏡)		2	
K7382	直腸異物除去術 開腹によるもの	1		
K7391	直腸腫瘍摘出術 (ポリープ摘出を含む) 経肛門	1		3
K739-2	経肛門の内視鏡下手術 (直腸腫瘍に限る)	3		
K7401	直腸切除・切断術 切除術	7	5	6
K7402	直腸切除・切断術 低位前方切除術	3	3	7
K740-21	腹腔鏡か直腸切除・切断術 切除術	3	1	3
K740-22	腹腔鏡下直腸切除・切断術 低位前方切除術	12	12	14
K740-23	腹腔鏡下直腸切除・切断術 切断術	1	2	
K7404	直腸切除・切断術 切断術	3	1	
K7433	痔核手術 (脱肛を含む) 結紮術、焼灼術、血栓摘出術		2	
K7434	痔核手術 (脱肛を含む) 根治手術	4	3	2
K7435	痔核手術 (脱肛を含む) P P H	2	2	1
K745	肛門周囲膿瘍切開術			3
K747	肛門良性腫瘍、肛門ポリープ、肛門尖圭コンジローム切除術	3	2	
K753	毛巣嚢、毛巣瘻、毛巣洞手術	1	1	
K756	副腎悪性腫瘍手術		1	
K787	尿管尿管吻合術	2	1	1
K8031	膀胱悪性腫瘍手術 切除		1	
K804	尿膜管摘出術		2	
K804-2	腹腔鏡下尿膜管摘出術			1
K805	膀胱瘻造設術	1		
K808	膀胱腸瘻閉鎖術	1		
K833	精巣悪性腫瘍手術		1	
	外科 合計	800	748	726

《産婦人科》

診療報酬 区分番号	行為名称	2014年	2015年	2016年
K848	バルトリン腺嚢胞腫瘍摘出術 (造袋術を含む)	1	2	2
K849	女子外性器腫瘍摘出術	1		1
K851-2	外陰・陰血腫除去術	1		3
K8531	腔閉鎖術 中央腔閉鎖術 (子宮全脱)		5	4
K860	腔壁形成手術	3	3	3
K861	子宮内膜搔爬術	27	18	29
K8651	子宮脱手術 腔壁形成手術及び子宮位置矯正術	2		1
K8654	子宮脱手術 腔壁形成手術及び子宮全摘術 (腔式、腹式)	4	9	7
K866	子宮頸管ポリープ切除術	2	1	4
K867	子宮頸部 (腔部) 切除術	28	24	40
K867-3	子宮頸部摘出術 (腔部切断術を含む)	5		
K871	子宮息肉様筋腫摘出術 (腔式)		1	4
K8721	子宮筋腫摘出 (核出) 術 腹式	13	15	12
K8722	子宮筋腫摘出 (核出) 術 腔式	3	1	1
K877	子宮全摘術	65	61	52
K8861	子宮付属器癒着剥離術 (両側) 開腹によるもの		1	
K8871	卵巢部分切除術 (腔式を含む) 開腹によるもの			1
K887-21	卵管結紮術 (腔式を含む) (両側) 腹腔鏡によるもの	5	6	
K8881	子宮付属器腫瘍摘出術 (両側) 開腹によるもの	99	83	72
K8882	子宮付属器腫瘍摘出術 (両側) 腹腔鏡によるもの	3	9	12
K888-21	卵管全摘除術、卵管腫瘍全摘除術、子宮卵管留血腫手術 (両側) 開腹によるもの	5	11	5
K892	骨盤位娩出術	1		
K893	吸引娩出術	36	33	57
K895	会陰 (陰門) 切開及び縫合術 (分娩時)	80	137	103
K8961	会陰 (腔壁) 裂創縫合術 (分娩時) 筋層に及ぶもの	176	158	65
K8962	会陰 (腔壁) 裂創縫合術 (分娩時) 肛門に及ぶもの	1	3	3
K8963	会陰 (腔壁) 裂創縫合術 (分娩時) 腔円蓋に及ぶもの	2	9	9
K897	頸管裂創縫合術 (分娩時)	5	8	6
K8981	帝王切開術 緊急帝王切開	27	35	37
K8982	帝王切開術 選択帝王切開	67	71	66
K8983	帝王切開術 前置胎盤を合併する場合または32週未満の早産の場合		2	1
K900	臍帯還納術	1		
K902	胎盤用手剥離術	2	4	3
K9033	子宮破裂手術 (その他のもの)			1
K9051	子宮内反症整復手術 (腔式、腹式)	1		
K9062	子宮頸管縫縮術 シロッカー法またはラッシュ法	15	25	14
K9063	子宮頸管縫縮術 縫縮解除術 (チューブ除去術)		12	4
K9091	流産手術 妊娠11週までの場合	98	84	80
K9092	流産手術 妊娠11週を超え妊娠21週までの場合	3	1	
K909-2	子宮内容除去術 (不全流産)	12	5	13
K911	胞状奇胎除去術	1	3	3
K9121	子宮外妊娠手術 開腹によるもの	7	2	2
K9122	子宮外妊娠手術 腹腔鏡によるもの		3	3
産婦人科 合計		802	845	723

《泌尿器科》

診療報酬 区分番号	行為名称	2014年	2015年	2016年
K6072	血管結紮術 その他のもの		1	
K607-2	血管縫合術 (簡単なもの)		2	
K607-3	上腕動脈表在化法			1
K610-3	内シャントまたは外シャント設置術	38	34	34
K772	腎摘出術	2	2	
K773	腎 (尿管) 悪性腫瘍手術	3	3	
K783-2	経尿道的尿管ステント留置術			7
K800-2	経尿道的電気凝固術			1
K8036I	膀胱悪性腫瘍手術 経尿道的手術 電解質溶液利用のもの		5	10
K8036O	膀胱悪性腫瘍手術 経尿道的手術 その他のもの	23	25	22
K814	外尿道口切開術	1		
K816	外尿道腫瘍切除術		2	1
K8282	包茎手術 (環状切除術)		1	
K8281	包茎手術 背面切開術	1		
K830	精巣摘出術		1	
K833	精巣悪性腫瘍手術		1	2
K8351	陰嚢水腫手術 交通性陰嚢水腫手術	1	1	1
K8352	陰嚢水腫手術 その他	12	5	7
K8411	経尿道的前立腺手術 (電解質溶液利用のもの)	1	6	1
K8412	経尿道的前立腺手術 その他のもの	13	8	1
K843	前立腺悪性腫瘍手術	6	6	1
泌尿器科 合計		101	103	89

《整形外科》

K001\$	皮膚切開術	8		
K003\$	皮下血管腫摘出術 (露出部)			1
K005\$	皮膚、皮下腫瘍摘出術	2		
K006\$	皮膚、皮下腫瘍摘出術 (露出部以外)		1	1
K015\$	皮弁作成術、移動術、切断術、遷延皮弁術		1	
K023	筋膜切離術、筋膜切開術	2		
K025	股関節内転筋切離術	13	19	15
K026-2	股関節周囲筋腱解離術 (変形性股関節症)	1		
K028	腱鞘切開術 (関節鏡下によるものを含む)	1	1	3
K029	筋肉内遺物摘出術		2	1
K0301	四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術 肩、上腕、前腕、大腿、下腿、躯幹	1	3	6
K0302	四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術 手、足		2	1
K035-2	腱滑膜切除術	1	1	3
K037	腱縫合術	3		2
K037-2	アキレス腱断裂手術	5	4	
K038	腱延長術		2	1
K0391	腱移植術 (人工腱形成術を含む) (指)		2	1
K0401	腱移行術 指 (手、足)	1		3
K0402	腱移行術 その他のもの	1		
K0431	骨搔爬術 (大腿)			1
K0432	骨搔爬術 前腕、下腿	1		
K043-33	骨髄炎手術 (骨結核手術を含む) 鎖骨、膝蓋骨、手、足その他	1	1	
K0441	骨折非観血的整復術 肩甲骨、上腕、大腿			2
K0442	骨折非観血的整復術 前腕、下腿	3		
K0443	骨折非観血的整復術 鎖骨、膝蓋骨、手、足その他	1		
K0451	骨折経皮的鋼線刺入固定術 肩甲骨、上腕、大腿		1	
K0452	骨折経皮的鋼線刺入固定術 前腕、下腿	3	1	1
K0453	骨折経皮的鋼線刺入固定術 鎖骨、膝蓋骨、手、足、指 (手、足) その他	5	8	4
K0461	骨折観血的手術 肩甲骨、上腕、大腿	83	76	83
K0462	骨折観血的手術 前腕、下腿、手舟状骨	75	55	92
K046-21	観血的整復固定術 (インプラント周囲骨折に対するもの) 肩甲骨、上腕、大腿	2	8	8
K0463	骨折観血的手術 鎖骨、膝蓋骨、手 (舟状骨を除く)、足、指 (手、足) その他	40	30	54
K0482	骨内異物 (挿入物を含む) 除去術 その他の頭蓋、顔面、肩甲骨、上腕、大腿	10	8	7
K0483	骨内異物 (挿入物を含む) 除去術 前腕、下腿	25	18	23

診療報酬 区分番号	行為名称	2014年	2015年	2016年
K0484	骨内異物(挿入物を含む)除去術 鎖骨、膝蓋骨、手、足、指(手、足)その他	12	17	13
K0493	骨部分切除術(手)			1
K0502	腐骨摘出術 前腕、下腿	1		
K0521	骨主要切除術 肩甲骨、上腕、大腿	2		
K0522	骨腫瘍切除術 前腕、下腿	1		
K0523	骨腫瘍切除術 鎖骨、膝蓋骨、手、足、指(手、足)その他		1	1
K0541	骨切り術 肩甲骨、上腕、大腿	2		
K0543	骨切り術 鎖骨、膝蓋骨、手、足、指(手、足)その他	1		
K0561	偽関節手術 肩甲骨、上腕、大腿	2	1	
K0562	偽関節手術 前腕、下腿、手舟状骨	1	1	4
K0563	偽関節手術 鎖骨、膝蓋骨、手(舟状骨を除く)、足、指(手、足)その他		3	5
K0572	変形治癒骨折矯正手術 前腕、下腿	2	2	
K0573	変形治癒骨折矯正手術(手)			1
K0582	骨長調整手術 骨短縮術		1	3
K0591	骨移植術(軟骨移植術を含む) 自家骨移植	233	333	437
K0593	骨移植術(軟骨移植術を含む) 同種骨移植(非生体)	11	14	4
K05930	骨移植術(軟骨移植術を含む)(自家骨または非生体同種骨移植と人工骨移植の併施)			12
K0601	関節切開術 肩、股、膝		2	3
K0602	関節切開術(足)		1	1
K060-31	化膿性または結核性関節炎掻爬術 肩、股、膝	9	17	18
K060-32	化膿性または結核性関節炎掻爬術 胸鎖、肘、手、足	2		
K0611	関節脱臼非観血的整復術 肩、股、膝	4	2	4
K0612	関節脱臼非観血的整復術 胸鎖、肘、手、足	2		1
K0613	関節脱臼非観血的整復術	1		
K0631	関節脱臼観血的整復術 肩、股、膝	2	1	
K0632	関節脱臼観血的整復術 胸鎖、肘、手、足	1	1	2
K0633	関節脱臼観血的整復術 肩鎖、指(手、足)		1	1
K0651	関節内異物(挿入物を含む)除去術 肩、股、膝	3	1	1
K0652	関節内異物(挿入物を含む)除去術 胸鎖、肘、手、足	3	1	
K0653	関節内異物(挿入物を含む)除去術 肩鎖、指(手、足)	1		
K0661	関節滑膜切除術 肩、股、膝	1		1
K0662	関節滑膜切除術 胸鎖、肘、手、足	1		1
K066-21	関節鏡下関節滑膜切除術 肩、股、膝	1	3	
K0663	関節滑膜切除術(指)(手)		1	1
K066-32	滑液膜摘出術(足)			1
K066-5	膝蓋骨滑液嚢切除術	1		
K0671	関節鼠摘出手術 肩、股、膝			1
K068-2	関節鏡下半月板切除術	8	3	7
K0701	ガングリオン摘出術 手、足、指(手、足)		1	
K0702	ガングリオン摘出術 その他(ヒグローム摘出術を含む)	1		
K0723	関節切除術 肩鎖、指(手、足)	1		
K0731	関節内骨折観血的手術 肩、股、膝	5	7	10
K0732	関節内骨折観血的手術 胸鎖、肘、手、足	2	3	3
K0733	関節内骨折観血的手術 肩鎖、指(手、足)	2	1	
K0743	靭帯断裂縫合術 指(手、足)その他の靭帯	1		4
K0751	非観血的関節授動術 肩、股、膝		3	1
K0762	観血的関節授動術 胸鎖、肘、手、足		1	2
K0782	観血的関節固定術 胸鎖、肘、手、足		2	2
K0783	観血的関節固定術 肩鎖、指(手、足)		1	
K0801	関節形成手術(肩)			1
K0802	関節形成手術 胸鎖、肘、手、足		1	2
K0811	人工骨頭挿入術 肩、股	31	35	40
K0821	人工関節置換術 肩、股、膝	369	455	569
K0822	人工関節置換術 胸鎖、肘、手、足	1		
K082-21	人工関節抜去術 肩、股、膝			1
K082-31	人工関節再置換術 肩、股、膝	6	9	14
K083	鋼線等による直達牽引(初日。観血的に行った場合の手技料を含む)(1局所につき)	4		
K0842	四肢切断術 上腕、前腕、手、大腿、下腿、足	4	3	4
K0843	四肢切断術 指(手、足)	2	4	1

診療報酬 区分番号	行為名称	2014年	2015年	2016年
K0853	四肢関節離断術（指（手、足））			1
K0861	断端形成術（軟部形成のもの）（指）		1	
K0871	断端形成術（骨形成を要するもの） 指（手、足）	1	1	2
K0881	切断四肢再接合術（四肢）			1
K093	手根管開放手術	3	2	1
K097	手掌、足底異物摘出術		1	
K099-21	デュピイトレン拘縮手術（1指）		1	
K099-22	デュピイトレン拘縮手術 2指から3指	3	1	
K108	母指対立再建術	2	1	1
K113	腸骨窩膿瘍搔爬術	1		
K116	脊椎、骨盤骨搔爬術	1		
K125	骨盤骨折観血の手術（腸骨翼骨折を除く）			1
K1261	骨盤骨（軟骨）組織採取術（試験切除によるもの）（腸骨翼）		1	2
K1262	脊椎、骨盤骨（軟骨）組織採取術（試験切除によるもの） その他のもの		1	
K133	黄色靱帯骨化症手術			1
K1341	椎間板摘出術 前方摘出術	1		
K1342	椎間板摘出術 後方摘出術	12	8	4
K136	脊椎、骨盤悪性腫瘍手術	2		
K140	骨盤骨切り術		1	
K141-2	寛骨臼移動術		1	
K1421	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術（多椎間または多椎弓の場合を含む） 前方椎体固定	1	1	
K1422	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術（多椎間または多椎弓の場合を含む） 後方または後側方固定	4	3	3
K142-21	脊椎側彎症手術（固定術）			1
K1423	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術（多椎間または多椎弓の場合を含む） 後方椎体固定	5	7	10
K1425	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術（多椎間または多椎弓の場合を含む） 椎弓切除	20	34	45
K1426	脊椎固定術、椎弓切除術、椎弓形成術（多椎間または多椎弓の場合を含む） 椎弓形成	9	11	9
K1821	神経縫合術 指（手、足）	2		
K182-22	神経交差縫合術（その他のもの）			1
K1822	神経縫合術 その他のもの	1	2	4
K1881	神経剥離術 鏡視下によるもの	1		
K1882	神経剥離術 その他のもの	3		
K1911	脊椎腫瘍摘出術 髄外のもの	1	1	1
K1912	脊椎腫瘍摘出術 髄中のもの	1		
K197	神経移行術	4	4	6
K198	神経移植術		1	
	整形外科 合計	1103	1261	1585

《皮膚科》

K005\$	皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部）		1	
K006\$	皮膚、皮下腫瘍摘出術（露出部以外）	6	5	8
K0072	皮膚悪性腫瘍切除術 単純切除	2	3	4
K0131	分層植皮術	1		
K015\$	皮弁作成術、移動術、切断術、遷延皮弁術		1	1
K0301	四肢・躯幹軟部腫瘍摘出術	1		
	皮膚科 合計	10	10	13

《眼科》

K2193	眼瞼下垂症手術 その他のもの		1	
K2681	緑内障手術 虹彩切除術	1		
K2682	緑内障手術 流出路再建術	1		1
K2683	緑内障手術（濾過手術）			2
K2761	網膜光凝固術 通常のもの（一連につき）	2		
K278	硝子体注入・吸引術		1	
K28210	水晶体再建術 眼内レンズを挿入する場合 その他のもの	224	222	176
	眼科 合計	228	224	179

(6) 退院患者の主な処置 (手術室以外で実施した区分番号K〇〇に該当する行為)

※2016年1月～12月退院患者が入院期間中に施行されたもので輸血を除く

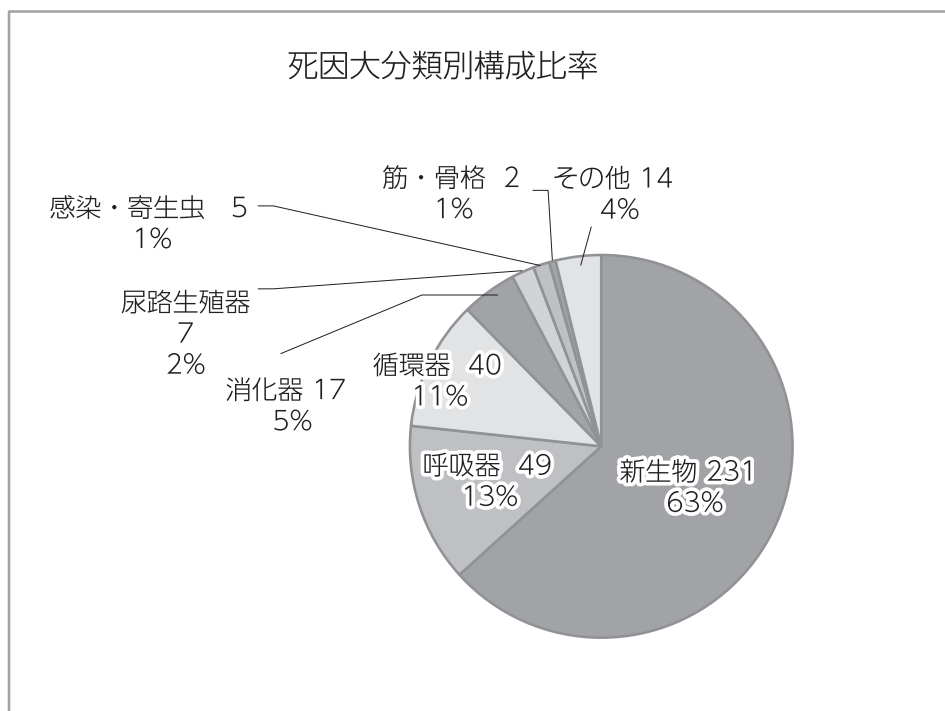
診療報酬 区分番号	行為名称	2014年	2015年	2016年
K000\$	創傷処理	34	40	37
K001\$	皮膚切開術	22	38	26
K005\$	皮膚、皮下腫瘍摘出術 (露出部)		1	
K006\$	皮膚、皮下腫瘍摘出術 (露出部以外)	11	6	19
K007\$	皮膚悪性腫瘍切除術		3	4
K013\$	分層植皮術	2		
K015\$	皮弁作成術・移動術・切断術・遷延皮弁術		1	2
K0442	骨折非観血的整復術 (前腕)		1	1
K0443	骨折非観血的整復術 (肋骨)			3
K047-2	難治性骨折超音波治療法 (一連につき)		3	
K047-3	骨折超音波治療法 (一連につき)	61	28	127
K0611	関節脱臼非観血的整復術 肩、股、膝		11	1
K083	鋼線等による直達牽引 (初日。観血的に行った場合の手技料を含む) (1局所につき)		3	6
K112	腸骨窩膿瘍切開術			4
K2762	網膜光凝固術 (その他特殊なもの (一連につき))			4
K282-2	後発白内障手術			4
K300	鼓膜切開術	1		
K331	鼻腔粘膜焼灼術		2	1
K333-3	鼻骨骨折徒手整復術	1		
K368	扁桃周囲膿瘍切開術		4	2
K3692	咽頭異物摘出術 複雑なもの			
K386	気管切開術	16	10	9
K3911	気管異物除去術 直達鏡によるもの	2		
K472	乳腺膿瘍切開術		1	
K5091	気管支異物除去術 直達鏡によるもの		2	1
K5221	食道狭窄拡張術 (内視鏡によるもの)		1	
K5222	食道狭窄拡張術 食道ブジー法	3	5	1
K522-2	食道ステント留置術	6	2	1
K5223	食道狭窄拡張術 拡張用バルーンによるもの	8	1	2
K526-22	内視鏡的食道粘膜切除術 早期悪性腫瘍粘膜下層剥離術	4	2	4
K533	食道・胃静脈瘤硬化療法 (内視鏡によるもの) (一連として)	3	2	1
K533-2	内視鏡的食道・胃静脈瘤結紮術	7	26	13
K546	経皮的冠動脈形成術	2		
K5463	経皮的冠動脈形成術 その他のもの	2		
K549	経皮的冠動脈ステント留置術	10		
K5492	経皮的冠動脈ステント留置術 不安定狭心症に対するもの	11		
K5493	経皮的冠動脈ステント留置術 その他のもの	17	19	40
K596	体外ペースメーカー術	1		1
K5972	ペースメーカー移植術 経静脈電極の場合	20	21	14
K597-2	ペースメーカー交換術	10	7	10
K6072	血管結紮術 その他のもの	2		1
K608-3	内シャント血栓除去術	4		
K6105	動脈形成術、吻合術 (その他の動脈)		1	
K6112	抗悪性腫瘍剤動脈、静脈または腹腔内持続注入用埋込型カテーテル設置 四肢に設置した場合		2	
K6113	抗悪性腫瘍剤動脈、静脈または腹腔内持続注入用埋込型カテーテル設置 頭頸部その他に設置した場合	25	20	22
K6146	血管移植術 バイパス移植術 その他の動脈	1		
K6151	血管塞栓術 (頭部、胸腔、腹腔内血管) 止血術	7	13	1
K6152	血管塞栓術 (頭部、胸腔、腹腔内血管) 選択的動脈科学塞栓術	33	21	27
K6153	血管塞栓術 (頭部、胸腔、腹腔内血管) その他のもの	3	28	19
K616	四肢の血管拡張術・血栓除去術	7	8	13
K616-4	経皮的シャント拡張術・血栓除去術	16	6	10
K6182	中心静脈栄養用埋込型カテーテル設置 頭頸部その他に設置した場合	2	2	2
K620	下大静脈フィルター留置術	3	2	1
K6262	リンパ節摘出術 (長径3センチメートル以上)		1	2
K635	胸水・腹水濾過濃縮再静注法	2	5	3
K6371	限局性腹腔膿瘍手術 (横隔膜下膿瘍)		1	
K637-2	経皮的腹腔膿瘍ドレナージ術	4	5	22

診療報酬 区分番号	行為名称	2014年	2015年	2016年
K651	内視鏡的胃、十二指腸ステント留置術	1	1	1
K6531	内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術 早期悪性腫瘍粘膜切除術	16	6	9
K6532	内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術 早期悪性腫瘍粘膜下層剥離術	15	12	26
K653-3	内視鏡的食道及び胃内異物摘出術	2	2	1
K6534	内視鏡的胃、十二指腸ポリープ・粘膜切除術 その他のポリープ・粘膜切除術	7	5	2
K653-5	内視鏡的胃、十二指腸狭窄拡張術	1	17	9
K654	内視鏡的消化管止血術	56	62	65
K664	胃瘻造設術（経皮的内視鏡下胃瘻造設術を含む）	53	14	23
K664-2	経皮経食道胃管挿入術（PTEG）	2		
K665-2	胃瘻拔去術		3	1
K678	体外衝撃波胆石破砕術（一連につき）	5	41	20
K6822	胆管外瘻造設術 経皮経肝によるもの		1	
K682-2	経皮的胆管ドレナージ術	26	39	50
K682-3	内視鏡的経鼻胆管ドレナージ術（ENBD）	27	18	10
K6851	内視鏡的胆道結石除去術 胆道碎石術を伴うもの	7	17	11
K6852	内視鏡的胆道結石除去術 その他のもの	22	17	15
K686	内視鏡的胆道拡張術	1	3	
K6871	内視鏡的乳頭切開術 乳頭括約筋切開のみのもの	86	55	56
K6872	内視鏡的乳頭切開術 胆道碎石術を伴うもの	14	8	13
K688	内視鏡的胆道ステント留置術	81	106	92
K689	経皮的経肝胆管ステント挿入術			3
K691-2	経皮的肝膿瘍ドレナージ術	3	6	12
K697-31	肝悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法（一連として） 2センチメートル以内のもの	2		
K697-320	肝悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法（一連として）（2センチメートルを超えるもの）（その他のもの）			2
K6992	脾結石手術 軽十二指腸乳頭によるもの	43	60	76
K699-2	体外衝撃波脾石破砕術（一連につき）	64	235	454
K708-3	内視鏡的脾管ステント留置術	122	229	112
K7151	腸重積症整復術 非観血的なもの	8	21	11
K7211	内視鏡的結腸ポリープ・粘膜切除術 長径2センチメートル未満	469	402	440
K7212	内視鏡的結腸ポリープ・粘膜切除術 長径2センチメートル以上	28	21	22
K721-21	内視鏡的大腸ポリープ切除術 長径2センチメートル未満		1	
K721-4	早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術	2		
K722	小腸結腸内視鏡的止血術	13	20	20
K735-2	小腸・結腸狭窄部拡張術（内視鏡によるもの）	4	2	13
K735-4	下部消化管ステント留置術		3	
K7381	直腸異物除去術 経肛門（内視鏡によるもの）	1		
K766	経皮的尿管拡張術（経皮的腎瘻造設術を含む）	1		
K768	体外衝撃波腎・尿管結石破砕術（一連につき）	125	125	142
K775	経皮的腎（腎盂）瘻造設術	3		
K783-2	経尿道的尿管ステント留置術	16		1
K783-3	経尿道的尿管ステント拔去術	5	4	2
K800-2	経尿道的電気凝固術	1		
K9131	新生児仮死蘇生術 仮死第1度のもの	1	1	13
	合計	1696	1912	2188

(7) 死因統計
《大分類別件数》

大分類	分類名	死亡退院数			24時間以内死亡数			平均年齢*		
		2014年	2015年	2016年	2014年	2015年	2016年	2014年	2015年	2016年
A00-B99	感染・寄生虫	7	9	5		1		77.9	77.8	69.2
C00-D48	新生物	216	243	231	8	15	12	72.1	73.1	73.3
D50-D89	血液・免疫	1								
E00-E90	内分泌・代謝	3	3	2						
F00-F99	精神	1		2			1			
G00-G99	神経		3	2			1			
I00-I99	循環器	41	45	40	8	10	7	82.5	82.4	86.4
J00-J99	呼吸器	53	44	49	3	6	5	80.1	78.3	82.1
K00-K93	消化器	19	14	17	4	4	3	77.5	72.6	78.5
L00-L99	皮膚	1	1							
M00-M99	筋・骨格	4	1	2						
N00-N99	尿路生殖器	4	14	7		4			82.8	70.5
R00-R99	症状・異常検査	3	5	4			1		89.0	
S00-T98	損傷・中毒	3	3	4						
	総計	356	385	365	23	40	30	75.4	75.5	76.5

* 5件以上のみ算出



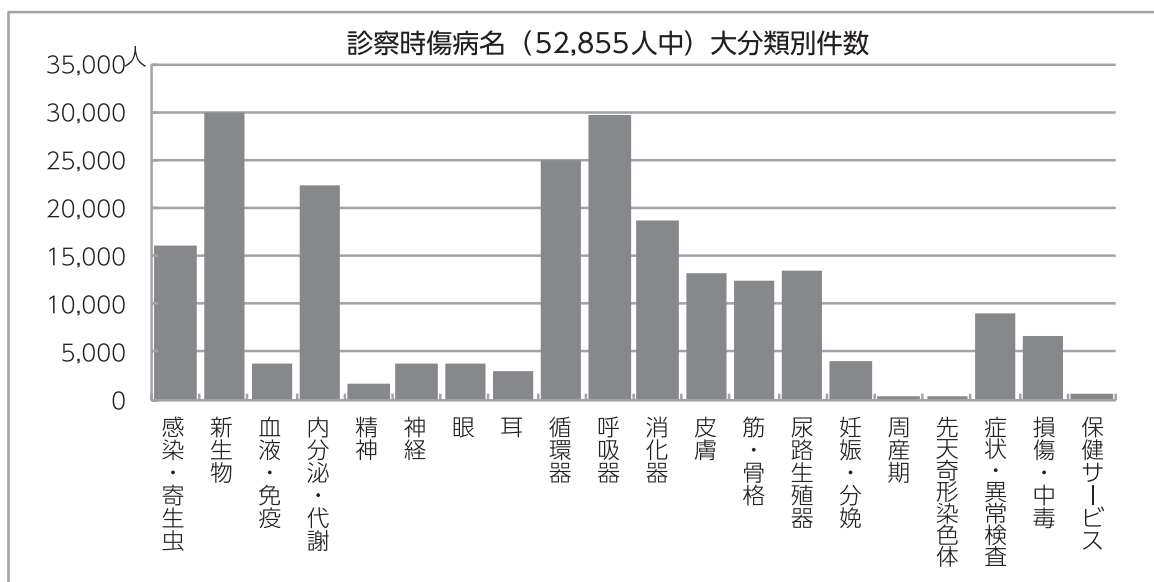
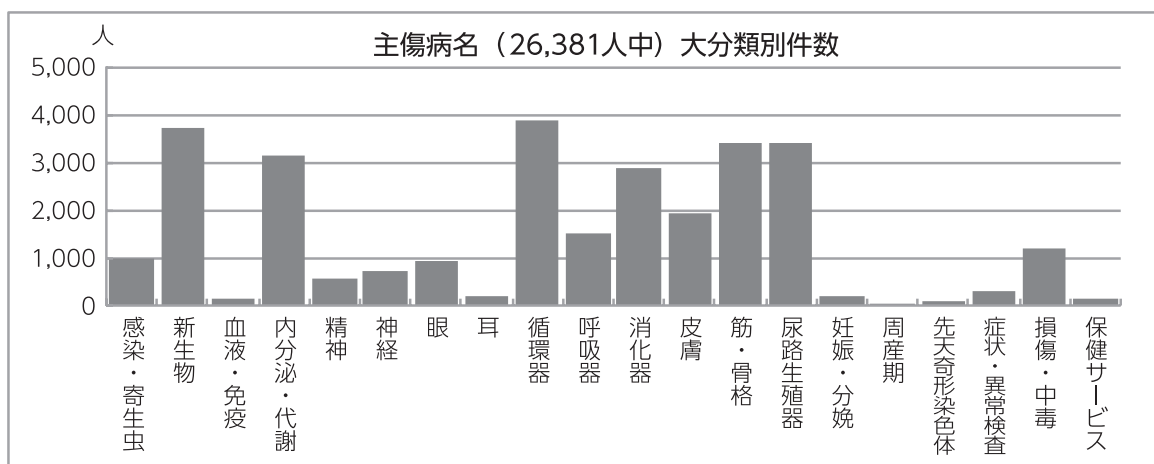
《原死因 ICD別》

大分類名	原死因ICD	ICD中間分類名称	2014年	2015年	2016年	
感染・寄生虫	A00-A09	腸管感染症		1		
	A15-A19	結核	1		1	
	A30-A49	その他の細菌性疾患	2	6	3	
	B15-B19	ウイルス肝炎	1	2	1	
	B50-B64	原虫疾患	2			
	B90-B94	感染症および寄生虫症の続発・後遺症	1			
		小計	7	9	5	
新生物	C00-C14	口唇、口腔および咽頭	2	3	2	
	C15-C26	消化器	99	134	118	
	C30-C39	呼吸器および胸腔内臓器	66	58	54	
	C43-C44	皮膚	3			
	C45-C49	中皮および軟部組織	1	1	4	
	C50	乳房	9	11	7	
	C51-C58	女性生殖器	5	7	10	
	C60-C63	男性生殖器	12	3	5	
	C64-C68	尿路	7	13	15	
	C69-C72	眼、脳および中枢神経系のその他の部位	1	1		
	C73-C75	甲状腺およびその他の内分泌腺	1	1		
	C76-C80	部位不明確、続発部位および部位不明の悪性新生物	3	4	2	
	C81-C96	原発と記載されたまたは推定されたリンパ組織、造血組織および関連組織の悪性新生物	5	4	11	
	D37-D48	性状不詳または不明の新生物	2	3	3	
		小計	216	243	231	
血液・免疫	D80-D89	免疫機構の障害	1			
		小計	1			
内分泌・代謝	E00-E07	甲状腺障害			1	
	E10-E14	糖尿病	2	3	1	
	E70-E90	代謝障害	1			
		小計	3	3	2	
精神	F00*	アルツハイマー（Alzheimer）病の認知症	1		1	
	F10-F19	精神作用物質使用による精神および行動の障害			1	
		小計	1		2	
神経	G20-G26	錐体外路障害および異常運動		3	2	
		小計		3	2	
循環器	I10-I15	高血圧性疾患			1	
	I20-I25	虚血性心疾患	10	11	9	
	I26-I28	肺性心疾患および肺循環疾患	1			
	I30-I52	その他の型の心疾患	15	18	16	
	I60-I69	脳血管疾患	11	13	9	
	I70-I79	動脈、細動脈および毛細血管の疾患	4	3	5	
			小計	41	45	40
呼吸器	J10-J18	インフルエンザおよび肺炎	23	20	29	
	J40-J47	慢性下気道疾患	1	6	6	
	J60-J70	外的因子による肺疾患	12	4	2	
	J80-J84	主として間質を障害するその他の呼吸器疾患	13	11	7	
	J85-J86	下気道の化膿性およびえ（壊）死性病態	2	2	1	
	J90-J94	胸膜のその他の疾患	1			
	J95-J99	呼吸器系のその他の疾患	1	1	4	
			小計	53	44	49
	消化器	K20-K31	食道、胃および十二指腸の疾患	2	2	2
K55-K63		腸のその他の疾患	3	4	5	
K70-K77		肝疾患	8	6	9	
K80-K87		胆のう（嚢）、胆管および膵の障害	3	1	1	
K90-K93		消化器系のその他の疾患	3	1		
			小計	19	14	17
皮膚	L00-L08	皮膚および皮下組織の感染症	1		1	
	L80-L99	皮膚および皮下組織のその他の障害		1	1	
		小計	1	1	2	
筋・骨格	M05-M14	炎症性多発性関節障害	2			
	M30-M36	全身性結合組織障害	1		1	
	M70-M79	その他の軟部組織障害		1	1	
	M86-M90	その他の骨障害	1			
			小計	4	1	2
尿路生殖器	N10-N16	腎尿管間質性疾患	1			
	N17-N19	腎不全		9	5	
	N30-N39	尿路系のその他の疾患	3	5	2	
			小計	4	14	7
症状・異常検査	R00-R09	循環器系および呼吸器系に関する症状および徴候	1	1	1	
	R50-R69	全身症状および徴候	2	4	2	
	R95-R99	診断名不明確および原因不明の死亡			1	
		小計	3	5	4	
損傷・中毒	S00-S09	頭部損傷	1		4	
	T15-T19	自然開口部からの異物侵入の作用		2		
	T80-T88	外科的および内科的ケアの合併症、他に分類されないもの	2	1		
			小計	3	3	4

4. 外来患者統計

(1) 傷病別患者数および平均年齢

《主病名あり26,381人の病名》				重複あり	《診察時病名(疑い除く)》				重複あり
分類名	件数	構成比	平均年齢		分類名	件数	構成比	平均年齢	
感染・寄生虫	994	3.8%	62.5		感染・寄生虫	16,044	30.4%	43.0	
新生物	3,733	14.2%	67.9		新生物	29,900	56.6%	59.8	
血液・免疫	145	0.5%	63.7		血液・免疫	3,730	7.1%	59.6	
内分泌・代謝	3,150	11.9%	65.7		内分泌・代謝	22,469	42.5%	61.6	
精神	575	2.2%	55.8		精神	1,747	3.3%	56.3	
神経	697	2.6%	58.7		神経	3,900	7.4%	60.7	
眼	941	3.6%	74.2		眼	3,821	7.2%	57.2	
耳	220	0.8%	62.1		耳	2,949	5.6%	52.9	
循環器	3,845	14.6%	72.9		循環器	25,122	47.5%	65.7	
呼吸器	1,525	5.8%	58.0		呼吸器	29,782	56.3%	37.2	
消化器	2,871	10.9%	65.7		消化器	18,856	35.7%	58.7	
皮膚	1,933	7.3%	56.5		皮膚	13,323	25.2%	47.3	
筋・骨格	3,384	12.8%	69.2		筋・骨格	12,426	23.5%	63.2	
尿路生殖器	3,387	12.8%	64.8		尿路生殖器	13,557	25.6%	53.3	
妊娠・分娩	172	0.7%	33.4		妊娠・分娩	4,056	7.7%	31.9	
周産期	26	0.1%	1.3		周産期	552	1.0%	11.0	
先天奇形染色体	71	0.3%	44.1		先天奇形染色体	322	0.6%	43.3	
症状・異常検査	290	1.1%	56.7		症状・異常検査	9,119	17.3%	53.8	
損傷・中毒	1,200	4.5%	60.1		損傷・中毒	6,572	12.4%	53.5	
保健サービス	162	0.6%	75.2		保健サービス	580	1.1%	64.6	
計	29,321		65.4		計	218,827		54.0	



(2) 死因中間分類別件数（外来死亡、在宅死亡）および死亡時平均年齢

分類名	死因 ICDコード	ICDCD中間分類表示	外来			在宅		
			2014年	2015年	2016年	2014年	2015年	2016年
感染・寄生虫	A30-A49	その他の細菌性疾患	1	3				
	A80-A89	中枢神経系のウイルス感染症		1				
	B15-B19	ウイルス肝炎	1					
新生物	C00-C14	口唇、口腔および咽頭		1		1		
	C15-C26	消化器	2	3	6	12	5	13
	C30-C39	呼吸器および胸腔内臓器	1	1	4	3	2	2
	C50	乳房			1		2	
	C51-C58	女性生殖器	1			1	1	
	C60-C63	男性生殖器				1		2
	C64-C68	尿路						1
	C76-C80	部位不明確、続発部位および部位不明の悪性新生物			1	1	2	
	C81-C96	原発と記載されたまたは推定されたリンパ組織、造血組織および関連組織の悪性新生物		1	1		2	
D37-D48	性状不詳または不明の新生物		1	1	1			
内分泌・代謝	E10-E14	糖尿病	1			1	1	
	E70-E90	代謝障害	1					
精神	F00-F09	症状性を含む器質性精神障害					1	
神経	G10-G13	主に中枢神経系を障害する系統萎縮症				1		
	G20-G26	錐体外路障害および異常運動	1		1	1		
	G30-G32	神経系のその他の変性疾患		1			1	
循環器	I10-I15	高血圧性疾患				1	1	
	I20-I25	虚血性心疾患	12	13	18			
	I26-I28	肺性心疾患および肺循環疾患	1					
	I30-I52	その他の型の心疾患	6	6	3	1	4	1
	I60-I69	脳血管疾患		1		3	3	1
I70-I79	動脈、細動脈および毛細血管の疾患	1	4	7	1			
呼吸器	J10-J18	インフルエンザおよび肺炎	4	2	7	3	2	1
	J40-J47	慢性下気道疾患	2	1			2	1
	J60-J70	外的因子による肺疾患				2	2	1
	J80-J84	主として間質を障害するその他の呼吸器疾患	2	1		1	1	1
	J90-J94	胸膜のその他の疾患			1			
	J95-J99	呼吸器系のその他の疾患	3		1			1
消化器	K55-K63	腸のその他の疾患						1
	K70-K77	肝疾患			1	1		1
	K80-K87	胆のう（嚢）、胆管および膵の障害		1				
	K90-K93	消化器系のその他の疾患	1		1			
筋・骨格	M30-M36	全身性結合組織障害				1		
尿路生殖器	N17-N19	腎不全	3	1	2		1	
	N30-N39	尿路系のその他の疾患		2			1	
症状・異常 検査	R00-R09	循環器系および呼吸器系に関する症状および徴候	2					
	R50-R69	全身症状および徴候		3	6	11	4	3
	R90-R94	画像診断および機能検査における異常所見、診断名の記載がないもの			1			
	R95-R99	診断名不明確および原因不明の死亡	1		4			
損傷・中毒	T15-T19	自然開口部からの異物侵入の作用	1	2	3			
傷病・死亡 外因	W65-W74	不慮の溺死および溺水			1			
	X60-X84	故意の自傷および自殺	1	2				
合計			49	51	71	48	38	30
死亡時平均年齢			78.6	80.2	80.4	81.6	81.7	81.0

5. 紹介患者統計

(1) 診療科別紹介件数

診療科	外来件数	入院件数	計	
内科	1,571	617	2,188	
夜間・休日外来	165	159	324	
救急	64	289	353	
内 科 専 門 外 来	循環器	158	3	161
	糖尿病	101	8	109
	呼吸器	97	3	100
	消化器	153	130	283
	甲状腺	19	0	19
	神経内科	62	0	62
腎	17	0	17	
外科	329	92	421	
小児科	273	100	373	
産婦人科	473	35	508	
整形外科	656	284	940	
皮膚科	389	6	395	
泌尿器科	365	37	402	
精神神経科	54	2	56	
眼科	68	1	69	
耳鼻咽喉科	135	2	137	
脳神経外科	41	0	41	
リハビリテーション科	16	103	119	
緩和ケア内科	91	81	172	
健診後外来	100	4	104	
栄養相談	4	0	4	
在宅医療科	16	0	8	
透析	8	0	8	
合計	5,425	1,956	7,373	

(3) 紹介来院目的

	病院	診療所	施設
精密検査	738	4159	524
継続加療	853	287	50
セカンドオピニオン	3	2	0
症状問い合わせ	272	435	47
合計	1,866	4,883	621

(2) 法人内事業所からの紹介数

紹介元事業所名	外来件数	入院件数	計
さいわい診療所	259	136	395
老人保健施設みぬま	173	44	217
浦和民主診療所	134	91	225
川口診療所	66	57	123
埼玉西協同病院	9	65	74
生協歯科診療所	12	33	45
かすかべ生協診療所	18	3	21
大井協同診療所	4	6	10
熊谷生協病院	5	3	8
おおみや診療所	7	4	11
秩父生協病院	0	0	0
行田協立診療所	0	0	0
所沢診療所	0	0	0
老人保健施設さんとも	0	0	0
合計	687	442	1,129

(4) 当院からの転医目的

	病院	診療所	施設
精密検査	1855	240	0
継続加療	695	1919	179
セカンドオピニオン	39	3	0
症状問い合わせ	35	35	3
合計	2,624	2,197	182

(5) 紹介元医療機関別紹介患者数

紹介医療機関名	件数	紹介医療機関名	件数	紹介医療機関名	件数
病院		診療所・クリニック		こまくさ診療所	19
川口市立医療センター	180	しみずクリニックふさ	222	かねこウィメンズクリニック	19
東川口病院	136	舟田クリニック	180	東浦和耳鼻咽喉科	19
埼玉県済生会川口総合病院	115	青木中央クリニック	171	とりごえクリニック	19
自治医科大学附属さいたま医療センター	104	鹿島診療所	161	沢近医院	19
獨協医科大学越谷病院	89	埼玉川口クリニック	154	井上整形外科	18
埼玉西協同病院	74	桑川内科医院	146	小谷野医院	18
かわぐち心臓呼吸器病院	63	植村内科クリニック	112	だてクリニック	18
さいたま市立病院	60	平井こどもクリニック	111	里村クリニック	17
川口工業総合病院	40	今野医院 (さいたま市)	107	糸魚川整形外科医院	17
さいたま赤十字病院	38	武南病院附属クリニック	80	東浦和内科外科クリニック	16
戸田中央総合健康管理センター	32	渋川産婦人科医院	70	ハーモニークリニック	16
戸田中央総合病院	32	ゆたかクリニック	61	加藤レディスクリニック	15
がん研有明病院	30	ままだ皮フ科	60	大河原医院	15
帝京大学医学部附属病院	30	石井医院 (川口市)	59	慈孝内科外科クリニック	15
埼玉県立がんセンター	29	あきもと皮フ科クリニック	58	白川クリニック	15
東京大学医学部附属病院	28	芝西医院	52	小谷場クリニック	15
埼玉メディカルセンター	27	石井クリニック	50	柳崎眼科クリニック	14
はとがや病院	27	添田医院	49	すずき整形外科	14
東和病院	24	健クリニック	45	ソフィア祐子レディースクリニック	14
寿康会病院	23	しみず整形外科クリニック	44	菅原整形外科	14
益子病院	23	悠翔会在宅クリニック川口	44	ウメツ医院	13
板橋中央総合病院	22	厚川医院	43	コスモクリニック	13
順天堂大学医学部附属順天堂医院	21	しもむら内科クリニック	38	山田整形外科・胃腸科・肛門科	12
川口さくら病院	18	メディカルクリニック ドクターランド	36	周東医院	12
川口誠和病院	16	土佐クリニック	36	スマイル内科小児科クリニック	12
埼玉医科大学総合医療センター	16	須田医院	36	田山医院	12
草加市立病院	15	芝中央医院	35	宮村医院	11
国立がん研究センター中央病院	15	ほしあい眼科	29	安行メディカルクリニック	11
武南病院	15	ひろクリニック	29	鳩ヶ谷第一クリニック	11
埼玉草加病院	14	春野クリニック	29	セントウィメンズクリニック	11
河合病院	14	上青木整形外科	28	かいわ内科	10
齋藤記念病院	14	あずま在宅クリニック	28	さの小児科クリニック	10
慶應義塾大学病院	13	若林小児科内科医院	27	よこお整形外科クリニック	10
秋葉病院	12	平愛クリニック	26	しのぎ脳神経外科・産婦人科クリニック	10
大宮厚生病院	11	越智整形外科	26	ときとうクリニック	10
三愛病院	11	目時クリニック	26	フクダクリニック	10
東京医科歯科大学医学部附属病院	11	東川口クリニック整形外科内科	26	川田クリニック	10
安東病院	10	川口ハートクリニック内科	26	南浦和高崎医院	10
川久保病院	10	かねこ内科リウマチ科クリニック	26	鳩ヶ谷きどぐち眼科	9
わかくさ病院	10	ふたばクリニック (さいたま市)	25	上青木中央醫院	9
埼玉県立小児医療センター	9	新井宿駅前内科クリニック	25	井上医院	9
蕨市立病院	9	水上レディースクリニック	24	大関会クリニック	9
東京女子医科大学病院	9	根岸台診療所	23		
他病院148機関	369	さいたま在宅医療クリニック	19	他診療所315機関	794

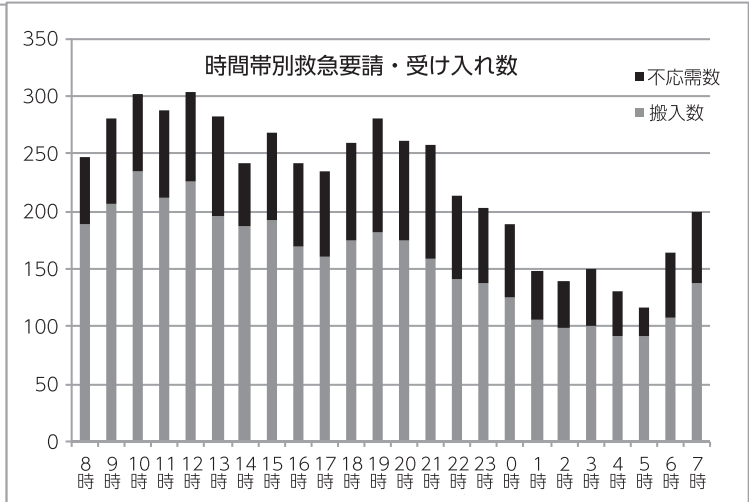
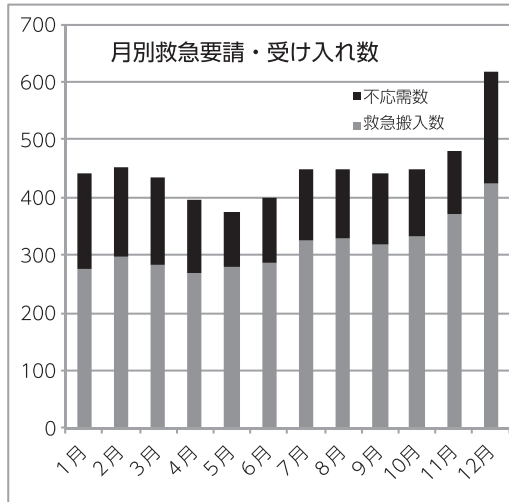
(6) 転院先医療機関別当院からの紹介患者数

紹介医療機関名	件数	紹介医療機関名	件数	紹介医療機関名	件数
病院		診療所・クリニック		益子整形外科	8
川口市立医療センター	364	しみずクリニックふさ	137	川口クリニック	8
埼玉県済生会川口総合病院	202	植村内科クリニック	70	大原整形・形成外科	8
自治医科大学附属さいたま医療センター	185	ほしあい眼科	57	こまくさ診療所	8
獨協医科大学越谷病院	159	青木中央クリニック	55	すぎた内科クリニック	8
東京大学医学部附属病院	123	今野医院 (さいたま市)	46	山際眼科医院	8
帝京大学医学部附属病院	101	さいたまセントラルクリニック	41	石井クリニック	8
さいたま赤十字病院	80	埼玉川口クリニック	35	若林小児科内科医院	8
かわぐち心臓呼吸器病院	68	東浦和眼科クリニック	35	根岸台診療所	7
埼玉県立がんセンター	57	芝中央医院	32	よこお整形外科クリニック	7
さいたま市立病院	56	柳崎眼科クリニック	31	林眼科クリニック	7
がん研有明病院	39	あずま在宅クリニック	24	渋川産婦人科医院	7
東川口病院	36	石井医院 (川口市)	22	あさおか眼科	7
川口工業総合病院	36	添田医院	22	武井眼科医院	7
板橋中央総合病院	36	かいわ内科	21	目時クリニック	7
埼玉県立小児医療センター	35	鹿島診療所	21	きしろ内科・眼科クリニック	6
はとがや病院	33	だてクリニック	20	安行メディカルクリニック	6
埼玉医科大学総合医療センター	30	東浦和内科外科クリニック	18	あおぞらクリニック	6
メディカルトピア草加病院	30	沢近医院	18	さとう眼科医院	6
金地病院 (東京)	30	田山医院	17	かわぐち在宅診療所	6
慶應義塾大学病院	29	武南病院附属クリニック	16	高橋内科胃腸科クリニック	6
国立がん研究センター中央病院	28	悠翔会在宅クリニック川口	15	山内クリニック	6
日本大学病院	27	芝西医院	15	田嶋内科	6
がん・感染症センター都立駒込病院	26	ときとうクリニック	15	舟田クリニック	6
戸田中央総合病院	26	とりごえクリニック	15	丸山クリニック	6
順天堂大学医学部附属順天堂医院	24	ウメツ医院	14	里村クリニック	6
埼玉メディカルセンター	23	平愛クリニック	14	白川クリニック	6
日本大学医学部附属板橋病院	22	川口ハートクリニック内科	14	東川口クリニック整形外科内科	6
齋藤記念病院	21	しもむら内科クリニック	13	春野クリニック	5
川口さくら病院	20	菅原整形外科	12	虹クリニック	5
東和病院	20	ハーモニークリニック	12	井上整形外科	5
日本医科大学付属病院	20	慈孝内科外科クリニック	11	らびっとクリニック	5
戸田病院	20	健クリニック	11	新井宿駅前内科クリニック	5
草加市立病院	19	須田医院	11	高橋内科クリニック	5
東京医科歯科大学医学部附属病院	15	リハビリテーションクリニック社	11	しみず整形外科クリニック	5
みさと協立病院	14	いしい内科クリニック	10	ソフィア祐子レディースクリニック	5
伊藤病院	14	ふたばクリニック (さいたま市)	10	ういずクリニック西尾久	5
浦和神経サナトリウム	13	メディカルクリニックドクターランド	10	小谷野医院	5
寿康会病院	13	桑川内科医院	10	南浦和高崎医院	5
埼玉医科大学病院	13	土佐クリニック	10	そら内科クリニック	4
丸山記念総合病院	13	宮村医院 (さいたま市)	9	下条医院	4
安東病院	12	上青木中央醫院	9	井上医院	4
国立がん研究センター東病院	12	かねこ内科リウマチ科クリニック	9	青木医院 (浦和)	4
東京女子医科大学病院	12	周東医院	9		
他病院132機関	382	清水眼科	9	他診療所208機関	365

6. 救急患者統計

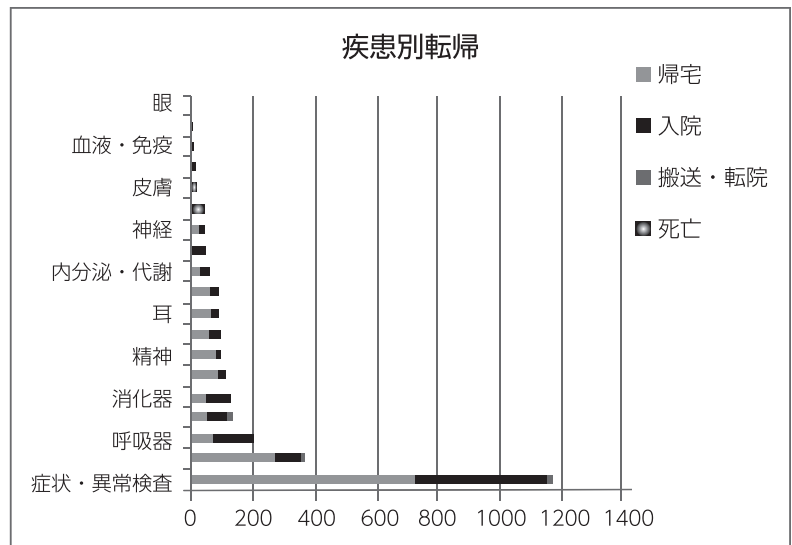
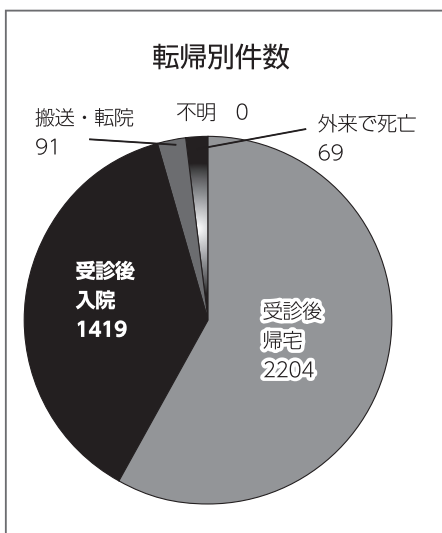
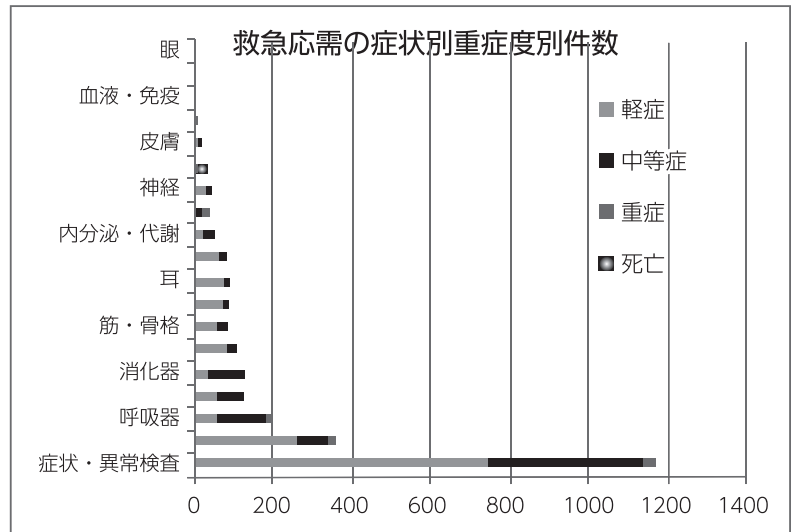
月別救急要請件数と搬入数

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
救急搬入数	275	297	282	268	279	287	324	329	319	331	371	424	3786
不応需数	168	155	151	127	94	113	125	121	121	119	109	193	1596
要請総数	443	452	433	395	373	400	449	450	440	450	480	617	5382



救急隊別搬入数

救急隊	件数
川口市	2587
さいたま市	1093
蕨市	41
草加市	20
越谷市	15
所沢	12
戸田市	10
春日部市	3
その他	13



7. がん登録統計

(1) 患者構成 (性別・平均年齢・居住地)

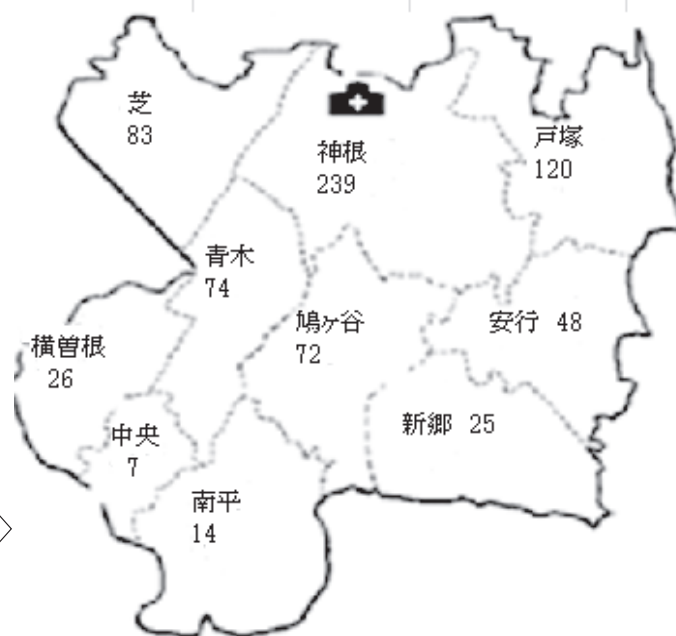
性別	件数	平均年齢
男性	589	72.7
女性	414	67.2
合計	1,003	70.4

年代	男性	女性
40歳未満	3	22
40代	15	47
50代	34	41
60代	146	99
70代	244	112
80代	130	78
90代以上	17	15
合計	589	414

登録時居住地	
川口市	708
さいたま市	177
所沢市	25
越谷市	16
草加市	16
県内その他	40
他都県	21

地域別件数
図1参照

図1 川口市 地域別件数



(2) 部位別登録数 (10件以上)

部位	件数	部位	件数
大腸	245	皮膚	27
胃	117	食道	25
肺	101	子宮体部	22
前立腺	96	腎・尿管	21
乳房	86	胆嚢・肝外胆管	20
膵臓	47	卵巣	14
子宮頸部	43	白血病・造血器	12
膀胱	42	リンパ腫	11
肝及び肝内胆管	36	その他	38

(3) 治療前進展度別 来院経緯

進展度	自ら受診	紹介受診	他疾患経過観察	その他	合計	割合
上皮内	111	52	32		195	19.9%
限局	199	131	72		402	41.1%
リンパ節転移	33	20	2		55	5.6%
隣接臓器浸潤	41	36	7		84	8.6%
遠隔転移	84	86	6		176	18.0%
該当せず	13	12	2		27	2.8%
初回治療終了後*	9	51		4	64	6.5%

*初回治療終了後……他施設でがん腫に対する治療を終了した方、剖検発見を含む

(4) 治療方針・フォローアップ先

方針	件数
当院で治療 ^{※1}	696
他施設へ紹介	189
初回治療終了後 ^{※2}	113
その他	5

※1 当院で治療：経過観察を含む

※2 初回治療終了後：他施設で
治療終了、または経過観察

(5) 当院での治療

治療方針	件数
外科手術	253
内視鏡手術	163
化学療法 ^{※3}	127

※3：化学療法・TAE/TACE塞栓術・
ラジオ波による治療
術前・術後補助療法は除く

主な紹介先 10件以上 ★：がん診療連携拠点病院

県内	件数
★埼玉県立がんセンター	30
★獨協医科大学越谷病院	27
★川口市立医療センター	14
★自治医科大学附属さいたま医療センター	13
県外	件数
★公財) がん研究会 有明病院	15
★がん・感染症センター 都立駒込病院	13
★国立がん研究センター中央病院	12
★帝京大学医学部附属病院	11

部位別 手術件数 (5件以上)

部位	件数
大腸	192
胃	61
子宮頸部	33
乳房	30
膀胱	26
皮膚	16
肺	11
肝臓	11
膵臓	8
食道	6
肝外胆管	6

8. 病理年報

法人内院所別統計

院所名	2016年	
	検体数	主な病変
浦和民主診療所	上部消化管生検160	食道低異型度上皮内腫瘍 1 胃がん7、胃がん疑い2、胃腺腫4、胃濾胞リンパ腫1、胃MALTリンパ腫1 十二指腸腺腫1
川口診療所	上部消化管生検137	食道扁平上皮がん1、胃がん1、胃腺腫4
さいわい診療所	上部消化管生検121	食道扁平上皮がん1、食道低異型度上皮内腫瘍1、胃がん4、胃腺腫4
埼玉協同病院	4645	
大井協同診療所	上部消化管生検141	胃がん5、胃腺腫3、十二指腸腺腫3
埼玉西協同病院	上部消化管生検232 下部消化管生検156 計 388	食道扁平上皮がん2、食道低異型度上皮内腫瘍1、 胃がん9、胃がん疑い1、胃腺腫5、悪性リンパ腫1、十二指腸がん1、 潰瘍性大腸炎7、大腸がん18 大腸EMR58件中(粘膜内がん4)
所沢診療所	上部消化管生検 19	胃がん3、胃腺腫1
行田協立診療所	上部消化管生検 25	胃がん1、胃がん疑い1、胃腺腫1
熊谷生協病院	上部消化管生検 79	食道扁平上皮がん2、胃がん3、胃がん疑い2
秩父生協病院	上部消化管生検 20	胃がん6、胃がん疑い2
おおみや診療所	上部消化管生検 44	食道低異型度上皮内腫瘍1、胃がん2、胃がん疑い2、胃腺腫3
かすかべ生協診療所	上部消化管生検 176	胃癌2、胃がん疑い1、十二指腸腺腫1
	計 5955	

埼玉協同病院生検手術検体統計

科・種類	2016年 (4645件)	
	件数	主な病変
上部消化管 EMR+ESD	47	食道上皮内がん-4、胃がん-37、胃腺腫-3、胃過形成ポリープ-1、十二指腸腺腫-1
上部消化管 生検1241	1241	食道扁平上皮がん-18、食道低異型度上皮内腫瘍-5 胃group5-81、group4-13、group3-46、group2-18、悪性リンパ腫-1、MALT疑い-1 胃GIST (FNA-2)
下部消化管 EMR	463	smがん-8、mがん-88、直腸カルチノイド-2、腺腫-363 (複数同時切除も1件として数えてあります)
下部消化管 生検	651	Group5-127、group4-4、group3-315、group1-191、直腸カルチノイド-2 潰瘍性大腸炎-疑い含め35 (dysplasia-1)、アメーバ腸炎-1
肝・胆道生検	肝7 膵胆8	自己免疫性肝炎 (PBC含む) -6、IgG4関連胆管炎-1、 胆管がん-2、膵がん-3
肺・胸膜生検	57	肺生検 (扁平上皮がん-7、腺がん-4、腺扁平上皮がん-1、小細胞がん-2)
リンパ節	12	悪性リンパ腫-4、MTX関連リンパ増殖症-1、転移-3、結核-1、壊死性リンパ節炎-1
骨髄生検	33	AML-1、骨髄腫-1、ITP-4、再生不良性貧血-1、がん転移-1、本態性血小板血症-5、骨髄線維症-1、MDS-3 リンパ増殖性疾患-1、リンパ腫浸潤-3、CNL-1
婦人科生検	788	頸部生検 (粘液性腺がん-1、AIS-1、扁平上皮がん-3、CIS-8、異形成-154) 内膜生検 (増殖症-103、内膜がん-15、腺がん疑い-1、乳がん転移-1)
婦人科手術	168	円錐切除 (CIS-9、Severe-29、mild-1) 子宮悪性 (CIS-1、内膜がん-2) 子宮良性 (異型増殖症-3、異形成-4) 卵巣境界病変 (セルトリライデツヒ細胞腫-1、粘液性境界-1、顆粒膜細胞腫-2) 卵巣良性 (デルモイド-18、内膜症-8、粘液性-6、漿液性-8、妊娠黄体腫-1)
外科手術	460 乳腺生検 144	乳がん-38、乳腺針および生検 (がん-65、境界病変-1 (筋上皮腫)、良性-78) 食道がん-4、胃がん-30、胃GIST-2、十二指腸GIST-1、大腸がん-96、 虫垂炎-58、胆嚢 (良性) -123 胆嚢がん-1、胆管がん-3、十二指腸乳頭がん-1、膵がん-8、肝臓 (転移-8、HCC-14、ICC-2)、脾臓 (球状赤血球症)-1 肺がん-19、胸腺腫-1、肺ブラ切除-6、肺LAM-1、巨大結腸症-1、胆道拡張症-1、腹膜播種-2、腹膜中皮腫- 1、腸切除-12、脾動脈瘤-2、
皮膚科	330	粉瘤-82、母斑-30、基底細胞がん-12、ボーエン病-16、皮膚転移-2、扁平上皮がん-3、皮膚リンパ腫-4、 黒色腫-1
整形外科	42	がんの骨転移-5 (肝細胞がん1、肺がん1、乳がん2、子宮体がん1)
耳鼻科	20	鼻腔リンパ腫-1 (NK/T細胞リンパ腫)
泌尿器科	209	精巣脂肪肉腫-1、精巣セミノーマ-1、前立腺針生検 (がん-70/良性-94)、膀胱がんTUR-33

解剖例

	臨床診断	病理診断
2016-1	C P A 蘇生後状態	敗血症、D I C (播種性血管内凝固症候群)
2016-2	悪性リンパ腫	悪性リンパ腫、肝硬変、両側気管支肺炎、虚血性腸炎
2016-3	脳出血後遺症+胃瘻造設状態、肺炎、肝門部胆管がん疑い	肺炎、胃瘻造設状態、上部胆管がん
2016-4	左上葉肺がん、左前胸部胸膜-肋骨直接浸潤	左上葉肺がん(扁平上皮がん)、左前胸部胸膜-肋骨直接浸潤、右腎脾胃壁小腸転移 左半結腸と一部の小腸に広範囲な壊死
2016-5	慢性腎不全(透析治療中)、間質性肺炎、敗血症	溶連菌敗血症と左側胸腹部および陰部の軟部組織壊死、糖尿病性腎症
2016-6	心タンポナーゼ	上行大動脈解離、心タンポナーゼ
2016-7	胸腹部大動脈瘤破裂	胸腹部解離性大動脈瘤破裂+左胸壁内側および後腹膜含む広範囲への血腫形成
2016-8	悪性リンパ腫疑い	悪性リンパ腫(血管免疫芽球性T細胞リンパ腫)
2016-9	心筋梗塞疑い	誤嚥性肺炎、陳旧性心筋梗塞(前壁中隔)および冠動脈硬化症、糖尿病性腎症/腸症
2016-10	胃がん、肝転移、がん性腹膜炎、右腎臓がん	胃がん、肝転移、がん性腹膜炎、 右腎臓がん、 右下葉肺梗塞
2016-11	肝硬変(C型肝炎)、貧血	肝硬変(C型肝炎)、肝左葉(S2)早期肝細胞がん、腹腔内出血
2016-12	胆管炎(ステント挿入状態)、肝膿瘍、腹膜炎、瘻炎後	胆管炎(ステント挿入状態)、肝被膜を穿破する肝膿瘍+腹膜炎、瘻炎後状態
2016-13	気道出血(気管切開(カニューレ挿入状態))、肺非定型抗酸菌症+肺血栓塞栓症	両肺の非結核性抗酸菌症、気道内出血、
2016-14	門脈内ガス血症、イレウス疑い、大腸がん術後、腹壁癒痕ヘルニア、腹部大動脈瘤	広範な小腸壊死(非閉塞性腸管虚血+術後癒着性変化)、 大腸がん術後、腹壁癒痕ヘルニア、 右肺気管支肺炎、腹部大動脈瘤
2016-15	S状結腸憩室炎術後合併症、後腹膜炎+胸膜炎+縦隔炎、誤嚥性肺炎	間質性肺炎、陳旧性心筋梗塞(左室後壁) S状結腸憩室炎病巣切除後、腹腔-胸腔内の炎症後癒痕状態、横行結腸に人工肛門設置後状態
2016-16	多系統萎縮症(線条体黒質変性症)、急性呼吸不全	多系統萎縮症、両側気道内に異物吸引、蘇生による肺うっ血/肺水腫
2016-17	前立腺がん、多発骨転移、消化管出血	前立腺がん、多発骨転移
2016-18	転移性扁平上皮がん(原発不明がん)	扁平上皮がん(左鼠径部皮膚原発と推定)、放射線治療後潰瘍形成状態、皮膚転移、両側多発性肺転移、全身リンパ節転移、後腹膜浸潤および下大静脈浸潤 右側腎細胞がん
2016-19	食道アカラシア術後、がん性腹膜炎	食道扁平上皮がん、がん性腹膜炎、肺肝転移、全身リンパ節転移、食道アカラシア術後、腎微小膿瘍
2016-20	MAC左下葉切除後および治療後の状態、続発性気胸治療後、慢性下気道感染症	MAC左下葉切除後および治療後の状態、続発性気胸治療後、慢性下気道感染症

CPC (臨床病理検討会) 一覧

臨床病理検討会 (Clinico-pathological conference:CPC) とは病理解剖症例をもとに討論形式で医療行為を振り返る勉強会です。当院では医局主催で年5回程度開催しています。

1	開催日時	2016 年 3 月 4 日
	参加人数	17 人
	担当医師	河野 友絵
	病理医師	石津 英喜
	検討症例	75 歳 男・女
	剖検日	2016 年 1 月 25 日
	主訴	腹痛
	臨床診断名	悪性リンパ腫
	病理診断名	悪性リンパ腫、肝硬変、両側気管支肺炎、S状結腸-直腸に虚血性腸炎
2	開催日時	2016 年 3 月 4 日
	参加人数	17 人
	担当医師	山田 登紀子
	病理医師	石津 英喜
	検討症例	68 歳 男・女
	剖検日	2016 年 12 月 26 日
	主訴	呼吸困難
	臨床診断名	前立腺がん治療後、MDS、間質性肺炎、心臓バイパス治療後
	病理診断名	前立腺がん治療後、MDS、特発性間質性肺炎、心臓バイパス治療後 (陳旧性心筋梗塞)、虚血性腸炎
3	開催日時	2016 年 9 月 2 日
	参加人数	19 人
	担当医師	久志本 舞衣子
	病理医師	大石 克巳、北野 元生
	検討症例	91 歳 男・女
	剖検日	2016 年 6 月 28 日
	主訴	右側腹部痛
	臨床診断名	悪性リンパ腫疑い
	病理診断名	悪性リンパ腫 (血管免疫芽球形T細胞リンパ腫)
4	開催日時	2016 年 9 月 2 日
	参加人数	20 人
	担当医師	小野塚 良輔
	病理医師	石津 英喜
	検討症例	72 歳 男・女
	剖検日	2016 年 7 月 4 日
	主訴	血圧低下・嘔吐・下痢・悪寒
	臨床診断名	心筋梗塞疑い
	病理診断名	誤嚥性肺炎、陳旧性心筋梗塞 (前壁中隔) および冠動脈硬化症、糖尿病性腎症/腸症
5	開催日時	2016 年 12 月 19 日
	参加人数	18 人
	担当医師	比留間 晴彦
	病理医師	石津 英喜
	検討症例	79 歳 男・女
	剖検日	2015 年 9 月 14 日
	主訴	低酸素血症 (SpO ₂ 40%)
	臨床診断名	敗血症、肺炎
	病理診断名	肺化膿症 (肺炎桿菌性)、陳旧性心筋梗塞

9. 2016年細菌薬剤感受性検査統計・分離菌検出状況

細菌検査室

集計期間 2016年1月～12月

外来入院別に、同一患者、同一検査材料、同一菌種の場合、1回として集計。

S. aureus とMRSAは分けて表示した。

集計項目

1. 薬剤感受性統計リスト外来入院別（グラム陽性球菌、グラム陰性桿菌）
2. 抗酸菌分離状況
3. 検査集計

薬剤について

2007年11月1日より自動分析装置マイクロキャンWalkAway96SIにて検査を実施。

これにより感受性検査法はディスク法から同定感受性一体型パネルにて微量液体希釈法に変更。

菌種ごとの同定・薬剤パネルは固定。

判定基準は、CLSI M100-S22に準拠。

(ただし、*S. pneumoniae*のPCGは、M100-S17時点での判定基準、腸内細菌のCEZは、M100-S19時点での判定基準)

15年より全てのパネル（グラム陽性球菌、グラム陰性桿菌、非発酵性グラム陰性桿菌）を変更。

菌種および検査材料により、MIC値でS、I、Rの判定がでないものもある。

外注による感受性結果も入れて集計。

(1) 薬剤感受性統計リスト

グラム陽性球菌 (外来)

	<i>S. aureus</i>		<i>MRSA</i>		<i>CNS</i>		<i>E. faecalis</i>		<i>E. faecium</i>		<i>S. pyogenes</i>		<i>S. pneumoniae</i>	
	S%	件数	S%	件数	S%	件数	S%	件数	S%	件数	S%	件数	S%	件数
ペニシリン系														
PCG											100%	77	62%	329
ABPC	46%	321	0%	158	51%	93	100%	118	0%	14	100%	77		
MPIPC	100%	321	0%	158	78%	91								
セフェム系														
CEZ	100%	321	0%	158	78%	93								
CTM					100%	2							69%	329
CTX											100%	77	98%	329
CTRX											100%	77	98%	329
CZOP											100%	77	97%	329
CFPM											100%	77	95%	329
CDTR-PI													94%	329
FMOX					100%	2								
カルバペネム系														
IPM/CS	100%	321	0%	158	78%	93	100%	118						
MEPM											100%	77	79%	329
βラクタマーゼ阻害剤														
CVA/AMPC													93%	329
SBT/ABPC					100%	2								
アミノグリコシド系														
GM	75%	321	59%	158	80%	93								
ABK	98%	321	97%	158	100%	2								
マクロライド系														
EM	75%	308	24%	147	61%	70	26%	35	0%	1	63%	76	8%	327
AZM											62%	76	10%	327
リンコマイシン系														
CLDM	77%	308	31%	147	74%	68					92%	76	42%	327
テトラサイクリン系														
MINO	100%	321	83%	158	98%	93	19%	118	14%	14	88%	77	26%	329
フェニコール系														
CP											100%	76	91%	327
キノロン系														
LVFX	94%	321	35%	158	76%	93	95%	118	0%	14	100%	77	99%	329
グリコペプチド系														
VCM	100%	321	100%	158	100%	93	99%	118	100%	14	100%	77	100%	329
TEIC	100%	321	100%	158	100%	91	100%	115	100%	14				
その他														
DAP	100%	321	100%	158	99%	91								
ST	100%	321	100%	158	97%	93							82%	329
FOM					0%	2								
RFP	99%	321	99%	158	100%	91	53%	115	7%	14			100%	329
LZD	100%	321	100%	158	100%	91	100%	115	100%	14				

グラム陽性球菌（入院）

	<i>S. aureus</i>		<i>MRSA</i>		<i>CNS</i>		<i>E. faecalis</i>		<i>E. faecium</i>		<i>S. pyogenes</i>		<i>S. pneumoniae</i>	
	S%	件数	S%	件数	S%	件数	S%	件数	S%	件数	S%	件数	S%	件数
ペニシリン系														
PCG											100%	7	74%	31
ABPC	47%	104	0%	70	18%	38	100%	98	17%	41	100%	7		
MPIPC	100%	104	0%	70	39%	38								
セフェム系														
CEZ	100%	104	0%	70	39%	38								
CTM													83%	31
CTX											100%	7	91%	31
CTRX											100%	7	100%	31
CZOP											100%	7	87%	31
CFPM											100%	7	83%	31
CDTR-PI													91%	31
カルバペネム系														
IPM/CS	100%	104	0%	70	39%	38	100%	98						
MEPM											100%	7	91%	31
βラクタマーゼ阻害剤														
CVA/AMPC													100%	31
アミノグリコシド系														
GM	79%	104	56%	70	50%	38								
ABK	96%	104	99%	70										
マクロライド系														
EM	65%	100	9%	65	56%	32	23%	56	9%	32	71%	7	9%	31
AZM											71%	7	13%	31
リンコマイシン系														
CLDM	67%	100	12%	65	69%	32					100%	7	39%	31
テトラサイクリン系														
MINO	100%	104	71%	70	95%	38	33%	98	29%	41	100%	7	17%	31
フェニコール系														
CP											100%	7	83%	31
キノロン系														
LVFX	93%	104	20%	70	47%	38	95%	98	7%	41	100%	7	96%	31
グリコペプチド系														
VCM	100%	104	100%	70	100%	38	100%	98	100%	41	100%	7	100%	31
TEIC	100%	104	100%	70	100%	38	100%	98	100%	41				
その他														
DAP	100%	104	100%	70	100%	38								
ST	99%	104	100%	70	89%	38							78%	31
RFP	100%	104	97%	70	100%	38	49%	98	5%	41			100%	31
LZD	100%	104	100%	70	100%	38	100%	98	100%	41				

グラム陰性桿菌 (外来)

	<i>E. coli</i>		<i>K. pneumoniae</i>		<i>S. marcescens</i>		<i>E. cloacae</i>		<i>P. mirabilis</i>		<i>P. aeruginosa</i>		<i>A. baumannii</i>		<i>H. influenzae</i>	
	S%	件数	S%	件数	S%	件数	S%	件数	S%	件数	S%	件数	S%	件数	S%	件数
ペニシリン系																
ABPC	62%	617	0%	208	8%	13	13%	31	82%	33					72%	393
PIPC	65%	617	56%	208	77%	13	84%	31	82%	33	94%	134	92%	13		
セフェム系																
CEZ	79%	617	97%	208	0%	13	6%	31	85%	33						
CTM	83%	617	97%	208	0%	12	16%	31	85%	33						
CTX	83%	617	97%	208	100%	1	74%	31	85%	33					97%	393
CTRX	83%	617	97%	208	83%	12	71%	31	85%	33						
CAZ	83%	617	97%	208	85%	13	74%	31	85%	33	96%	134	100%	13		
CCL	78%	617	97%	208	0%	12	6%	31	85%	33						
CFPN-PI	83%	594	97%	203	100%	7	100%	21	85%	33						
CPDX-PR															70%	393
CZOP											98%	134	100%	13		
CFPM	84%	617	97%	208	100%	13	97%	31	85%	33	98%	134	100%	13		
CMZ	100%	617	100%	208	92%	13	13%	31	100%	33						
FMOX	100%	617	100%	208	46%	13	23%	31	100%	33						
カルバパネム系																
IPM/CS	100%	617	100%	208	100%	13	100%	31			95%	134	100%	2		
MEPM	100%	617	100%	208	100%	12	100%	31	100%	33	96%	134	100%	13		
DRPM											99%	134	100%	12		
モノバクタム系																
AZT	83%	617	97%	208	77%	13	81%	31	82%	33	92%	134				
βラクタマーゼ阻害剤																
SBT/ABPC	69%	617	90%	208	8%	12	42%	31	88%	33					92%	393
SBT/CPZ	94%	617	99%	208	92%	13	87%	31	97%	33	94%	134	100%	13		
TAZ/PIPC	98%	617	99%	208	83%	12	90%	31	100%	33	98%	134	100%	2		
アミノグリコシド系																
GM	89%	617	99%	208	100%	13	100%	31	85%	33	86%	134	92%	13		
AMK	100%	617	100%	208	100%	13	100%	31	100%	33	96%	134	100%	13		
TOB											99%	134	100%	13		
テトラサイクリン系																
MINO	94%	617	95%	208	100%	13	94%	31	9%	33			100%	13		
TC															92%	393
マクロライド系																
CAM															92%	393
キノロン系																
LVFX	71%	617	99%	208	100%	13	100%	31	100%	33	94%	134	100%	13		
CPFX											93%	134	100%	13		
その他																
ST	85%	617	96%	208	100%	12	97%	31	91%	33			100%	13		
FOM	90%	617	26%	208	46%	13	6%	31	67%	33	6%	134				

グラム陰性桿菌（入院）

	<i>E. coli</i>		<i>K. pneumoniae</i>		<i>S. marcescens</i>		<i>E. cloacae</i>		<i>P. mirabilis</i>		<i>P. aeruginosa</i>		<i>A. baumannii</i>		<i>H. influenzae</i>	
	S%	件数	S%	件数	S%	件数	S%	件数	S%	件数	S%	件数	S%	件数	S%	件数
ペニシリン系																
ABPC	55%	202	0%	117	0%	15	6%	48	100%	18					69%	32
PIPC	57%	202	56%	117	56%	16	82%	49	100%	18	87%	110	75%	8		
セフェム系																
CEZ	72%	202	97%	117	0%	15	4%	48	93%	18						
CTM	79%	202	97%	117	0%	15	6%	48	100%	18						
CTX	80%	202	97%	117			67%	48	100%	18					97%	32
CTRX	80%	202	97%	117	60%	15	69%	48	100%	18						
CAZ	80%	202	97%	117	69%	16	78%	49	100%	18	94%	110	88%	8		
CCL	73%	202	97%	117	0%	15	4%	48	100%	18						
CFPN-PI	80%	196	98%	109	100%	5	100%	28	100%	18						
CPDX-PR															63%	32
CZOP					100%	1	100%	1			96%	110	100%	8		
CFPM	80%	202	98%	117	100%	16	90%	49	100%	18	90%	110	88%	8		
CMZ	99%	202	100%	117	80%	15	6%	48	100%	18						
FMOX	99%	202	100%	117	47%	15	10%	48	100%	18						
カルバパネム系																
IPM/CS	100%	202	99%	117	100%	16	98%	49			89%	110	100%	2		
MEPM	100%	202	100%	117	100%	16	100%	49	100%	18	92%	110	100%	8		
DRPM					100%	1	100%	1			95%	110	100%	7		
モノバクタム系																
AZT	80%	202	97%	117	75%	16	78%	49	100%	18	85%	110				
βラクタマーゼ阻害剤																
SBT/ABPC	58%	202	89%	117	7%	15	19%	48	100%	18					84%	32
SBT/CPZ	88%	202	97%	117	94%	16	86%	49	100%	18	82%	110	75%	8		
TAZ/PIPC	96%	202	97%	117	88%	16	88%	49	100%	18	92%	110	100%	2		
アミノグリコシド系																
GM	85%	202	99%	117	100%	16	100%	49	100%	18	90%	110	88%	8		
AMK	100%	202	100%	117	100%	16	100%	49	100%	18	99%	110	100%	8		
TOB					100%	1	100%	1			99%	110	100%	8		
テトラサイクリン系																
MINO	91%	202	89%	117	94%	16	98%	49	11%	18			75%	8		
TC															91%	32
マクロライド系																
CAM															88%	32
キノロン系																
LVFX	68%	202	99%	117	94%	16	94%	49	100%	18	92%	110	75%	8		
CPFX					100%	1	100%	1			93%	110	63%	8		
その他																
ST	79%	202	91%	117	94%	16	94%	49	94%	18			63%	8		
FOM	88%	202	31%	117	50%	16	16%	49	67%	18	4%	110				

(2) 抗酸菌分離状況

年間抗酸菌陽性者	82		
検体別	菌種別		
喀痰	78	<i>M. tuberculosis</i> (PCRのみ陽性を含む)	6
胃液	1	MAC (PCRのみ陽性を含む)	47
胸水	0	<i>M. kansasii</i>	2
気管支洗浄液	1	<i>M. goodii</i>	2
気管支擦過	0	<i>M. szulgai</i>	0
その他	2	<i>M. abscessus</i>	2
		<i>M. chelonae</i>	0
		<i>M. fortuitum</i>	0
		<i>M. peregrinum</i>	0
		<i>M. wolinskyi</i>	1
		<i>M. tuberculosis</i> + MAC	1
		<i>M. tuberculosis</i> + <i>M. fortuitum</i>	1
		同定不能	1
		同定せず (履歴ありなどのため同定希望なし)	10
		TB陰性確認のみ	9

(3) 検査集計

検査集計項目	入院外来総件数			外来件数		
	件数	前年比	前年件数	件数	前年比	前年件数
一般細菌						
塗抹検査	6,468	94.7%	6,833	4,087	97.8%	4,178
培養同定 (呼吸器)	3,596	84.9%	4,234	2,436	85.7%	2,841
培養同定 (消化器)	1,168	96.4%	1,211	710	101.4%	700
培養同定 (泌尿生殖器)	3,961	104.6%	3,788	3,137	108.0%	2,904
培養同定 (血液、穿刺液)	3,824	123.8%	3,088	2,260	127.9%	1,767
培養同定 (その他)	888	102.8%	864	411	100.7%	408
培養同定 (嫌気加算)	4,415	118.2%	3,736	2,396	123.4%	1,942
薬剤感受性1菌種	2,994	95.4%	3,138			
薬剤感受性2菌種	795	90.3%	880			
薬剤感受性3菌以上	353	126.1%	280			
抗酸菌検査						
塗抹検査	1,571	96.0%	1,636	934	101.1%	924
抗酸菌培養 (液体培地)	1,522	95.4%	1,595	910	100.3%	907
抗酸菌培養 (小川培地)	42	110.5%	38	20	117.6%	17
結核菌DNA (結核菌群PCR)	771	81.8%	943	473	89.6%	528
MAC-DNA (MAC-PCR)	150	91.5%	164	67	103.1%	65

*外来件数は依頼科が外来所属の場合のみを集計
 外来で採取した場合であっても、すでに入院が決まっていた
 病棟所属として依頼された (オーダーされた) 件数は含まず

10. 薬剤科・副作用報告

副作用評価別内訳（副作用名でカウントのため、薬剤で重複あり）

評価	2. ほぼ確実			3. 可能性あり			4. 不明
グレード	グレード1	グレード2	グレード3	グレード1	グレード2	グレード3	—
件数	1	0	0	13	14	8	2

副作用の内容内訳

①薬剤名による分類

- 抗生剤 9件：クラリスロマイシン3件、レボフロキサシン2件、ホスミシン1件、バクタ1件、リアソフィン注1件、セフメタゾール注1件
 - 去痰・鎮咳剤 6件：アスベリン1件、カルボシステイン4件、メジコン1件
 - 抗がん剤 4件：イリノテカン1件、アバスタチン1件、パクリタキセル1件、オキサリプラチン1件
 - 解熱鎮痛薬 2件：ロキソマリン1件、カロナール1件
 - 抗凝固薬・抗血小板 2件：プラビックス1件、シロスタゾール1件
 - 抗甲状腺薬 2件：メルカゾール1件、プロパジール1件
- 1件報告のあった薬剤：C型肝炎治療薬：ハーボニー、ピロリ除菌薬：ランサップ、気管支拡張薬：ホクナリンテープ、交感神経系作動拮抗薬：ビソプロロール、筋弛緩剤解毒薬：ブリディオオン、血糖降下薬：スーグラ錠、抗炎症剤：トラネキサム酸、抗不整脈薬：シベンゾリン、骨粗鬆症治療薬：エディロール、脂質異常改善薬：クレストール代謝拮抗薬：メトトレキサート、分子標的薬：レミケード、降圧薬：ニフェジピンL、制酸薬：ランソプラゾール1件

②グレードによる分類

グレード1	14件
グレード2	14件

() の数字は、複数報告の件数

薬疹	6件 (延べ7件)	リアソフィン注1件、ランサップ1件、バクタ1件、レボフロキサシン1件、カロナール1件、クロピドグレル1件、プロパジール1件
肝機能障害	1件 (延べ2件)	クラリスロマイシン1件、カルボシステイン1件
意識消失、意識障害	1件 (延べ1件)	ハーボニー1件
発疹	1件 (延べ2件)	クラリスロマイシン1件、トラネキサム酸1件
高Ca血症	1件 (延べ1件)	エディロール1件
血圧低下	1件 (延べ1件)	ハーボニー1件
頭痛	1件 (延べ1件)	ニフェジピンL 1件
頻脈	1件 (延べ1件)	パクリタキセル1件
無顆粒球症	1件 (延べ1件)	メルカゾール1件

グレード3

8件

() の数字は、複数報告の件数

肝機能障害	1件 (延べ1件)	シベンゾリン1件
下痢	1件 (延べ1件)	ランソプラゾールOD1件
消化管穿孔	1件 (延べ1件)	アバスチン1件
尿路感染症	1件 (延べ1件)	スーグラ1件
CK上昇	1件 (延べ1件)	クレストール1件
呼吸障害	1件 (延べ1件)	オキサリプラチン1件
ショック	1件 (延べ1件)	ブリディオオン1件
腎障害	1件 (延べ1件)	バラシクロビル1件

グレード3 の症例

報告書 NO	患者	被疑薬名 (成分名)	経路/剤型 (用量) 期間	副作用名(重 症度/症状 分類)	発現 期間	処置	併用薬	治療 (回復期 間)	添文記 載(文献 報告)	被疑薬使用疾 患	経過
No.2016 0001	65歳～ 69歳(女)	ランソプラゾールOD錠 15mg [DK] (ランソプラゾール錠)	経口/錠 (15mg*1) 2014/6～約 7ヶ月	下痢(消化器 3/06胃腸)	約半年	中止	アレドニゾン (5)、ボルタレン SRカプセル (37.5)、リマチル (100)、アロプリ ノール(100)、エセ スタ(60)、アルセ ノール(12.5)、フ ロセמיד(20)、 ワーファリン (1.5)、フルオロメ トロン点眼液 (0.02%)	有/回復 (10日)	有	難治性逆流性 食道炎 (悪性 関節リウマ チ、骨粗鬆 症、完全房室 ブロック (パ スター埋込) 、 高尿酸血症、 高血圧症、2 型糖尿病、結 膜炎)	【経過のポイント】 内服開始日 H2ブロッカーとセルベックスからランソプラゾールに変更された。 内服開始日30日目 採血 BUN26.6 CRE0.68 Na142 K4.0 Cl105 内服開始172日目 下痢が発現。市販のピオフェルミンを内服していた。 内服開始194日目 整形受診時に相談し内服調整を施行。ピオスリー配合散、タン ニン酸アルブミン処方。 内服開始204日目 症状改善無く入院勧められるも拒否。ピオスリー配合散、タン ニン酸アルブミンに頓服でクラレツカプセルが処方された。 内服開始214日目 すき焼き食べてから下痢増悪 (2,3時間おき) 、下血あり。CRP 高値(28.68)、INR延長(12.98)にて入院し精査加療となった。Na140、K4.5、Cl102。ラ ンソプラゾールの影響を考慮しラベプラゾールへ変更。ワーファリン中止。所見よ り脱水を疑う。絶食、点滴にて経過観察となる。 中止後10日目 下痢は改善した。食事再開。BUN18.7 CRE0.84 Na140、 K4.5、Cl102
No.2016 0003	70歳～ 74歳(女)	(A)アバスタチン点滴静注用 100mg / 4mL(ペバ シズマブ (遺伝子組換え) 注射液)(B)ア バスタチン点滴 静注用 100 mg / 4mL (ペバシズマブ (遺伝子組 換え) 注射 液)	(A)静注/バイ アル (210mg*1) 2016.02～2回 (B)静注/バイ アル (200mg*1) 2016.03～6回	消化管穿孔 (消化器 3 /06胃腸)	4ヶ月	(A)終了 (B)中止	ビオナ3錠、ゾルビ デム10mg、ゾラシ ム 0.5mg、アゾシアド 25mg、カミカグ5m アロプリノール 150mg、 デキサト8mg、アピニ 0.75mg、アピニ 20mg、カミカグ 270mg、ゾラシム 160mg、ゾラシム 3250mg、生理食 塩液、5%ブドウ糖 液	有/未回 復	有	上行結腸癌術 後 (多発性肝 転移、高血 圧、不眠症)	【経過のポイント】 投与開始1ヶ月前 大腸癌にて手術施行。結腸右半切除。開腹すると明らかな播種 なし。 投与開始1日目 大腸がん術後補助療法開始。レジメンはFOLFOX+Bv。1日投与、 13日休業を繰り返す。カミカグは認容性確認後、導入を予定。身長：157cm 体 重：42kg 体表面積：1.38m ² (化学療法施行中は目立った変動はなかった)。デキ ー 8mg、アピニ0.75mg、アピニ210mg、ゾラシム270mg、ゾラシム420mg(カミカグ)+ 3300mg (持続) を投与。 投与開始14日目 FOLFOX+Bv2コース目施行。蛋白尿2+のためゾラシムはスキップ 投与開始28日目 FOLFOX+Bv3コース目施行。ゾラシム400mgへ減量。蛋白尿 増悪無く治療効果を優先しゾラシム再開。 投与開始42日目 FOLFOX+Bv4コース目施行。アロプリノール導入 アピニ200mgへ減 量。カミカグ80%用量：90mgで追加。 投与開始56日目 FOLFOX+Bv5コース目施行。前回倦怠感出現したためカミカグ 60%用量：70mg、ゾラシム持続3250mgへ 減量投与開始70日目 FOLFOX+Bv6コース目施行。 投与開始86日目 CT画像にて評価、肝転位PD。ゾラシムをFOLFIRI+Bvに変更。1日投 与、13日休業を繰り返す。アロプリノール 150mg、デキサト8mg、アピニ0.75mg、アピニ 20mg、ゾラシム200mg、ゾラシム270mg、ゾラシム160mg、ゾラシム持続3250mgを投与。 投与開始98日目、112日目 FOLFIRI+Bv2クール目、3クール目施行 投与開始117日目 腹痛を訴え入院。CT施行するも原因判明せず。病状の進行によ る肝被膜浸潤を考える。補液+アピニを開始、ゾラシム1.5gx3開始、2日後CRP上昇し ゾラシム注4.5gx3へ 変更投与開始121日目(中止1日目) CT再度施行。消化管穿孔を確認。肝臓周辺 に体液貯留あり、経皮的ドレーナージ。抗生剤はMDA 1g x 3、カンゾイ初日1g x 1、2日目を以降0.5gx3へ 変更中止6日目 カミカグ1.08mg/日、開始 中止8日目 抗生剤終了現在カンゾイ・ピニラドのみ継続し緩和ケア病棟入院中 【確定試験】 確定試験その他：無
No.2016 0008	70歳～ 74歳(女)	イリノテカン 塩酸塩点滴静 注液 40mg [タイホウ] (イリノテカン 塩酸塩水和 物注射液)	静注/バイアル (160mg*1) 2016.04～3回	消化管穿孔 (消化器 3 /06胃腸)	25日	中止	ビオナ3錠、ゾルビ デム10mg、ゾラシ ム 0.5mg、アゾシアド 25mg、カミカグ5m アロプリノール 150mg、 デキサト8mg、アピニ 0.75mg、アピニ 20mg、カミカグ 270mg、ゾラシム 200mg、ゾラシム 3250mg、生理食 塩液、5%ブドウ糖 液	有/未回 復	有	上行結腸癌術 後 (多発性肝 転移、高血 圧、不眠症)	【経過のポイント】 投与開始4ヶ月前 大腸癌にて手術施行。結腸右半切除。開腹 すると明らかな播種なし。投与開始3ヶ月前 大腸がん術後補助療法開始。レジメ ンはFOLFOX+Bv。6コース施行投与開始 1日目 CT画像にて評価、肝転位PD。 カミカグをFOLFIRI+Bvに変更。1日投与、13日休業を繰り返す。アロプリノール 150mg、デキサト 8mg、アピニ0.75mg、アピニ200mg、ゾラシム270mg、ゾラシム160mg、ゾラシム持続 3250mgを投与投与開始12日目、16日目 FOLFIRI+Bv2クール目、3ク ル目目施行投与開始21日目 腹痛を訴え入院。CT施行するも原因判明せず。病状の 進行による肝被膜浸潤を考える。補液+アピニを開始、ゾラシム1.5gx3開始、2日後 CRP上昇しゾラシム注4.5gx3へ変更投与開始25日目(中止1日目) CT再度施行。消化 管穿孔を確認。肝臓周辺に体液貯留あり、経皮的ドレーナージ。抗生剤はMDA 1g x 3、カンゾイ初日1g x 1、2日目を以降0.5gx3へ変更中止6日目 カミカグ1.08mg/ 日、開始 中止8日目 抗生剤終了現在カンゾイ・ピニラドのみ継続し緩和ケア病 棟入院中 【確定試験】 確定試験その他：無
No.2016 0016	85歳～ 89歳(女)	スーグラ錠5 0mg(イプ ラグロフロジ ン レープロ リン錠)	経口/錠 (50mg*1) 不明～不明	尿路感染症 (腎臓 3/11 腎・泌尿器)	不明	中止	グラビックス 75mg、プロテカ ジン5mg、メマ リー20mg、アイ ミクスHD、グ ラグタイプ100mg	有/軽快	有	糖尿病 (脳梗 塞後遺症、 認知症、高血 圧症、逆流性 食道炎)	【経過のポイント】 内服開始日 他院で開始したため不明 内服中止1日目 発熱・意識障害で救急搬送。尿路感染症・敗血症疑いとして入 院。リアグ注2g/24hrが開始となり、内服は全て中止となる。血糖コントロール目的にリア グ注1(1日10単位)を開始。 内服中止2日目 アピニ75mg、アピニの内服再開。 内服中止7日目 内服中止1日目に提出した、培養結果の報告あり。尿・静脈血から ESBL検出。 内服中止8日目 抗生剤をリアグ注2g/24hrからカミカグ注1g/8hrへ変更。 内服中止9日目 アピニ5、カミカグの内服再開。 内服中止15日目 カミカグ注注終了。 内服中止17日目 症状軽快し、スーグラ、メアリー中止のまま退院。
No.2016 0021	50歳～ 59歳(男)	シベンゾリン コハク酸塩錠 100mg [サワイ] (シベンゾリ ンコハク酸塩 錠)	経口/錠 (100mg*3) 2016.7～2日	①肝機能障 害(腎臓 3 /07肝・胆) ②嘔吐(消化 器 1/06胃 腸)	①3日 ②2日	中止	オガリナ、アミホ、 ムネブ、クアリン、 ランアラ、カ、ハイ スド、カミカグ、ス ビドカ、アピニ、 アピニ、カミカグ、アピニ、アピニ	①無/回 復 (23 日) ②無 /回復 (3日)	①有② 有	発作性心房細 動 (慢性心不 全、糖尿病、 高尿酸血症、 脂質異常症)	【経過のポイント】 内服開始1日目 発作性心房細動の診断で、シベンゾリンの内服開始。 AST:21,ALT:20。内服開始後吐き気出現。 内服開始2日目(内服中止1日目) 吐き気、嘔吐、経口摂取困難となり、自己判断で 昼より内服中止。 内服中止2日目 受診。呼吸困難感や肝機能障害あり、入院。 内服中止3日目 肝機能障害増悪傾向。AST:2377,ALT:1791。自覚症状は改善し 経口摂取良好。 内服中止4日目 肝機能障害改善傾向。AST:1408,ALT:1587。 内服中止6日目 AST:295,ALT:916。 内服中止8日目 AST:130,ALT:568。 内服中止10日目 AST:55,ALT:305。 内服中止13日目 AST:33,ALT:146。 内服中止15日目 退院。AST:30,ALT:91。 内服中止24日目 AST:25,ALT:23。 【確定試験】 LST：実施無し パッチテスト：実施無し チャレンジテスト：実施無 し 確定試験その他：実施無し

報告書NO	患者	被疑薬名(成分名)	経路/剤型(用量)期間	副作用名(重症度/症状分類)	発現期間	処置	併用薬	治療(回復期)	添文記載(文献報告)	被疑薬使用疾患	経過
No.2016 0025	70歳~ 74歳(男)	(A)クレス トール錠5m g(ロスバ スタチンカ ルシウム錠) (B)クレ ストール錠 2.5mg (ロスバ スタチンカ ルシウム錠)	(A)経口/錠 (5mg*1) 2016.4~7月 (B)経口/錠 (2.5mg*1) 2015.3~13ヶ 月	CK上昇 (その他3 /17検査値異 常)	20ヶ 月	(A)中止 (B)終了	トゼ'グ、ニアリ、 グリセ'リ、イゾラ ム、アム'ピ'ン、ラジ アラ'ル、バ'ア'ジ' リ、ア'ベ'ド、加'バ ジ'ロ'ル、オ'メ'テ'ク	無/回復 (12日)	有	脂質異常症 (糖尿病、糖 尿病性腎症、 高尿酸血症、 高血圧、心不 全、虚血性心 疾患)	【経過のポイント】 内服開始1日目 クレストール2.5mg内服開始 内服開始13ヶ月目 クレストール2.5mgから5mgへ増量となる。 内服開始14ヶ月目(内服中止1日目) 顔回の嘔吐あり、精査目的で入院。本人よりク レストール増量後、動悸・冷や汗ありと訴えあり内服中止。その後吐き気の症状なく経 過。内服中止のまま退院。CK値は上昇なし。 内服再開1日目 主治医より大切な薬のため飲みまじょうと言われ、クレストール5mg内 服再開(内服中止期間20日)。 内服再開163日目 インフルエンザ接種。CK:140。こむら返り頻回ありと訴え有り。 内服再開164日目 歩くと苦しいと訴え有り、精査目的で入院。自覚症状は呼吸困 難感のみ。 内服再開165日目(内服中止1日目) CK高値のためクレストール内服中止。CK:1687 内服中止4日目 CK:462。体動時頻呼吸みられるも、呼吸困難感はなくなくなる。 内服中止7日目 CK:254内服中止9日目 CK値低下してきており、自覚症状改善の ため退院となる。 内服中止12日目 CK:149。正常範囲内になる。 【確定試験】LST:実施無し パッチテスト:実施無し チャレンジテスト:実施無 し 確定試験その他:実施無し
No.2016 0028	85歳~ 89歳(女)	プリディオ ン 静注200m g(スガマ デクスナ トリウム 注注射液)	静注/アン プ ル (200mg*1) 2016/12~1 回	アナフィ ラ キシー ショック(過 敏3/14 ショック)	3分	終了	フェログラ デ メット、ユ ベラカ プセル、 ゾルピ デム、 アトル バスタ チン、 チラー ヂ ン、タケ プロ ン、 ペイ スン、 メト ブル コ、 ラキソ ペ ロン、 トラ バタン ズ 点 眼、 コン プト 点 眼、 ラン タス 注、 ソル ラク トS、 セ ファ ゾリ ン注、 プ ロ ボ フ ォ ール 注、 ミ ダ ゾ ラ ム 注、 ディ アリ バン 注、 エ ス ラ ク ス 注、 フェ ン タ ニ ル 注、 アル チ バ ン 注、 アナ ペ イン 注	有/回復 (3日 間)	有	エスラックス による筋弛緩 状態からの回 復(大腸が ん)	【経過のポイント】 使用開始日(使用終了日) 上行結腸癌手術目的で入院され手術 9:33メビパカイン注、フェンタニル注投与 9:36プロポフォール注投与 9:40セ ファゾリン注投与 9:45 10:30 11:50 アナペイン注投与 12:05ネオシネジン注 投与 12:15エフェドリン注投与 12:25 プリディオ注投与し手術終了 エ スラックスは9:40 10:10 11:00 11:45に使用した。12:28 Aラインにて血圧30台に 低下、マンシットにて血圧測定不可。全身発赤出現。サクシゾン100mg、アド レナリン注0.5mg静注、ソルラクトS500ml全開で投与。ノルアドリナリン注2mg+ 生食18mlを2ml/h持続で開始。 13:25 心拍数:95 血圧:105/55 SpO2:99%で気管挿管したまま手術室から 病棟へ帰室。14:15 プレセデックス注開始。ノルアドリナリン使用で血圧130~ 100/80~55をキープ。ノルアドリナリン交換時30秒ほど薬剤投与できないと血圧収 縮期70まで落ちてしまう。声かけに反応あり。 使用終了2日目 6:25プレセデックス注終了。8:00抜管。前日とバイタル著変なし。 使用終了3日目 ノルアドリナリン終了。血圧130~120/80~60キープ。 使用終了15日目 退院
No.2016 0029	50歳~ 59歳(男)	(A)オキサ リ プラチン 点滴 静注50m g [ニプロ] (オキサ リプラ チン注 液) (B)オキサ リ プラチン 点滴 静注100 mg [ニ プロ] (オキサ リ プラチン 注 射液)	(A)静注/パ イ アル (15mg*1) 2015.10~11 月 (B)静注/パ イ アル (100mg*1) 2015.10~11 月	呼吸障害(呼 吸器3/09呼 吸器)	5カ 月	(A)終了 (B)終了	ブドウ糖、生理食 塩液、グラニセト ロン注、レボホリ ナート注、フルオ ロウラシル注	有/回復 (60分)	有	大腸がん、膀 胱澱留術後	【経過のポイント】 投与開始1日目 大腸がん化学療法、mFOLFOX6療法開始 1クール3日投与 11日休薬投与 開始6ヶ月目 11クール目施行 BSA 1.48m2 開始30分後 オキサリプラチン投与開始30分で嘔吐・喘息様発作出現。血圧低下無 く、SpO2 86% 投与中止し、ボラミン注、ファモチジン注、生食を投与。β2 刺激薬吸入、酸素マスク、ボスミン注射注 開始60分後 体温36.2度、脈拍88、血圧146/100、SpO2 96% 開始80分後 嘔吐喘鳴消失開始130分後 ソルメルコート1000mg、生食100ml、 体温36.6度、脈拍91、血圧132/74、SpO2 97%